

大学生のキャッシュレス決済に関する 調査・分析 結果

令和2年5月

消費者庁

目次

I 調査の概要	2
1. 本調査の目的	2
2. 調査方法及び調査事項	2
3. 調査結果の概要	3
4. まとめ	5
II アンケート調査結果	6
1. 回答者の属性	6
2. 日々の生活について	10
3. キャッシュレス決済について	16
III 消費行動調査の概要	28
1. 調査対象者について	28
2. 有効回答率	29
3. 基本統計	29
4. 回答者の属性	29
5. 消費行動調査の調査結果	33
IV 参考資料	65
参考 1 アンケート調査表（単純集計結果付き）	65
参考 2 消費行動調査・調査票（入力フォーム）	73

I 調査の概要

1. 本調査の目的

近年、様々なキャッシュレス決済の手段が発達してきており、人々の消費活動における決済方法が多様化している状況にあるとともに、キャッシュレス決済は今後も更に普及していくことが見込まれている。このような状況下においては、従来とは異なる消費活動が行われたり、利便性が向上する一方で新たな消費者トラブル等が発生したりすることも考えられる。

本調査は、今後キャッシュレス決済がますます普及し主流になっていくと考えられるところ、情報への感度が高く、既にキャッシュレス決済の利用が進んでいると思われる大学生の日常の消費行動やキャッシュレス決済の利用状況・考え方、トラブル等を調査したものであり、人々の消費行動特性を把握することにより今後の消費者政策の企画・立案に向けての基礎的な資料を得ることを目的としている。なお、本調査は、須藤順客員主任研究官（高知大学地域協働学部講師）の指導の下、消費者行政新未来創造オフィスにおける基礎研究プロジェクトの一環として実施したものである。

2. 調査方法及び調査事項

全国の大学生を対象に、日常の消費行動やキャッシュレス決済の利用状況・考え方、トラブル等について、アンケート及び消費行動調査を実施した。

（アンケート調査）

調査対象	全国の大学生
有効回答者数	4,783人（男性2,336人、女性2,428人、その他19人）
調査時期	令和元年11月5日～11月29日
調査方法	消費者庁のウェブサイト上にアンケートフォーム（参考1）を作成。全国63の大学に、アンケートフォームのURLのメール配信や大学内の電子掲示板等への掲示など、周知の協力を依頼。それを見た大学生がアンケートに回答。
調査事項	年齢、性別などの基本的な属性のほか、自炊の頻度や携帯電話の利用時間などの日々の生活、利用頻度や満足度などキャッシュレス決済に関する事項。

（消費行動調査（詳細調査））

調査対象	アンケート調査の回答者の中で消費行動調査に協力を表明した3,026人の中から、全国を7ブロックに分け、各ブロックが均等になるように抽出した532人
有効回答者数	274人（男性151人、女性123人、その他0人）

有効回答率	51.5%
調査期間	2週間（令和元年12月2日～12月15日）
調査方法	消費者庁が作成した入力フォーム（参考2）に入力し、提出。
調査事項	2週間の内に購入した商品・サービス等の金額、場所、決済手段、不要な買物、店舗のキャッシュレス可否等。

3. 調査結果の概要

＜アンケート調査の結果＞

○回答した大学生の6割以上が日常的にキャッシュレス決済を利用している。

この半年間でのキャッシュレス決済の利用頻度を聞いたところ、「ほぼすべての買い物で利用している」と回答した人の割合が約20%、「買い物する際の2回に1回程度は利用している」が約45%と、合わせて6割以上の大学生が日常的にキャッシュレス決済を使用していることが分かった。【アンケート調査：16p、図1-7（問16）】

○回答した大学生の約5割が今後キャッシュレス決済の利用を増やしたいと考えている。

今後のキャッシュレス決済の利用頻度の意向を聞いたところ、「増やしたい」と回答した人の割合が約50%であった。【アンケート調査：18p、図1-9（問18）】

○回答した大学生の約3割がキャッシュレス決済に関するトラブルの経験がある。

キャッシュレス決済に関するトラブルの経験があるか聞いたところ、「読み取り、認証が上手くいかなかった」が約14%、「操作に時間がかかったり、とまどったりした」が約13%など、約3割の大学生がキャッシュレス決済に関するトラブルの経験があることが分かった。また、QRコード決済に関すると思われるトラブルが多かった。なお、約7割の大学生はトラブルの経験がなかった。【アンケート調査：24～25p、図1-15（問24～25）】

○キャッシュレス決済に関する希望のうち約4割が「使える場所の拡大」。

キャッシュレス決済に関する希望について、自由記述形式の回答を分類したところ、「使える場所の拡大」に分類できる回答の割合が43.4%と最も高く、具体的な場所としては、「すべての場所・たくさん（181人）」という回答のほか、「大学（71人）」、「公共交通機関（59人）」、「飲食店（47人）」、「自販機（47人）」、「スーパー（32人）」などを挙げる声が多かった。【アンケート調査：27p、図1-17（問27）】

＜消費行動調査（詳細調査）の結果＞

○回答した大学生の特徴的なキャッシュレス決済の手段は「ミールカード」。

決済手段別に調査期間中の利用の有無を調べたところ、「ミールカード」が59.9%と、「現金」以外の決済手段の中で一番高かった。【消費行動調査：37p、図2-5】

※「ミールカード」とは、大学によって違いはあるものの、10万～25万円程度前払をし、1年間、1日の利用上限額（前払の金額によって変動）まで、大学の食堂等で食料品を購入することができる仕組み。

○回答した大学生のキャッシュレス決済の比率は約5割。

回答者274人の買物総数6,351回、買物総額9,294,298円のキャッシュレス決済の比率を見ると、買物総数ベースで52.2%、買物総額ベースで51.1%と約5割であることが分かった。【消費行動調査：38p、図2-6～7】

※キャッシュレス決済の比率は調査期間中の全ての買物（回数、金額）に占める「現金」、「金券」以外の決済手段の比率。

○「クレジットカード」は他の決済手段と比べて高額な決済で利用される傾向がある。

買物額の平均値及び中央値を決済手段別に見たところ、「クレジットカード」が平均値3,528円、中央値1,324円とそれぞれ最も高かった。また、買物金額を決済手段別に見たところ、「クレジットカード」の1,001円以上の決済が占める割合が約55%と最も高かった。【消費行動調査：49～51p、図2-18～20】

○回答した大学生が利用した購入場所の約8割はキャッシュレス決済に対応している。

回答者274人の買物総数6,351回について、購入場所がキャッシュレス決済に対応していたかどうか聞いたところ、約8割の購入場所がキャッシュレス決済に対応していたことが分かった。一方、「自販機」の約6割、「医療機関・福祉施設」の約5割、「アミューズメント施設・スポーツ施設」の約4割の購入場所がキャッシュレス決済に対応していなかった。【消費行動調査：52～53p、図2-21,23】

※買物回数が6,351回であり、購入場所の重複があることに注意する必要がある。

○不要な買物の約8割は「食費」、理由は約6割が「衝動買い」。

回答者274人の総買物商品数11,025個、買物総額9,294,298円について、回答者に不要だったかどうかチェックしてもらったところ、152人が不要な買物を経験し、542個の商品、289,484円が不要であったことが分かった。そのうち8割以上が「食費」で、主な理由は「衝動買い・利用してしまった」が約6割、「付き合いで利用・購入してしまった」が約2割となった。【消費行動調査：55～58p、図2-25～29】

○不要率について、「現金+金券」の方が「キャッシュレス決済」より高い。決済手段別に見ると「QRコード決済」が最も高い。

回答者274人の総買物商品数11,025個について、「キャッシュレス決済」と「現金+金券」で不要率（不要な買物の比率）を比較したところ、「キャッシュレス決済」が4.1%、「現金+金券」が5.9%と、「現金+金券」の方が高くなっている。一方、決済手段別に見ると、「QRコード決済」が6.4%と最も高く、次いで「現金」(5.9%)、「金券」(4.5%)の順となっている。な

お、「クレジットカード」(3.2%)、「交通系電子マネー」(2.7%)は、他の決済手段よりも低くなっている。【消費行動調査：62p、図2-33～34】

4.まとめ

今回アンケート調査及び消費行動調査（詳細調査）を実施することにより、大学生が日常的にキャッシュレス決済を利用していることや、「ミールカード」を多くの大学生が利用していたり、「クレジットカード」では高額な決済を利用する傾向があつたりすることなど、大学生のキャッシュレス決済に対する考え方や消費行動の一端を明確にすることができた。

そのほか、以下のような特徴的な調査結果から、大学生の消費行動について更に深掘りしなければ解明できない課題も浮かび上がってきた。

〈キャッシュレス決済について〉

- ・キャッシュレス決済の手段によって、今後使いたいと思うかどうかという設問に対する回答に大きな差がある。【アンケート調査：19p、図1-10】
→（課題）それぞれのキャッシュレス決済の認知度や利用できる場所の多さ、使いやすさなどが影響していると考えられるが、どのような理由、要因から今後使いたいと思うのか。
- ・現金で決済を行った購入場所の約60%はキャッシュレス決済に対応していた。【消費行動調査：52p、図2-22】
→（課題）利用者側の要因としては所有している決済手段の種類が限られていることや決済の手間がかかること等、店舗側の要因としては導入している決済手段の種類が限られていることや使用できる決済手段の表示が分かりにくいこと等が影響していると考えられるが、どのような理由、要因からキャッシュレス決済に対応している店舗で現金払いをするのか。

〈不要な買物について〉

- ・夜遅いほど不要な買物をする傾向がある。【消費行動調査：59p、図2-30】
- ・決済手段によって不要率に差がある。【消費行動調査：62p、図2-34】
- ・友人と買物をした時の方が不要な買物をする傾向がある。【消費行動調査：63p、図2-35】
- ・自炊頻度が低いほど不要な買物をする傾向がある。【消費行動調査：64p、図2-36】
→（課題）時間帯や誰と一緒に買物をするか、どのような生活スタイルかによって不要率に差がある。それぞれどのような理由、要因からそのような行動をしてしまうのか。

今後は、このような特徴的な回答、消費行動の理由・要因を解明していくために、調査対象者に対するヒアリングやディスカッションなどの手法も併用して、アンケート調査のみでは見えてこない部分を深堀して調査・分析を行っていくことも検討ていきたい。

最後に、キャッシュレス決済については、政府全体で推進を図っており、今後の人々の消費生活にますます浸透していくことが見込まれるとともに、決済手段が多様化することで消費者の利便性向上にも資すると考えられる。他方で、キャッシュレス決済により人々の消費行動が変化す

ることにより、従来の決済手段では想定していなかった新たな消費者トラブル等が生じることも考えられる。人々の消費生活の現況に適した消費者政策の企画・立案等を行うに当たって、キャッシュレス決済のように短期間で人々の消費行動に変化を与えるものの特性を把握することは重要であり引き続き調査を行ってまいりたい。

II アンケート調査結果

※計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

1. 回答者の属性

問1 性別をお答えください。

	総数	男	女	その他
総数	4,783	2,336	2,428	19
%	100	48.8	50.8	0.4

性別を聞いたところ、「男」と回答した人の割合が48.8%、「女」が50.8%となっている。

問2 年齢をお答えください。

	総数	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25~30歳	31歳~	無回答
総数	4,783	308	950	967	944	792	349	187	186	97	3
%	100	6.4	19.9	20.2	19.7	16.6	7.3	3.9	3.9	2.0	0.1

年齢を聞いたところ、「20歳」と回答した人の割合が20.2%と最も高く、次いで「19歳」(19.9%)、「21歳」(19.7%)、「22歳」(16.6%)の順となっている。なお、平均年齢は21.2歳であった。

問3 学年をお答えください。

	総数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	院生	その他
総数	4,783	1,047	1,044	951	1,079	72	47	534	9
%	100	21.9	21.8	19.9	22.6	1.5	1.0	11.2	0.2

学年を聞いたところ、「4年生」と回答した人の割合が22.6%と最も高く、次いで「1年生」(21.9%)、「2年生」(21.8%)、「3年生」(19.9%)の順となっている。

問4 現在の住所をお答えください。

	回答数	%		回答数	%		回答数	%
総数	4,783	100	富山県	32	0.67	島根県	0	0.00
北海道	51	1.07	石川県	274	5.73	岡山県	118	2.47
青森県	21	0.44	福井県	136	2.84	広島県	121	2.53
岩手県	6	0.13	山梨県	46	0.96	山口県	0	0.00
宮城県	560	11.71	長野県	0	0.00	徳島県	91	1.90
秋田県	174	3.64	岐阜県	45	0.94	香川県	543	11.35
山形県	8	0.17	静岡県	172	3.60	愛媛県	1	0.02
福島県	18	0.38	愛知県	333	6.96	高知県	7	0.15
茨城県	333	6.96	三重県	219	4.58	福岡県	69	1.44
栃木県	1	0.02	滋賀県	60	1.25	佐賀県	315	6.59
群馬県	3	0.06	京都府	26	0.54	長崎県	121	2.53
埼玉県	11	0.23	大阪府	127	2.66	熊本県	67	1.40
千葉県	63	1.32	兵庫県	22	0.46	大分県	369	7.71
東京都	34	0.71	奈良県	6	0.13	宮崎県	3	0.06
神奈川県	8	0.17	和歌山県	2	0.04	鹿児島県	4	0.08
新潟県	39	0.82	鳥取県	123	2.57	沖縄県	1	0.02

現住所を聞いたところ、「宮城県」と回答した人の割合が11.71%と最も高く、次いで「香川県」(11.35%)、「大分県」(7.71%)の順となっている。一方、「長野県」、「島根県」、「山口県」と回答した人はいなかった。

問5 大学入学前の住所をお答えください。

	回答数	%		回答数	%		回答数	%
総数	4,783	100	富山県	64	1.34	島根県	24	0.50
北海道	67	1.40	石川県	100	2.09	岡山県	188	3.93
青森県	65	1.36	福井県	96	2.01	広島県	102	2.13
岩手県	58	1.21	山梨県	32	0.67	山口県	28	0.59
宮城県	428	8.95	長野県	54	1.13	徳島県	80	1.67
秋田県	84	1.76	岐阜県	93	1.94	香川県	218	4.56
山形県	56	1.17	静岡県	192	4.01	愛媛県	74	1.55
福島県	89	1.86	愛知県	436	9.12	高知県	20	0.42
茨城県	192	4.01	三重県	149	3.12	福岡県	228	4.77
栃木県	37	0.77	滋賀県	57	1.19	佐賀県	159	3.32
群馬県	32	0.67	京都府	73	1.53	長崎県	130	2.72
埼玉県	42	0.88	大阪府	145	3.03	熊本県	105	2.20
千葉県	67	1.40	兵庫県	138	2.89	大分県	199	4.16
東京都	84	1.76	奈良県	28	0.59	宮崎県	46	0.96
神奈川県	39	0.82	和歌山県	20	0.42	鹿児島県	36	0.75
新潟県	70	1.46	鳥取県	47	0.98	沖縄県	12	0.25

大学入学前の住所を聞いたところ、「愛知県」と回答した人の割合が9.12%と最も高く、次いで「宮城県」(8.95%)、「香川県」(4.56%)の順となっている。一方、「和歌山県」(0.42%)、「高知県」(0.42%)、「沖縄県」(0.25%)と回答した人の割合は低くなっている。

問6 現在の居住形態をお答えください。

	総数	一人暮らし	実家暮らし	ルームシェア	寮	その他
総数	4,783	2,547	1,924	37	195	80
%	100	53.3	40.2	0.8	4.1	1.7

居住形態を聞いたところ、「一人暮らし」と回答した人の割合が53.3%と最も高く、次いで「実家暮らし」(40.2%)、「寮」(4.1%)、「ルームシェア」(0.8%)の順となっている。

問7 現在、あなたは勤労（アルバイト等）をしていますか。平均収入額（月額）をお答えください。

	総数	～25,000円	25,001円～50,000円	50,001円～75,000円	75,001円～100,000円	100,001円～	現在は働いていないが、働いていたことがある	働いたことはない
総数	4,783	713	1,384	1,056	535	187	622	286
%	100	14.9	28.9	22.1	11.2	3.9	13.0	6.0

平均収入額（月額）を聞いたところ、「25,001円～50,000円」と回答した人の割合が28.9%と最も高く、次いで「50,001円～75,000円」(22.1%)、「～25,000円」(14.9%)の順となっている。一方、「働いたことはない」と回答した人の割合は6.0%となっている。

問8 現在、あなたは奨学金をもらっていますか。

	総数	はい	いいえ
総数	4,783	1,995	2,788
%	100	41.7	58.3

奨学金をもらっているか聞いたところ、「はい」と回答した人の割合が41.7%、「いいえ」が58.3%であった。

問9 現在、あなたは仕送り（お小遣い）をもらっていますか。

	総数	はい	いいえ	データ欠損
総数	4,783	2,586	2,196	1
%	100	54.1	45.9	0.0

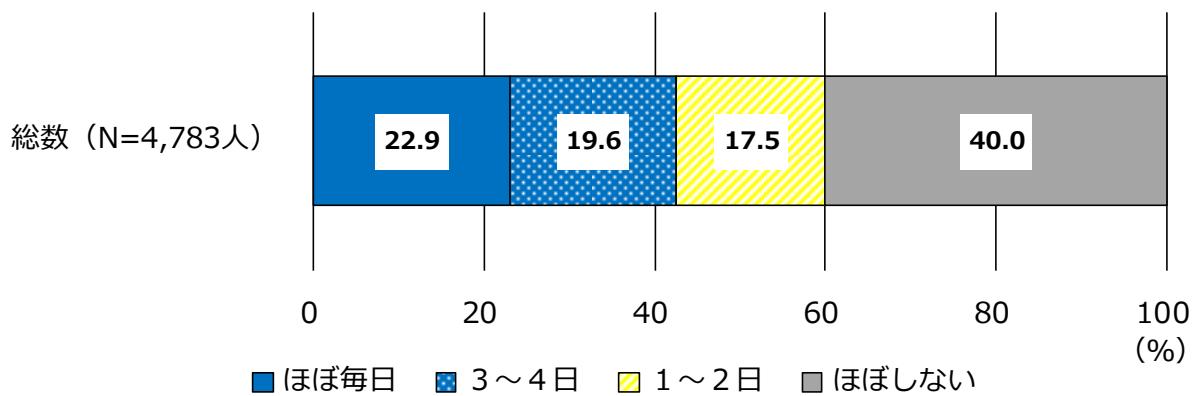
仕送り（お小遣い）をもらっているか聞いたところ、「はい」と回答した人の割合が54.1%、「いいえ」が45.9%であった。

2. 日々の生活について

問10 あなたは、一週間のうちにどれくらい自炊をしますか。以下の中から該当するものを1つ選んでください。

自炊の頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」と回答した人の割合が22.9%、「3～4日」が19.6%、「1～2日」が17.5%、「ほぼしない」が40.0%となっている。(図1-1)

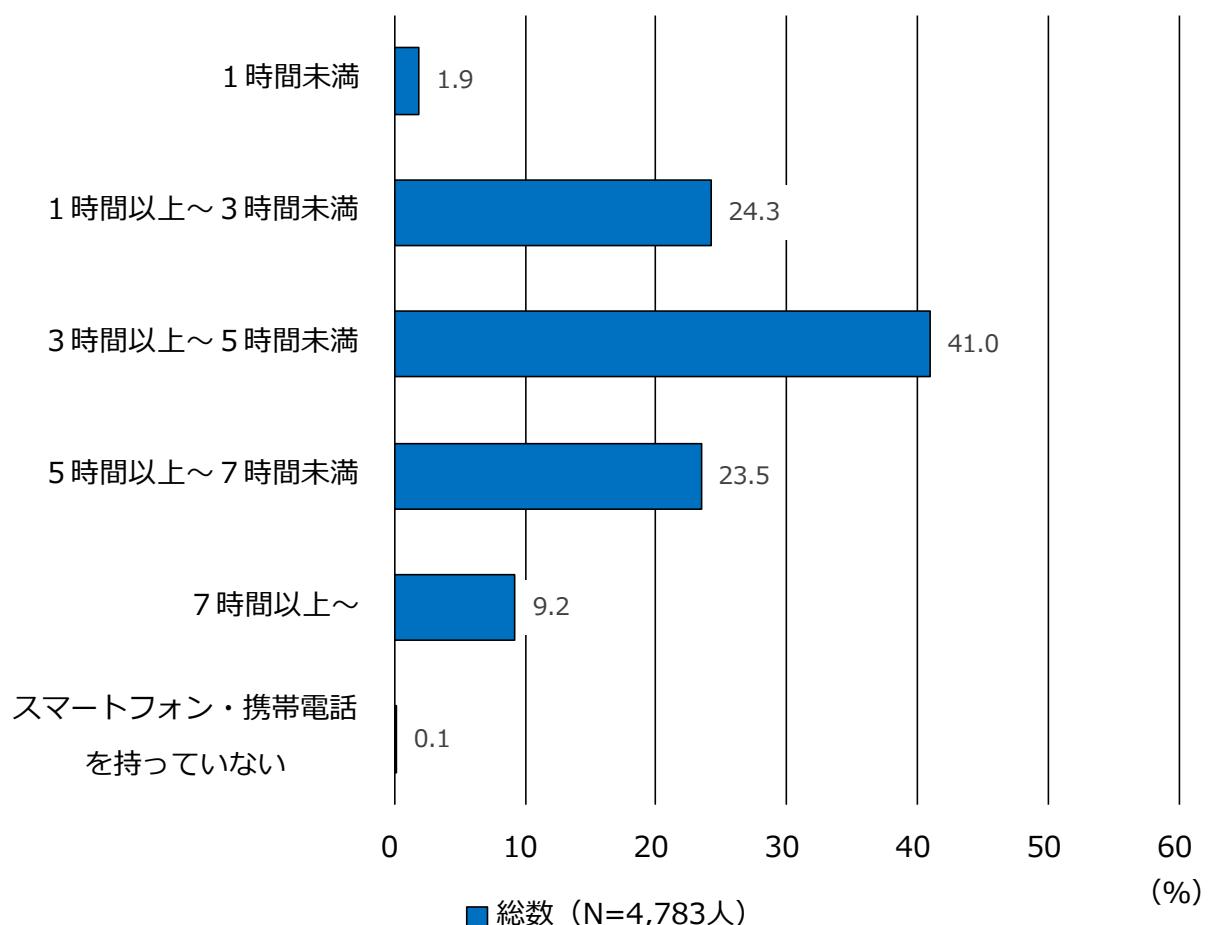
図1-1 一週間の自炊の頻度



問11 あなたは、スマートフォン・携帯電話を1日に平均して何時間利用していますか。以下の
の中から該当するものを1つ選んでください。

スマートフォン・携帯電話の利用時間を聞いたところ、「3時間以上～5時間未満」と回答した
人の割合が41.0%と最も高く、次いで「1時間以上～3時間未満」(24.3%)、「5時間以上～7時
間未満」(23.5%)、「7時間以上～」(9.2%)の順となっている。(図1-2)

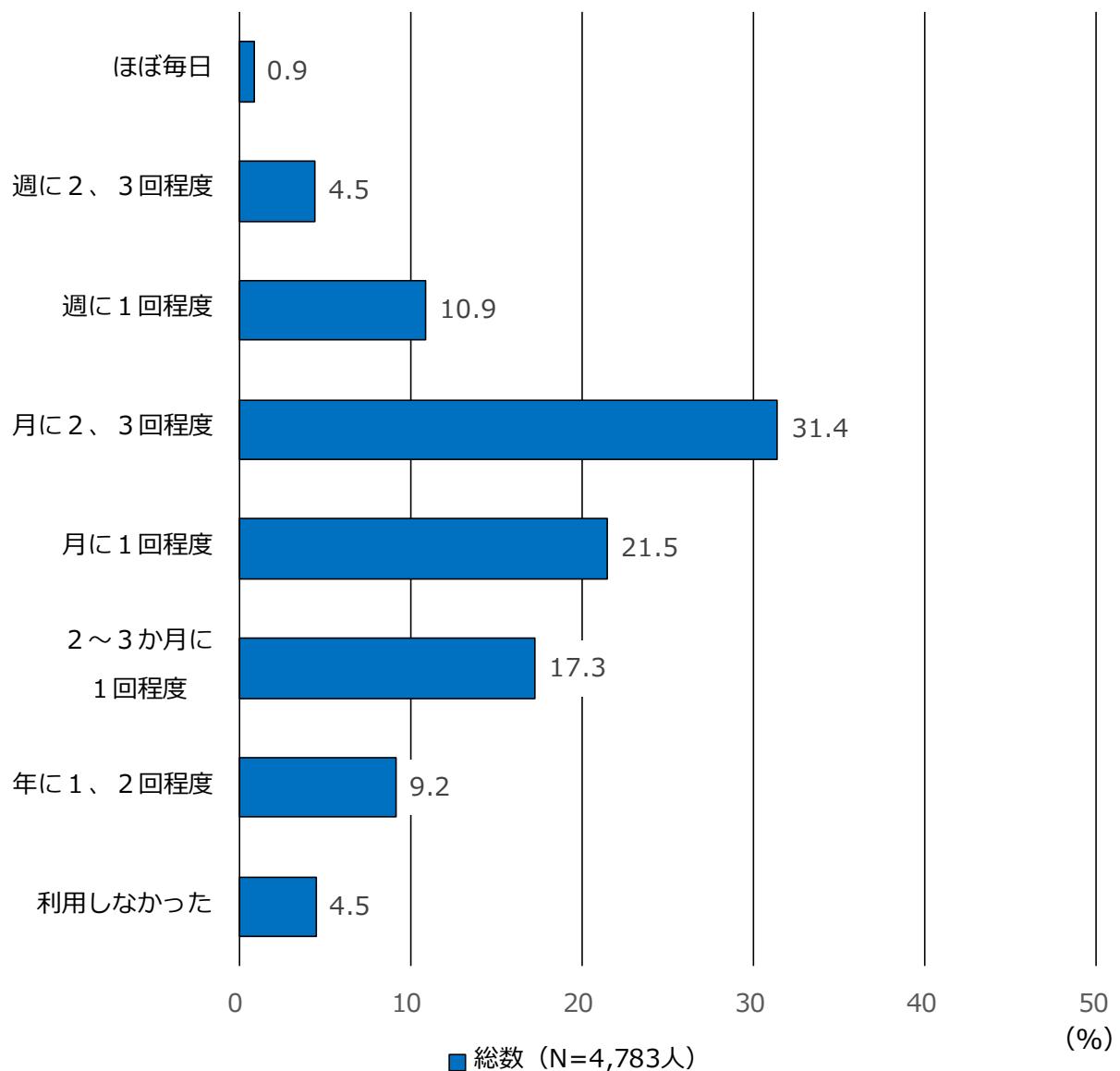
図1-2 スマートフォン・携帯電話の利用時間



問12 あなたは、この一年間にどれくらいの頻度でインターネットショッピング（ホテル、チケット等の予約・購入を含む）を利用しましたか。以下のなかから該当するものを1つ選んでください。

インターネットショッピングの利用状況を聞いたところ、「月に2、3回程度」と回答した人の割合が31.4%と最も高く、次いで「月に1回程度」(21.5%)、「2～3か月に1回程度」(17.3%)の順となっている。(図1-3)

図1-3 インターネットショッピングの利用状況



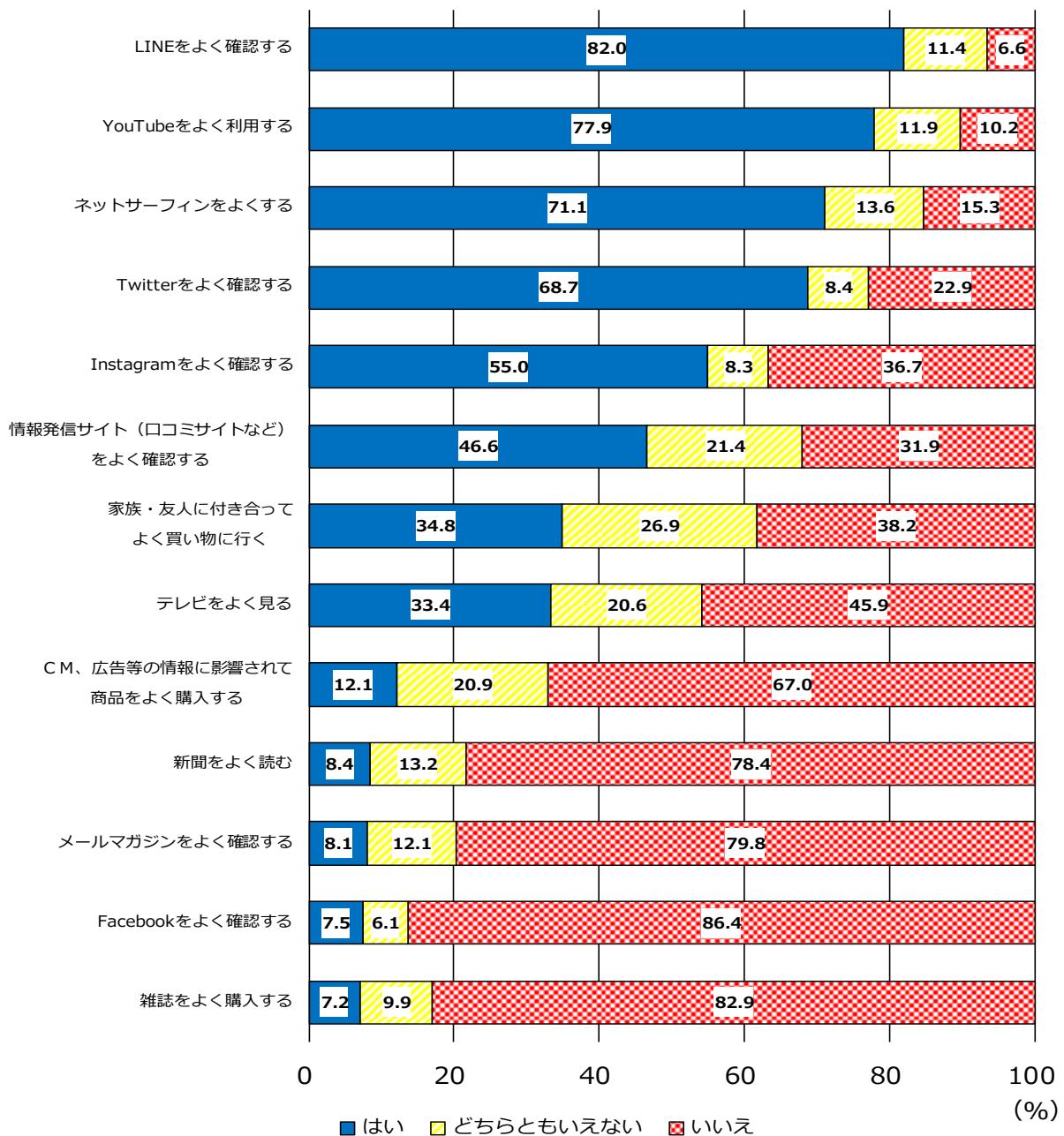
問 13 あなたは次に当てはまる行動をしていますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

当てはまる行動について聞いたところ、以下の図のような結果になった。

「はい」と回答した人の割合が高い順に見ると、「LINEをよく確認する」が82.0%と最も高く、次いで「YouTubeをよく利用する」(77.9%)、「ネットサーフィンをよくする」(71.1%)の順となっている。一方、「いいえ」と回答した人の割合が高い順に見ると、「Facebookをよく確認する」が86.4%と最も高く、次いで「雑誌をよく購入する」(82.9%)、「メールマガジンをよく確認する」(79.8%)の順となっている。(図1-4)

図1-4 当てはまる行動について

N=4,783人



問 14 あなたはどういった場面にストレスを感じますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

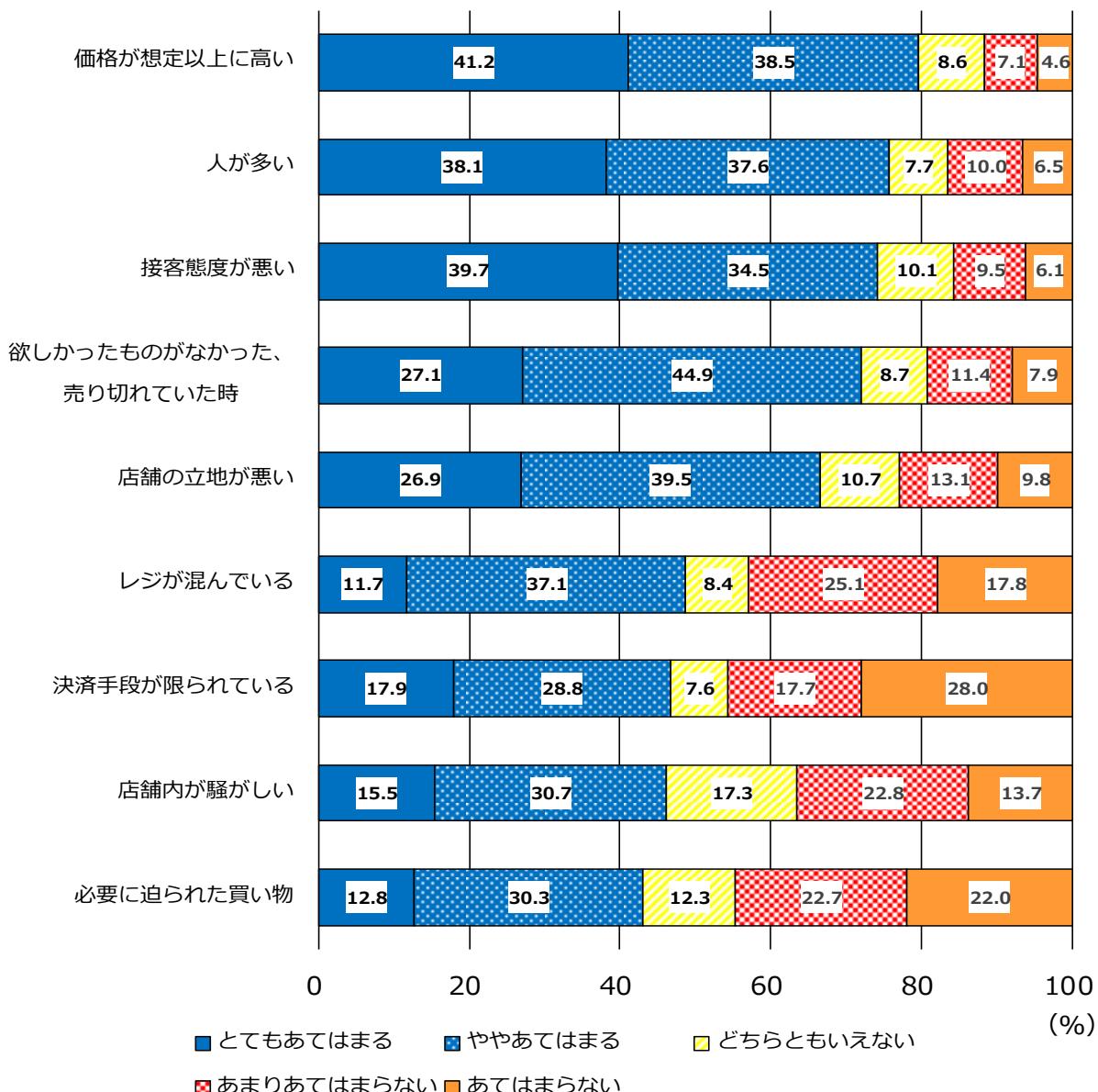
ストレスを感じる場面について聞いたところ、以下の図のような結果になった。

「あてはまる（『とてもあてはまる』+『ややあてはまる』）」の割合が高い順に見ると、「価格が想定以上に高い」が 79.7% (41.2%+38.5%) と最も高く、次いで「人が多い」が 75.7% (38.1%+37.6%)、「接客態度が悪い」が 74.2% (39.7%+34.5%) の順となっている。

一方、「あてはまらない（『あまりあてはまらない』+『あてはまらない』）」の割合が高い順に見ると、「決済手段が限られている」が 45.7% (17.7%+28.0%) と最も高く、次いで「必要に迫られた買い物」が 44.7% (22.7%+22.0%)、「レジが混んでいる」が 42.9% (25.1%+17.8%) の順となっている。（図 1-5）

N=4,783 人

図 1-5 ストレスを感じる場面



問15 あなたはこの半年の期間の買い物において、以下のそれぞれの理由で、購入後に不要だったと感じたことはありますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

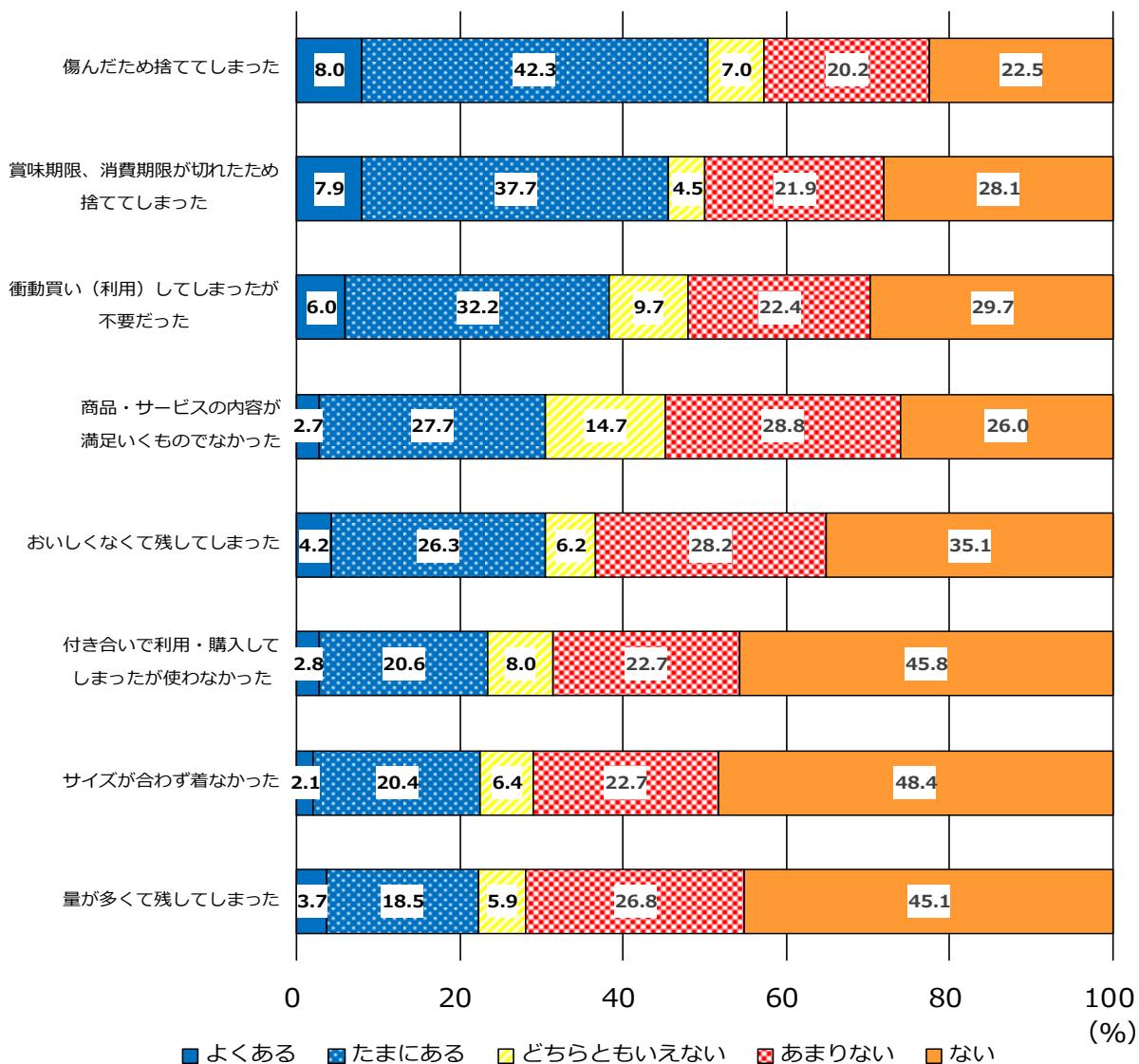
購入後に不要だったと感じた買物について聞いたところ、以下の図のような結果になった。

「ある（『よくある』+『たまにある』）」と回答した人の割合が高い順に見ると、「傷んだため捨ててしまった」が50.3%（8.0%+42.3%）と最も高く、次いで「賞味期限、消費期限が切れたため捨ててしまった」が45.6%（7.9%+37.7%）、「衝動買い（利用）してしまったが不要だった」が38.2%（6.0%+32.2%）の順となっている。

一方、「ない（『あまりない』+『ない』）」と回答した人の割合が高い順に見ると、「量が多くて残してしまった」が71.9%（26.8%+45.1%）と最も高く、次いで「サイズが合わず着なかった」が71.0%（22.7%+48.4%）、「付き合い利用・購入してしまったが使わなかった」が68.5%（22.7%+45.8%）の順となっている。（図1-6）

N=4,783人

図1-6 不要だったと感じたことの有無

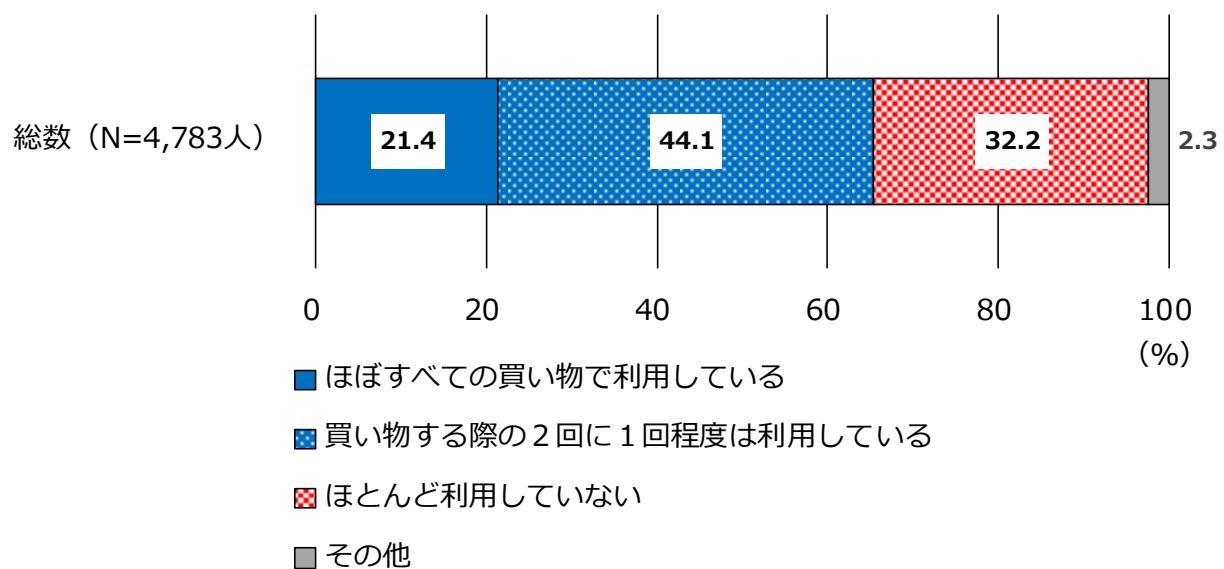


3. キャッシュレス決済について

問16 あなたはこの半年の期間でキャッシュレス決済をどの程度利用していますか。以下の中から該当するものを1つ選んでください。

キャッシュレス決済の利用頻度を聞いたところ、「ほぼすべての買い物で利用している」と回答した人の割合が21.4%、「買い物する際の2回に1回程度は利用している」が44.1%、「ほとんど利用していない」が32.2%、「その他」が2.3%となっている。(図1-7)

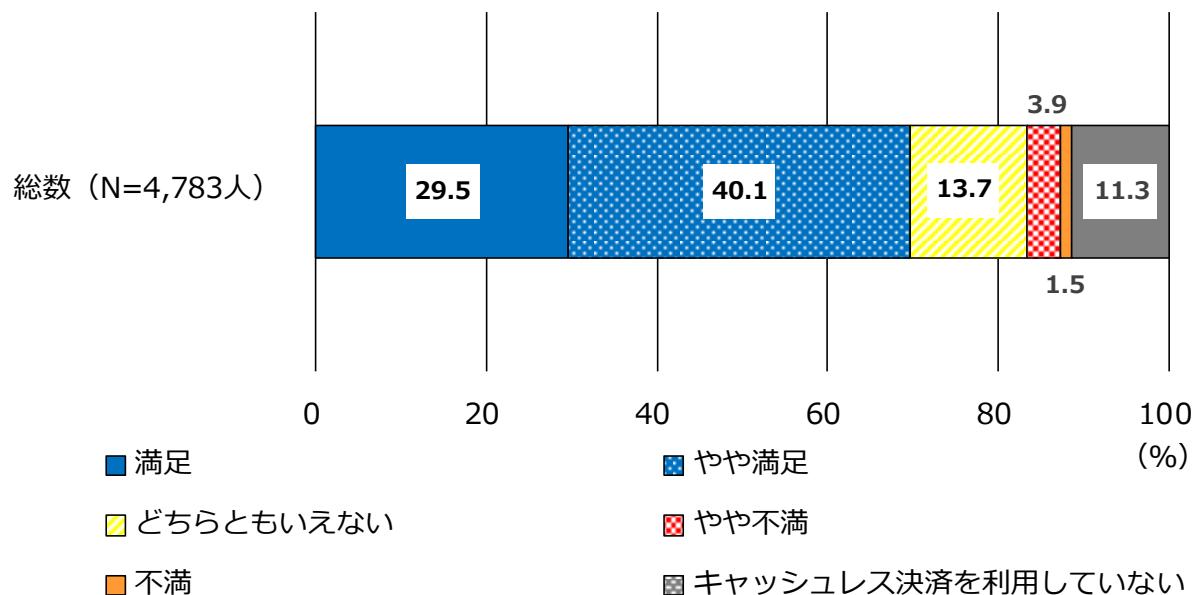
図1-7 キャッシュレス決済の利用頻度



問 17 あなたは利用しているキャッシュレス決済にどの程度満足していますか。以下の中から該当するものを1つ選んでください。

利用しているキャッシュレス決済の満足度を聞いたところ、「満足（『満足』+『やや満足』）」と回答した人の割合が 69.6% ($29.5\% + 40.1\%$)、「不満（『やや不満』+『不満』）」の割合が 5.4% ($3.9\% + 1.5\%$) となっている。（図 1-8）

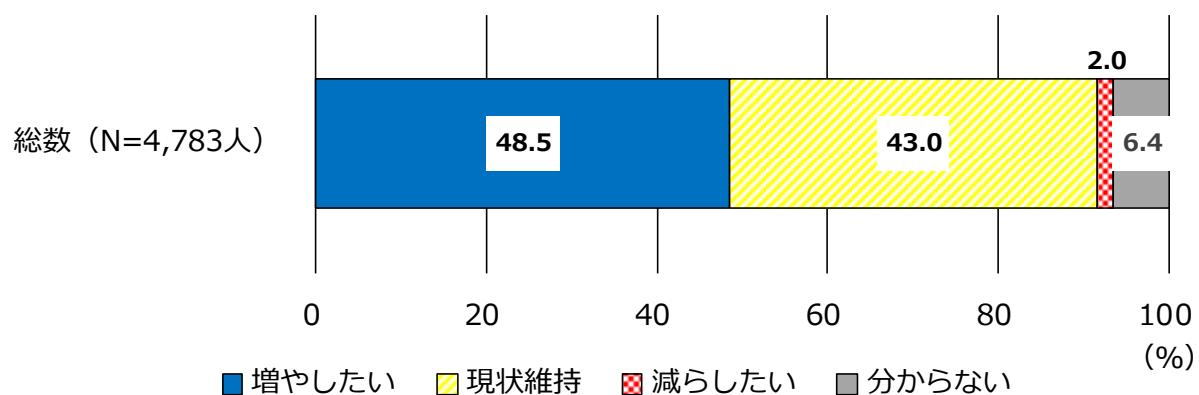
図 1-8 キャッシュレス決済の満足度



問18 あなたは今後のキャッシュレス決済の利用頻度についてどのようにしたいですか。以下の中から該当するものを1つ選んでください。

今後のキャッシュレス決済の利用頻度の意向を聞いたところ、「増やしたい」と回答した人の割合が48.5%、「現状維持」が43.0%、「減らしたい」が2.0%、「分からない」が6.4%となっている。(図1-9)

図1-9 今後のキャッシュレス決済の利用頻度の意向

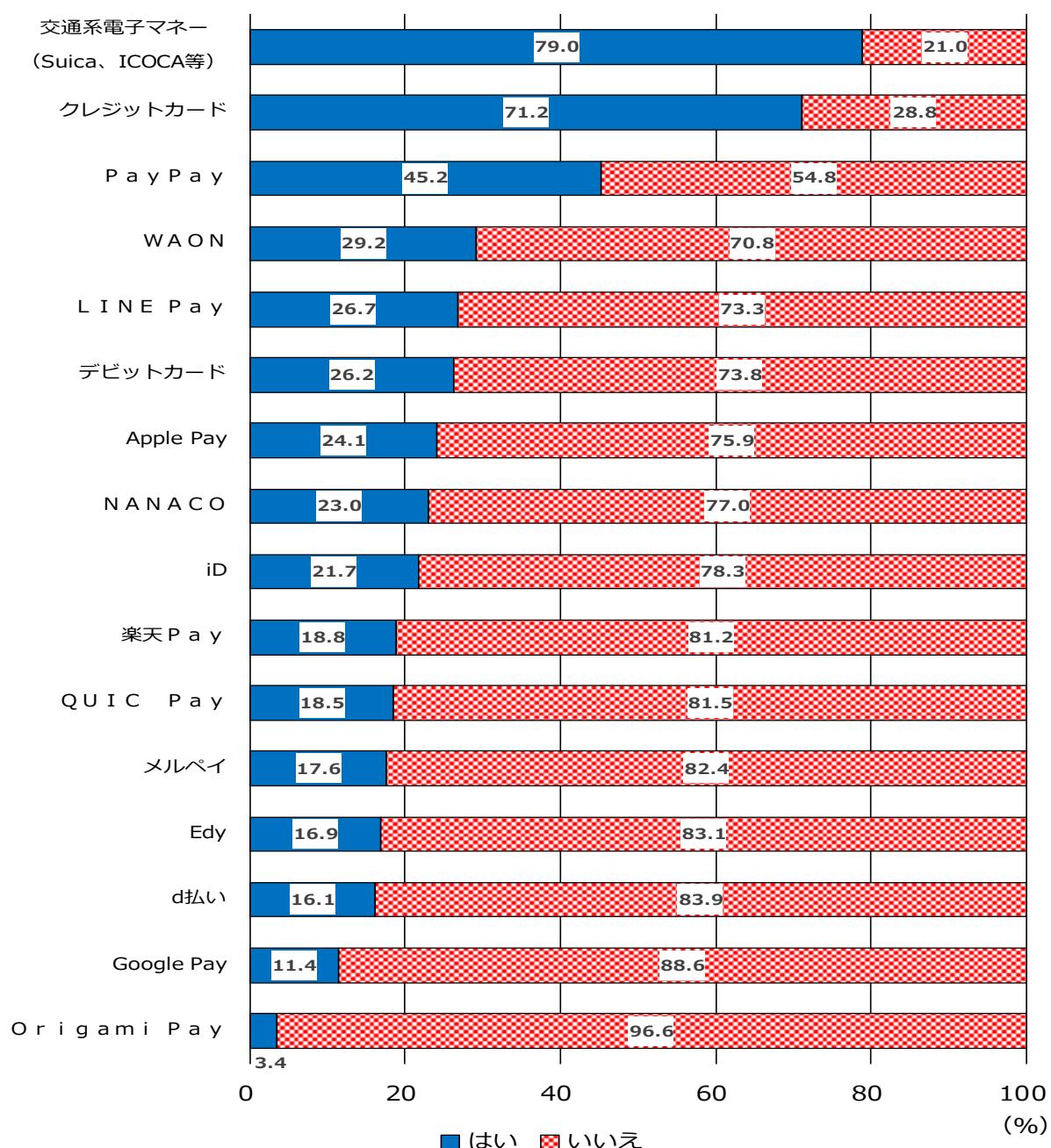


問19 あなたがキャッシュレス決済として使いたいと思うもの（現在使用しているものを含みます）はなんですか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

使いたいキャッシュレス決済の種類に聞いたところ、以下の図のような結果になった。
 「はい」と回答した人の割合が高い順に見ると、「交通系電子マネー（Suica、ICOCA等）」が79.0%と最も高く、次いで「クレジットカード」(71.2%)、「Pay Pay」(45.2%)、「WAON」(29.2%)、「LINE PAY」(26.7%) の順となっている。（図1-10）

N=4,783人

図1-10 使いたいと思うキャッシュレス決済の種類



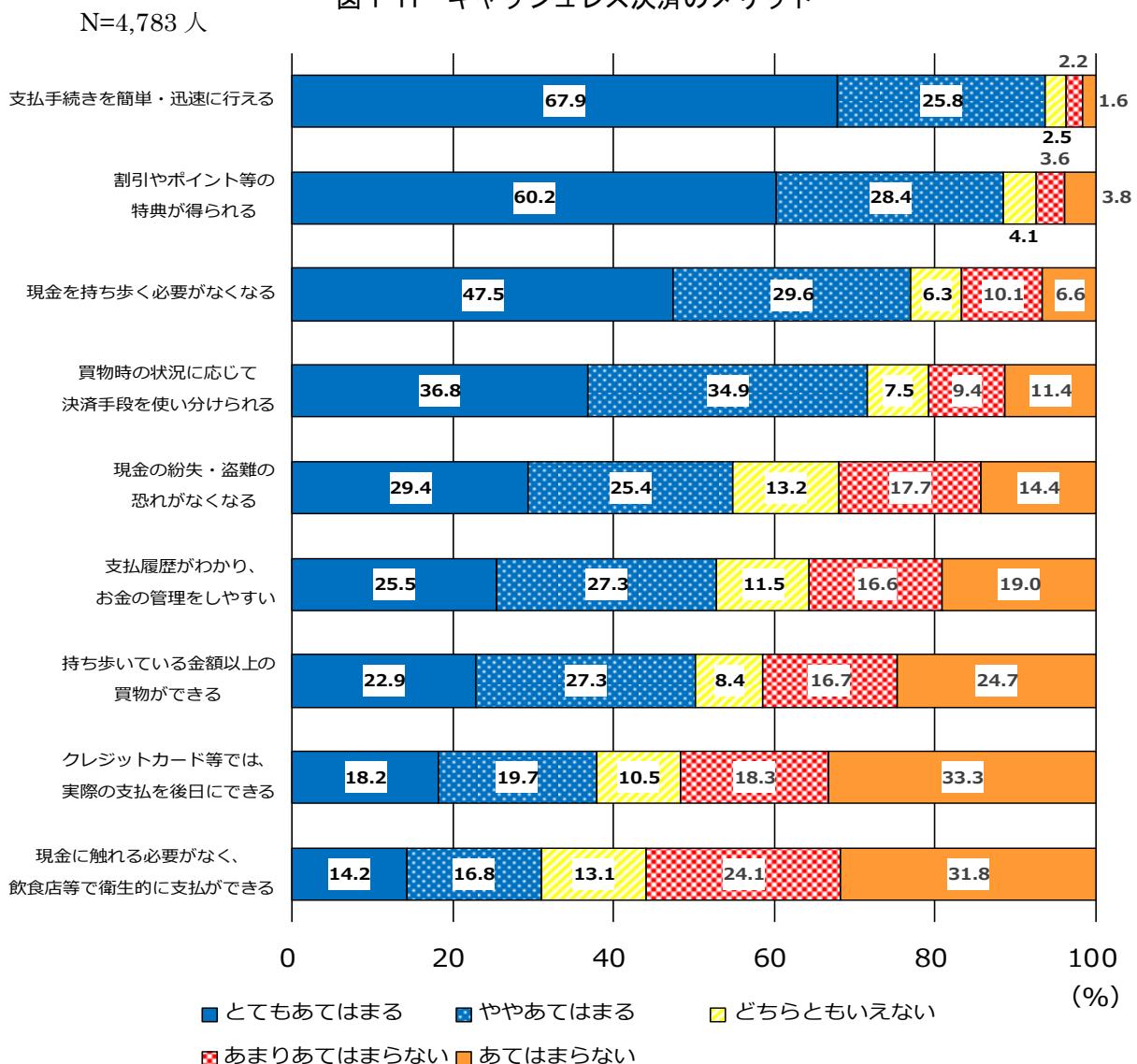
問20 キャッシュレス決済のメリットについてあなたの考えに近いものはなんですか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

キャッシュレス決済のメリットについて聞いたところ、以下の図のような結果になった。

「あてはまる（『とてもあてはまる』+『ややあてはまる』）」の割合が高い順に見ると、「支払手続きを簡単・迅速に行える」が93.7%（67.9%+25.8%）と最も高く、次いで「割引やポイント等の特典が得られる」が88.6%（60.2%+28.4%）、「現金を持ち歩く必要がなくなる」が77.1%（47.5%+29.6%）の順となっている。

一方、「あてはまらない（『あまりあてはまらない』+『あてはまらない』）」の割合が高い順に見ると、「現金に触れる必要がなく、飲食店等で衛生的に支払ができる」が55.9%（24.1%+31.8%）が最も高く、次いで「クレジットカード等では、実際の支払を後日にできる」が51.6%（18.3%+33.3%）、「持ち歩いている金額以上の買物ができる」が41.4%（16.7%+24.7%）の順となっている。（図1-11）

図1-11 キャッシュレス決済のメリット



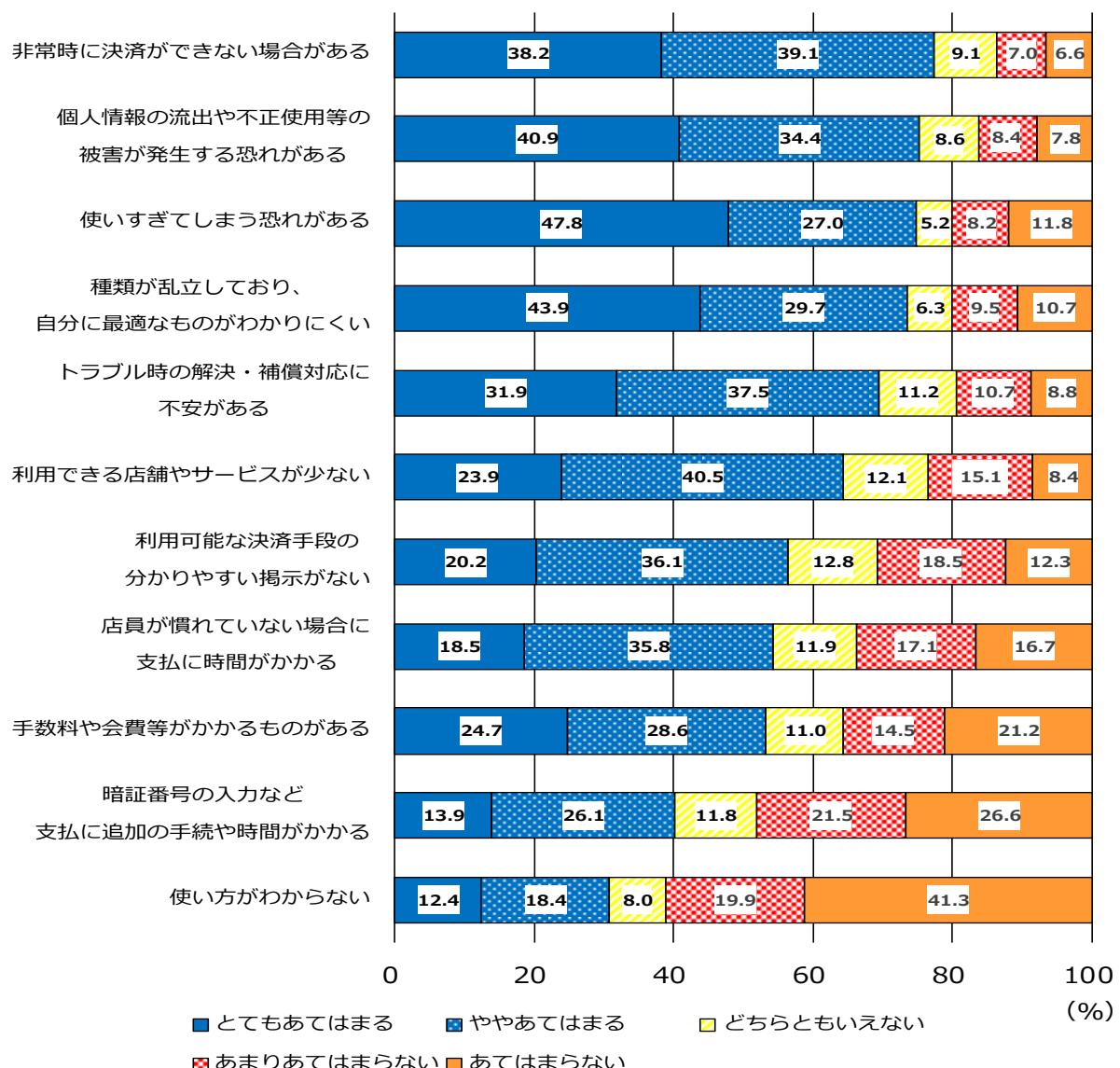
問21 キャッシュレス決済のデメリットについてあなたの考えに近いものはなんですか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

キャッシュレス決済のデメリットについて聞いたところ、以下の図のような結果になった。

「あてはまる（『とてもあてはまる』+『ややあてはまる』）」の割合が高い順に見ると、「非常に決済ができない場合がある」が77.3%（38.2%+39.1%）と最も高く、次いで「個人情報の流出や不正使用等の被害が発生する恐れがある」が75.2%（40.9%+34.4%）、「使いすぎてしまう恐れがある」が74.8%（47.8%+27.0%）の順となっている。

一方、「あてはまらない（『あまりあてはまらない』+『あてはまらない』）」の割合が高い順に見ると、「使い方がわからない」が61.2%（19.9%+41.3%）と最も高く、次いで「暗証番号の入力など支払に追加の手続や時間がかかる」が48.1%（21.5%+26.6%）、「手数料や会費等がかかるものがある」が35.7%（14.5%+21.2%）の順となっている。（図1-12）

N=4,783人 図1-12 キャッシュレス決済のデメリット

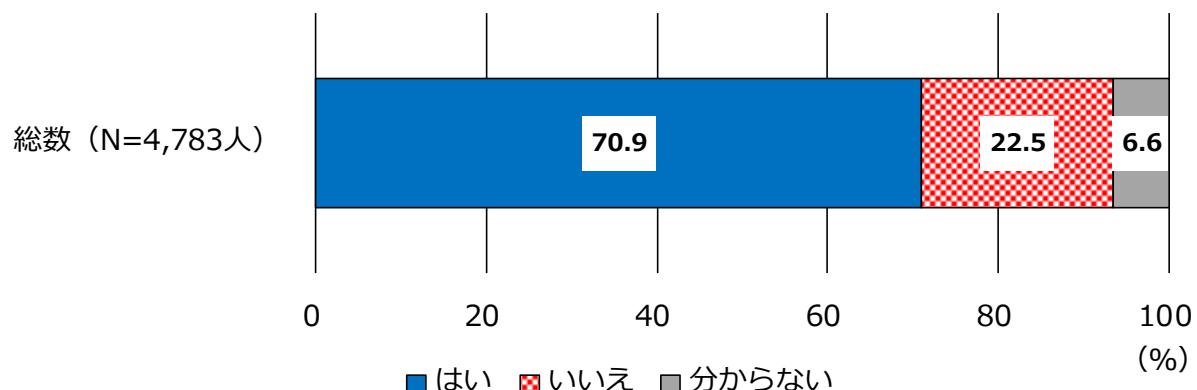


問22（あなたの大学入学前の状況についてお答えください。）

あなたの利用していた公共交通機関（電車・バス等）に交通系電子マネーは導入されていましたか。以下のなかから該当するものを1つ選んでください。

大学入学前において、利用していた公共交通機関に交通系電子マネーが導入されていたか聞いたところ、「はい」と回答した人の割合が70.9%、「いいえ」が22.5%、「分からぬ」が6.6%となっている。（図1-13）

図1-13 公共交通機関（電車・バス等）の交通系電子マネー導入の有無

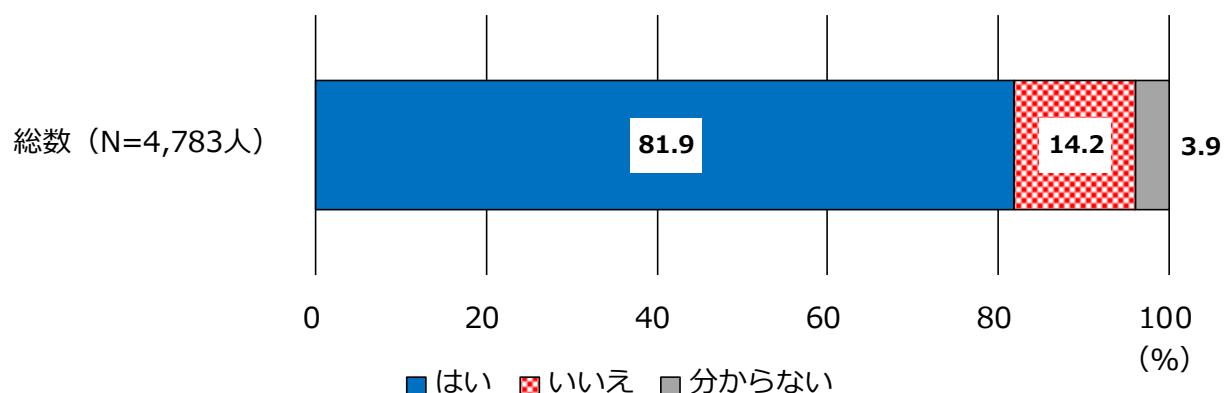


問23（あなたの大学入学前の状況についてお答えください。）

あなたの家族はクレジットカードを利用していましたか。以下の中から該当するものを1つ選んでください。

大学入学前において、家族がクレジットカードを利用していたか聞いたところ、「はい」と回答した人の割合が81.9%、「いいえ」が14.2%、「分からぬ」が3.9%となっている。（図1-14）

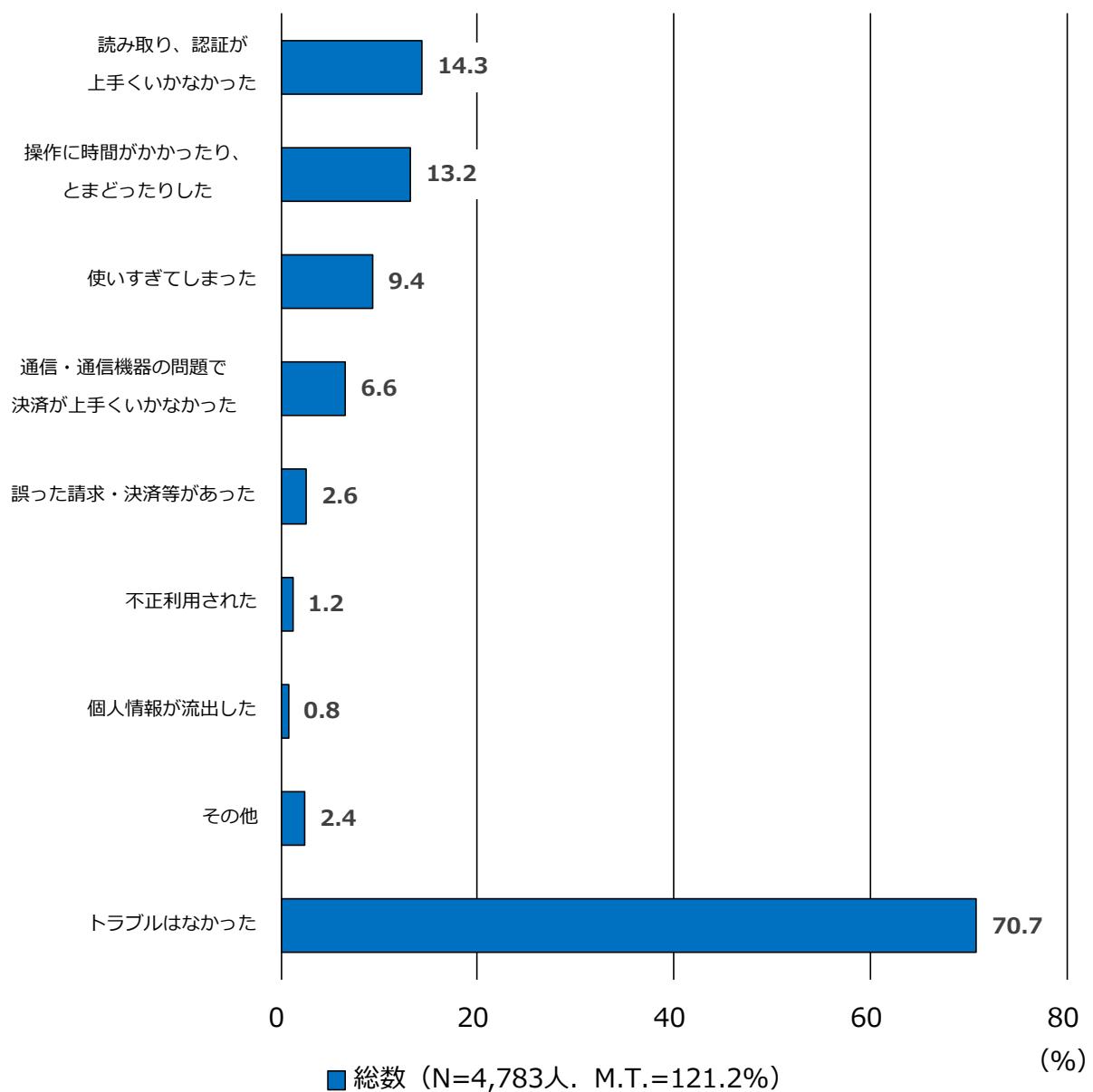
図1-14 家族のクレジットカードの利用の有無



問24 あなたはこれまで、キャッシュレス決済に関するトラブルの経験がありますか。どのようなトラブルがあったか、差し支えなければ以下のなかから該当するものを全て選んでください。

キャッシュレス決済に関するトラブルの経験があるか聞いたところ、「読み取り、認証が上手くいかなかった」と回答した人の割合が14.3%と最も高く、次いで「操作に時間がかかったり、とまどったりした」(13.2%)、「使いすぎてしまった」(9.4%)の順となっている。なお、「トラブルはなかった」と回答した人の割合は70.7%となっている。(複数回答、図1-15)

図1-15 キャッシュレス決済に関するトラブルの経験



問25 問24で選んだトラブルについてどのような内容だったのか、差し支えなければ具体的にお答えください。(いつ、どこで、何を購入したとき、どんなトラブルがあり、その後どうなったのか。)

キャッシュレス決済に関するトラブルの内容について、自由記述形式で聞いたところ、703人から754個の回答があり、特徴的なものについて例を挙げると、以下のとおりとなった。

○ 「読み取り、認証が上手くいかなかった」について

- ・暗証番号を忘れてしまった。
- ・QRコード決済について、スマートフォンの画面にバーコードを表示して決済する形式の場合に、画面の照度が暗くて読み込めなかったり、時間がかかったりした。

○ 「操作に時間がかかったり、とまどったりした」について

- ・決済方法が分かりにくく、慣れていないので時間がかかった。
- ・店員の知識不足、理解不足のため時間がかかったりした。

○ 「使いすぎてしまった」について

- ・お金を使っている感覚がない。
- ・口座残高、請求額が現在いくらになっているか把握していない。
- ・インターネットショッピングで気軽に買ってしまう。
- ・クレジットカードで買いすぎてしまう。
- ・よく分からずにリボ払いにしてしまった。

○ 「通信・通信機器の問題で決済が上手くいかなかった」について

- ・QRコード決済の還元キャンペーンの際にサーバーダウン等で通信ができなかった。
- ・自動でWi-Fiに接続されてしまい、決済アプリの通信が上手くいかなかった。

○ 「不正利用された」について

- ・海外旅行や海外のサイトを利用した後に不正利用された。
- ・海外で商品を購入されているという不正利用があった。
- ・不正利用をクレジットカード事業者が察知して被害を防止してくれた。

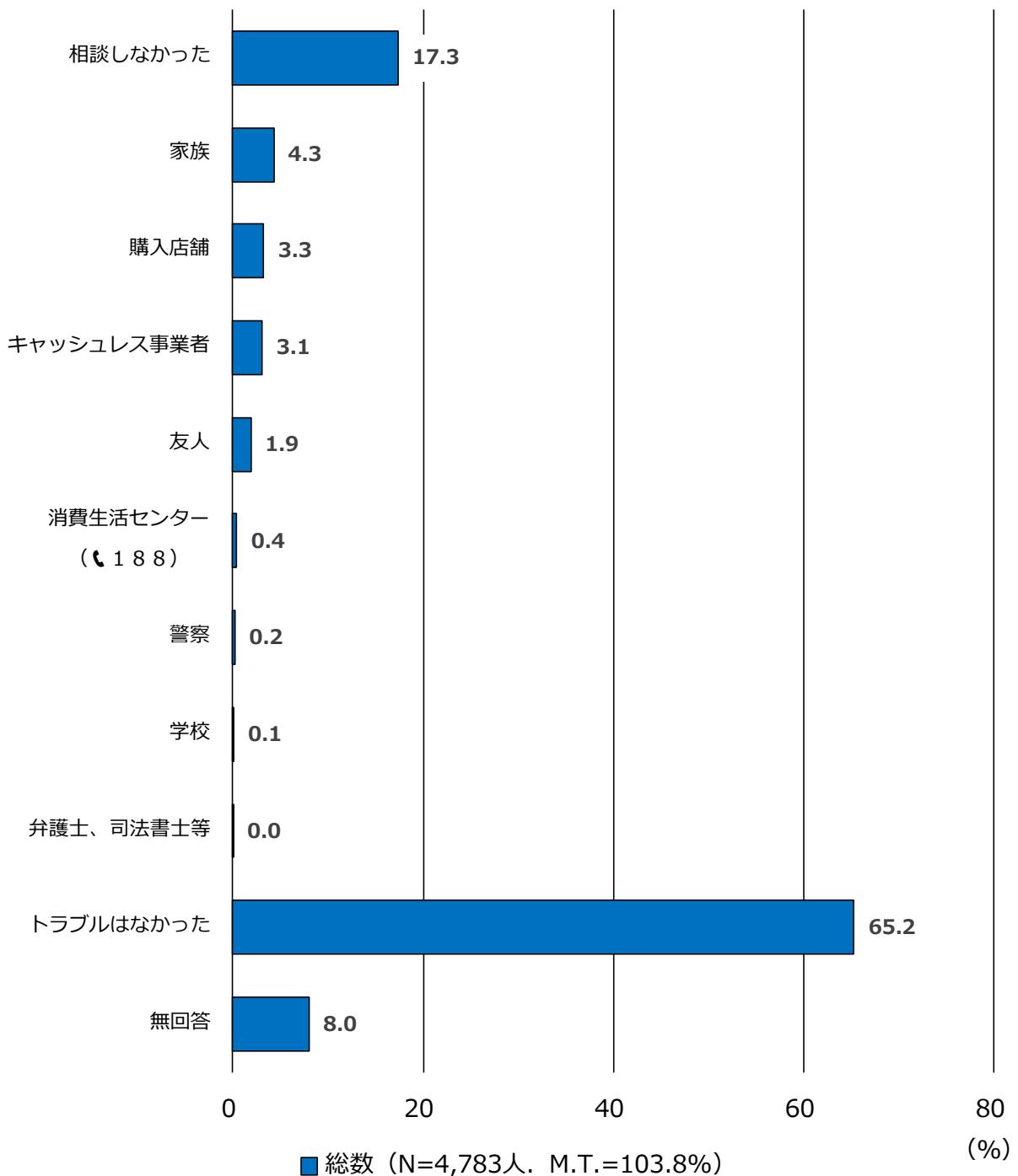
○ 「その他」について

- ・店員の知識不足、理解不足のため利用できなかった。
- ・店舗の表示があいまいなため利用できなかった。
- ・店が対応しているキャッシュレスの種類が少なかった。

問26 トラブルがあった際、どこへ相談しましたか。差し支えなければ、該当するものを全て選んでください。

トラブルがあった際の相談先を聞いたところ、「相談しなかった」と回答した人の割合が17.3%と最も高く、次いで「家族」(4.3%)、「購入店舗」(3.3%)の順となっている。(複数回答、図1-16)

図1-16 トラブルがあった際の相談先



※「弁護士、司法書士等」は0.02%であった。

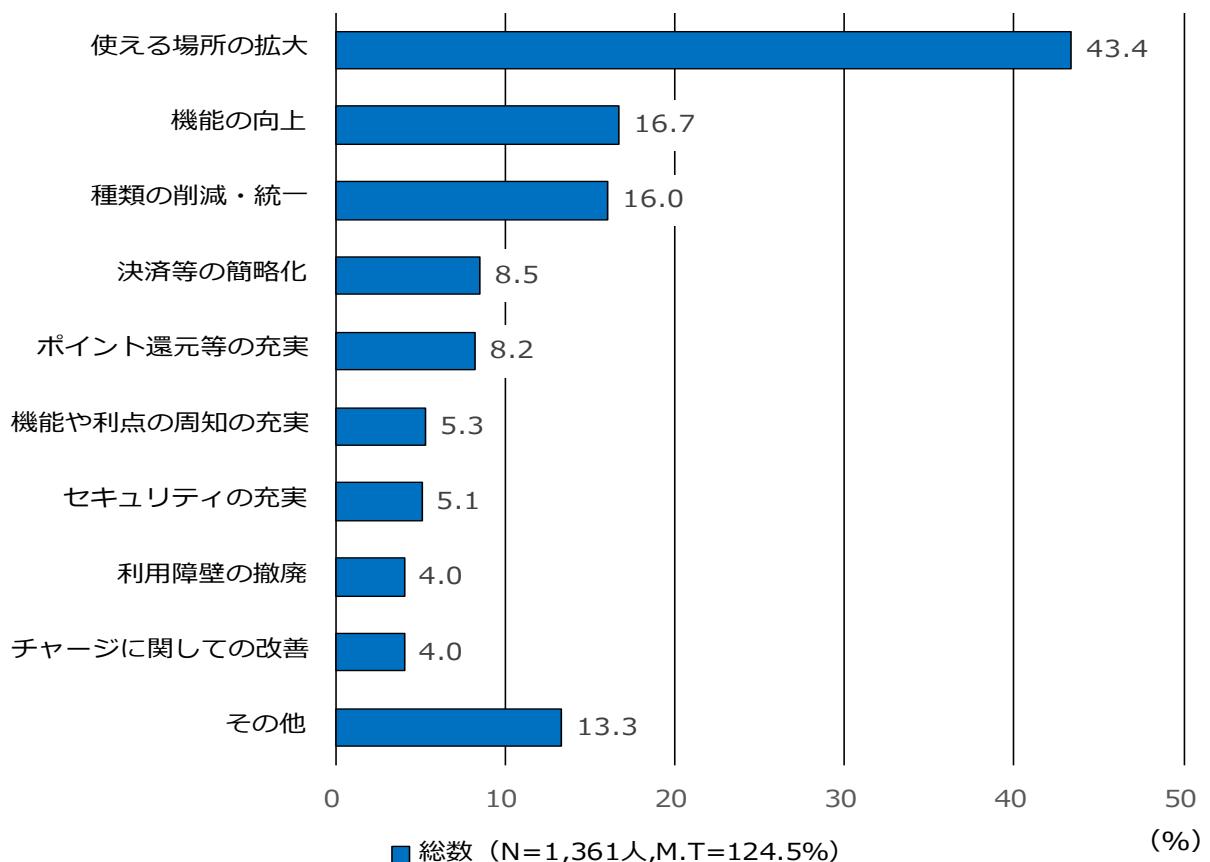
問27 あなたのキャッシュレス決済に関する希望について教えてください。（こんなところで使えたならよい。こんな機能があつたらよいなど。）

キャッシュレス決済に関する希望について、自由記述形式で聞いたところ、1,361人から1,695個的回答があり、分類したところ、以下の図のような結果になった。

「使える場所の拡大」に分類できる回答をした人の割合が43.4%と最も高く、具体的な場所としては、「すべての場所・たくさん（181人）」という回答のほか、「大学（71人）」、「公共交通機関（59人）」、「飲食店（47人）」、「自販機（47人）」、「スーパー（32人）」などの意見となっている。次いで「機能の向上」に分類できる回答をした人の割合が16.7%となっており、具体的には、「利用状況、残高の確認の利便性向上（91人）」、「使いすぎ防止の機能（29人）」、「個人間送金の機能（20人）」などの意見となっている。

「決済等の簡略化」に分類できる回答（8.5%）としては、「決済時にアプリの起動やサインが必要などの手間の削減（59人）」、「非接触型決済の導入促進（34人）」などの意見となっている。「利用障壁の撤廃」に分類できる回答（4.0%）としては、「利用可能な決済種類の掲示がない、分かりにくい（26人）」、「店によって使える決済の種類が異なる（21人）」、「金額制限、時間帯制限や手数料がかかるなどの利用障壁をなくしてほしい（8人）」などの意見となっている。「チャージに関しての改善」に分類できる回答（4.0%）としては、「現金のみ、金融機関が限られているなど、チャージの手段が限られている（26人）」、「チャージできる場所が少ない（22人）」などの意見となっている。（自由記述、図1-17）

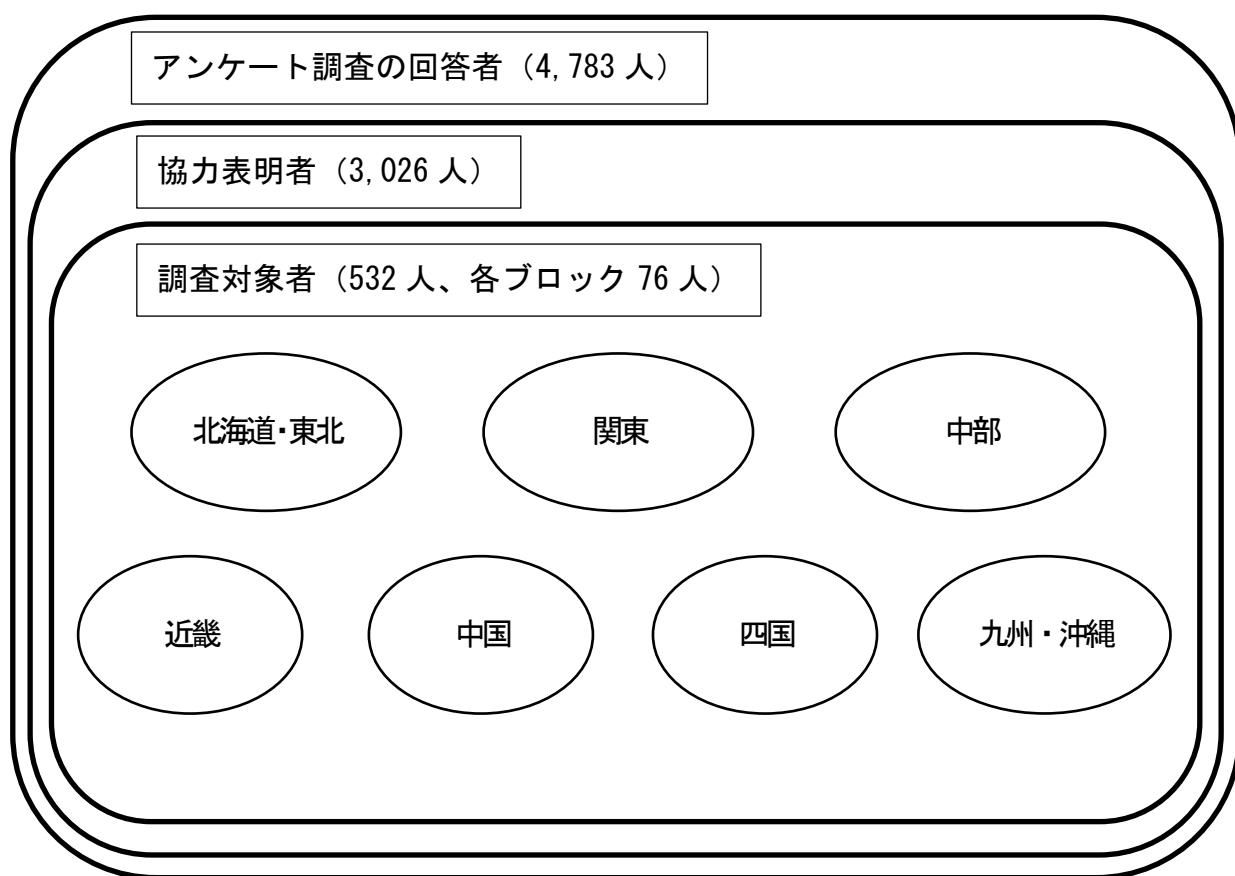
図1-17 キャッシュレス決済に関する希望



III 消費行動調査の概要

1. 調査対象者について

消費行動調査の対象者は、アンケート調査の回答者（4,783人）の中で消費行動調査に協力を表明した3,026人の中から、全国を7ブロック（北海道・東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄）に分け、各ブロックが均等になるよう抽出した532人（各ブロック76人）であり、そのうち有効回答者274人であった。



各ブロックの内訳

北海道・東北：北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県

関東：茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県

中部：新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県

近畿：三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県

中国：鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県

四国：徳島県 香川県 愛媛県 高知県

九州・沖縄：福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

2. 有効回答率

	総数	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州・沖縄
対象者数	532	76	76	76	76	76	76	76
有効回答者数	274	27	44	44	38	48	39	34
有効回答率	51.5	35.5	57.9	57.9	50.0	63.2	51.3	44.7

3. 基本統計

回答者数 (人)	274
買物総額 (円)	9,294,298
一人当たりの平均 (円)	33,921
中央値 (円)	24,305
買物総数 (回)	6,351
一人当たりの平均 (回)	23.2
中央値 (回)	21

4. 回答者の属性

消費行動調査の有効回答者 274 人のアンケート調査での属性は以下のとおり。

問 1 性別をお答えください。

	総数	男	女	その他
総数	274	151	123	0
%	100	55.1	44.9	0.0

性別を聞いたところ、「男」と回答した人の割合が 55.1%、「女」が 44.9% となっている。

問 2 年齢をお答えください。

	総数	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25~30歳	31歳~
総数	274	15	44	40	59	42	31	19	16	8
%	100	5.5	16.1	14.6	21.5	15.3	11.3	6.9	5.8	2.9

年齢を聞いたところ、「21 歳」と回答した人の割合が 21.5% と最も高く、次いで「19 歳」(16.1%)、「22 歳」(15.3%)、「20 歳」(14.6%) の順となっている。なお、平均年齢は 21.8 歳となっている。

問3 学年をお答えください。

	総数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	院生	その他
総数	274	50	43	55	65	9	2	50	0
%	100	18.2	15.7	20.1	23.7	3.3	0.7	18.2	0.0

学年を聞いたところ、「4年生」と回答した人の割合が23.7%と最も高く、次いで、「3年生」(20.1%)、「1年生」・「院生」(18.2%)、「2年生」(15.7%)の順となっている。

問4 現在の住所をお答えください。

北海道・東北	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県		
27	1	0	0	17	8	0	1		
9.85	0.36	0.00	0.00	6.20	2.92	0.00	0.36		
関東	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県		
44	34	0	0	2	4	3	1		
16.06	12.41	0.00	0.00	0.73	1.46	1.09	0.36		
中部	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
44	0	1	10	4	2	0	2	13	12
16.06	0.00	0.36	3.65	1.46	0.73	0.00	0.73	4.74	4.38
近畿	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県		
38	14	7	1	12	3	1	0		
13.87	5.11	2.55	0.36	4.38	1.09	0.36	0.00		
中国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県				
48	11	0	15	22	0				
17.52	4.01	0.00	5.47	8.03	0.00				
四国	徳島県	香川県	愛媛県	高知県					
39	6	33	0	0					
14.23	2.19	12.04	0.00	0.00					
九州・沖縄	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
34	2	14	6	2	10	0	0	0	
12.41	0.73	5.11	2.19	0.73	3.65	0.00	0.00	0.00	
総数									
274	総数								
100	%								

現住所を聞いたところ、「茨城県」と回答した人の割合が12.41%と最も高く、次いで「香川県」(12.04)、「広島県」(8.03%)、「宮城県」(6.20%)の順となっている。

ブロック別に見ると、「中国」と回答した人の割合が17.52%と最も高く、次いで「関東」・「中部」(16.06%)、「九州・沖縄」(12.41%)の順となっている。

問5 大学入学前の住所をお答えください。

北海道・東北	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	
28	3	2	0	16	5	1	1	
10.22	1.09	0.73	0.00	5.84	1.82	0.36	0.36	
関東	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
43	19	4	0	2	6	8	4	
15.69	6.93	1.46	0.00	0.73	2.19	2.92	1.46	
中部	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県 愛知県
52	2	3	4	2	2	0	3	13 23
18.98	0.73	1.09	1.46	0.73	0.73	0.00	1.09	4.74 8.39
近畿	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	
45	9	5	5	12	12	1	1	
16.42	3.28	1.82	1.82	4.38	4.38	0.36	0.36	
中国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県			
39	3	4	20	10	2			
14.23	1.09	1.46	7.30	3.65	0.73			
四国	徳島県	香川県	愛媛県	高知県				
23	7	11	4	1				
8.39	2.55	4.01	1.46	0.36				
九州・沖縄	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
44	6	9	8	8	8	2	3	0
16.06	2.19	3.28	2.92	2.92	2.92	0.73	1.09	0.00
総数								
274	総数							
100	%							

大学入学前の住所を聞いたところ、「愛知県」と回答した人の割合が8.39%と最も高く、次いで「岡山県」(7.30%)、「茨城県」(6.93%)の順となっている。

ブロック別に見ると、「中部」と回答した人の割合が18.98%と最も高く、次いで「近畿」(16.42%)、「九州・沖縄」(16.06%)、「関東」(15.69%)の順となっている。

問6 現在の居住形態をお答えください。

	総数	一人暮らし	実家暮らし	ルームシェア	寮	その他
総数	274	142	116	4	9	3
%	100	51.8	42.3	1.5	3.3	1.1

居住形態を聞いたところ、「一人暮らし」と回答した人の割合が51.8%と最も高く、次いで「実家暮らし」(42.3%)、「寮」(3.3%)、「ルームシェア」(1.5%)の順となっている。

問7 現在、あなたは勤労（アルバイト等）をしていますか。平均収入額（月額）をお答えください。

	総数	～25,000円	25,001円～50,000円	50,001円～75,000円	75,001円～100,000円	100,001円～	現在は働いていないが、働いていたことがある	働いたことはない
総数	274	44	77	58	32	13	37	13
%	100	16.1	28.1	21.2	11.7	4.7	13.5	4.7

平均収入額（月額）を聞いたところ、「25,001円～50,000円」と回答した人の割合が28.1%と最も高く、次いで「50,001～75,000円」(21.2%)、「～25,000円」(16.1%)の順となっている。一方、「働いたことはない」と回答した人は4.7%となっている。

問8 現在、あなたは奨学金をもらっていますか。

	総数	はい	いいえ
総数	274	120	154
%	100	43.8	56.2

奨学金をもらっているか聞いたところ、「はい」と回答した人の割合が43.8%、「いいえ」が56.2%となっている。

問9 現在、あなたは仕送り（お小遣い）をもらっていますか。

	総数	はい	いいえ
総数	274	135	139
%	100	49.3	50.7

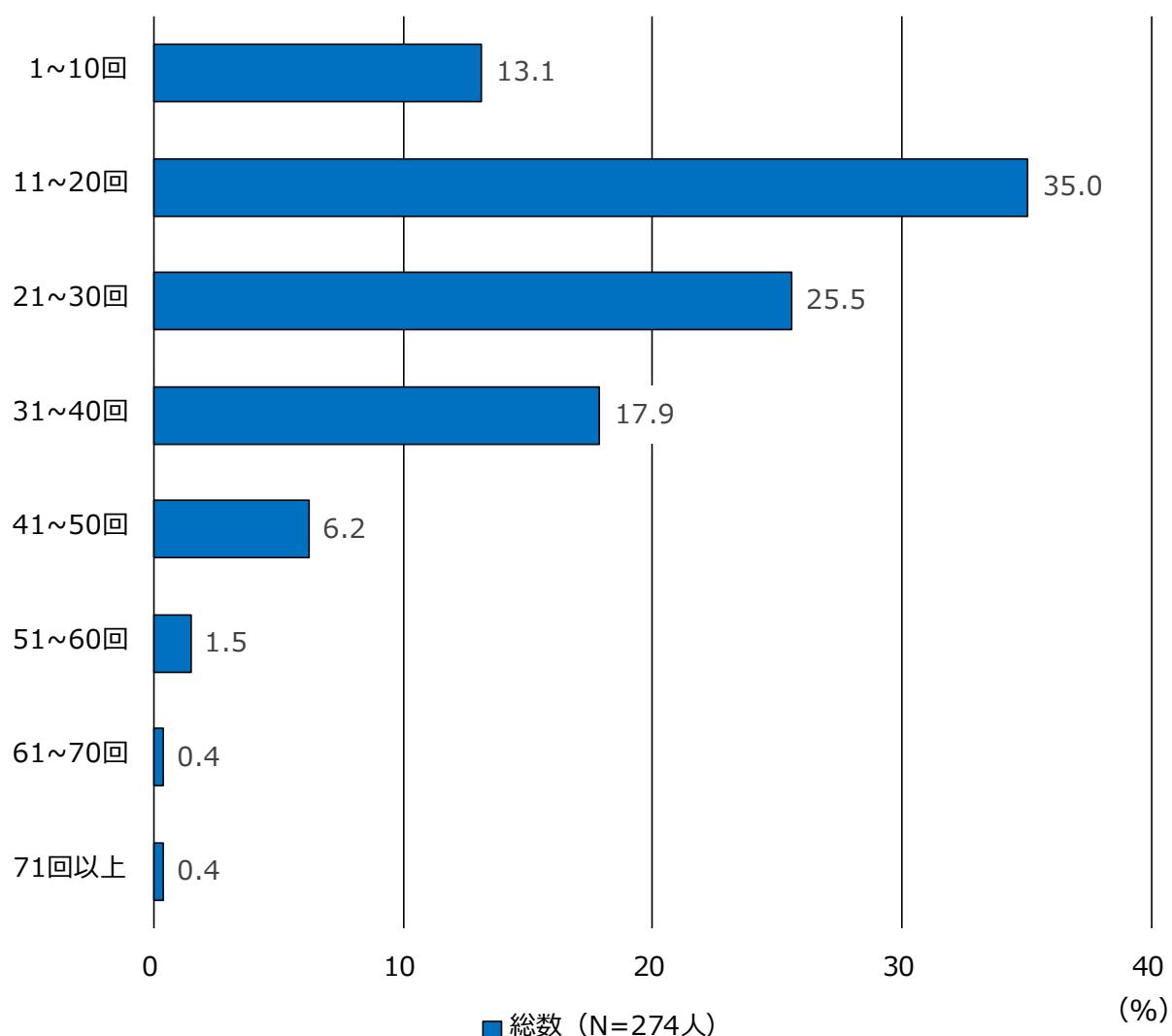
仕送り（お小遣い）をもらっているか聞いたところ、「はい」と回答した人の割合が49.3%、「いいえ」が50.7%となっている。

5. 消費行動調査の調査結果

①買物回数別回答者数

回答者 274 人を 2 週間の調査期間中の買物回数別に分けたところ、「11~20 回」の割合が 35.0% と最も高く、次いで「21~30 回」(25.5%)、「31~40 回」(17.9%) の順となっている。なお、一人当たりの平均値は 23.2 回、中央値は 21 回となっている。(図 2-1)

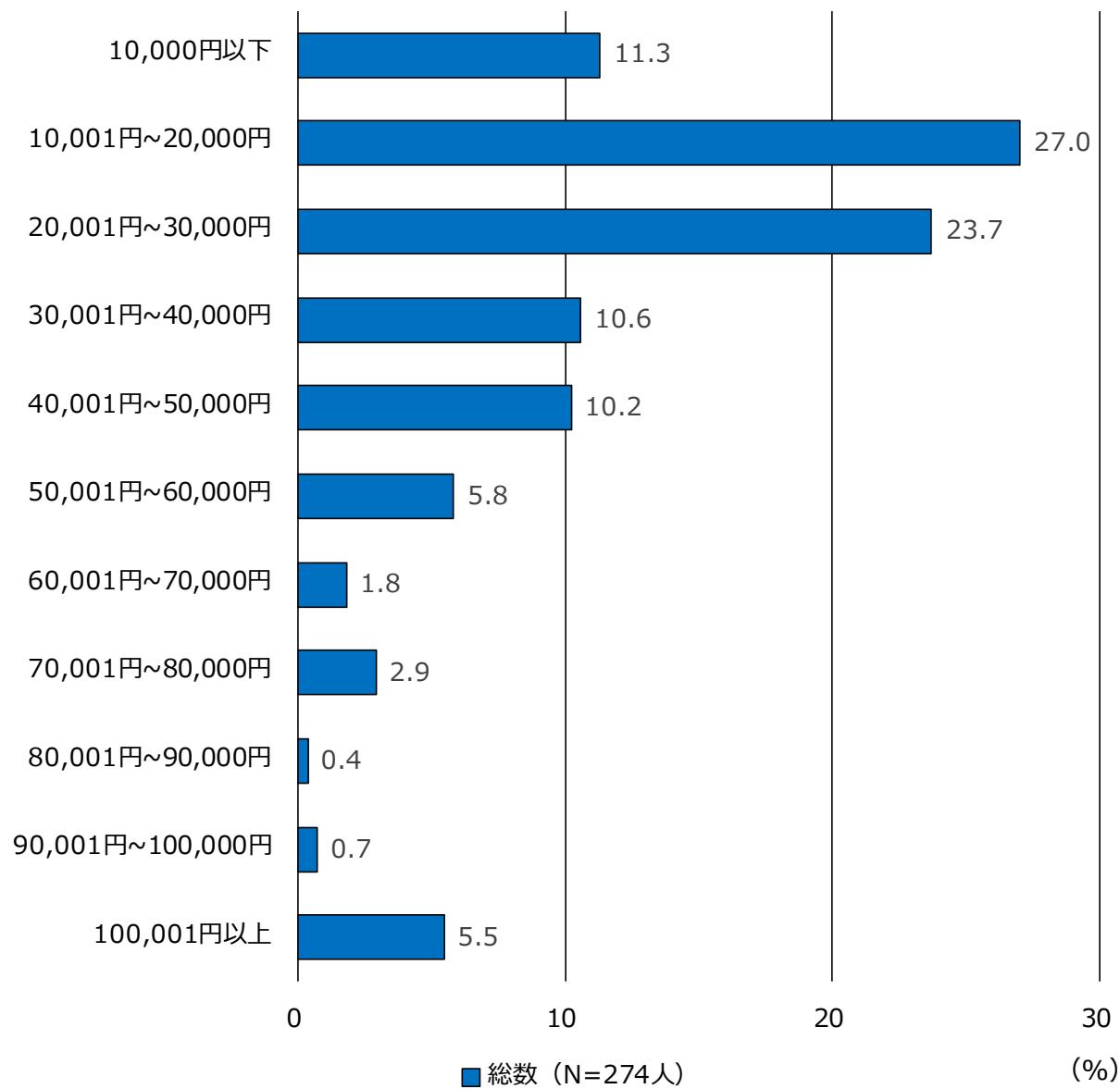
図 2-1 買物回数別回答者数



②買物総額別回答者数

回答者 274 人を 2 週間の調査期間中の買物総額別に分けたところ、「10,001 円～20,000 円」の割合が 27.0% と最も高く、次いで「20,001 円～30,000 円」(23.7%)、「10,000 円以下」(11.3%) の順となっている。なお、一人当たりの平均値は 33,921 円、中央値は 24,305 円となっている。(図 2-2)

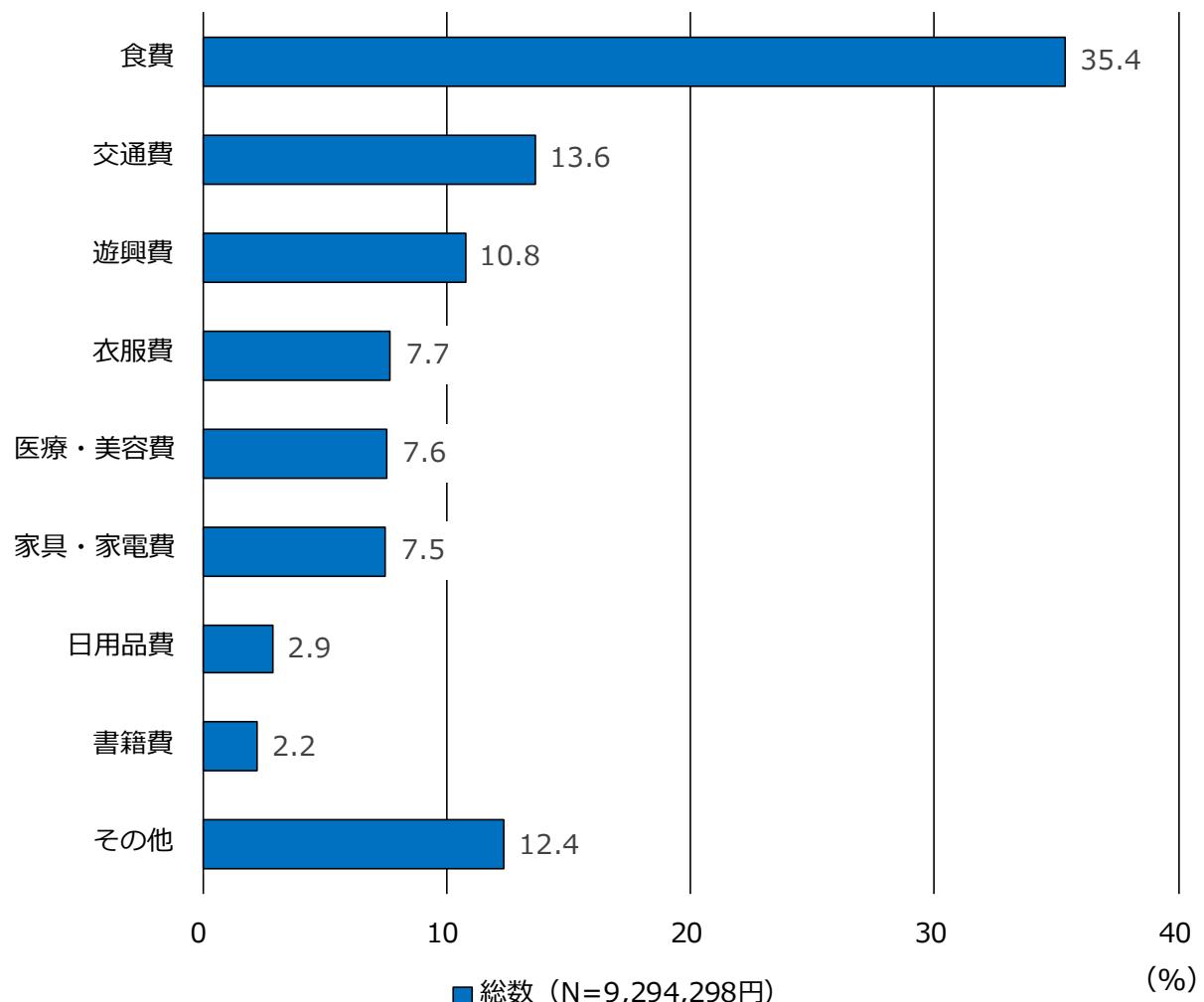
図 2-2 買物総額別回答者数



③費目別買物総額

買物総額 9,294,298 円を費目別に分けたところ、「食費」の割合が 35.4%と最も高く、次いで「交通費」(13.6%)、「遊興費」(10.8%) の順となっている。(図 2-3)

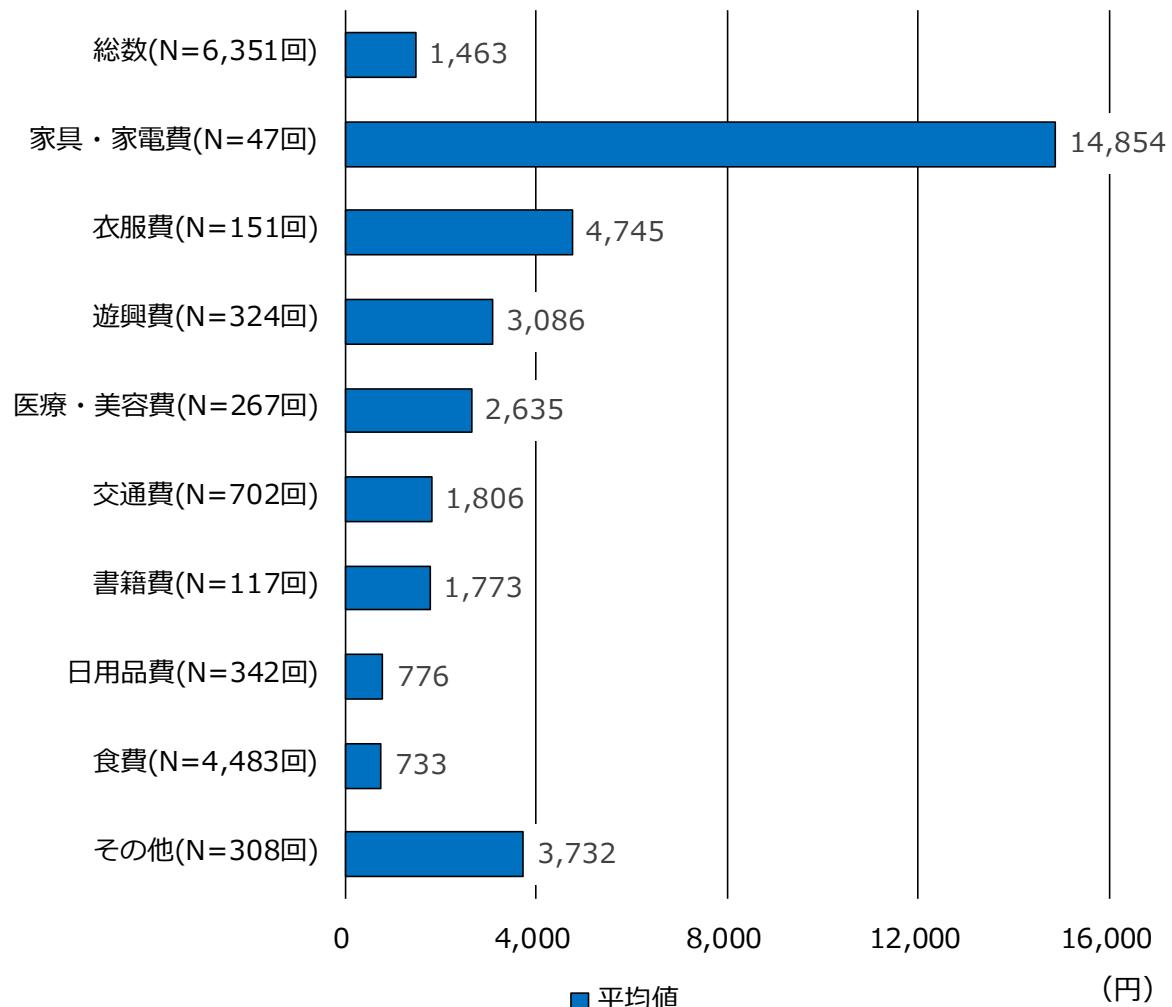
図 2-3 費目別買物総額



④費目別買物額平均値

買物額の平均値を費目別に見たところ、「家具家電費」が14,854円と最も高く、次いで「衣服費」(4,745円)、「遊興費」(3,086円)の順となっている。(図2-4)

図2-4 費目別買物額平均値

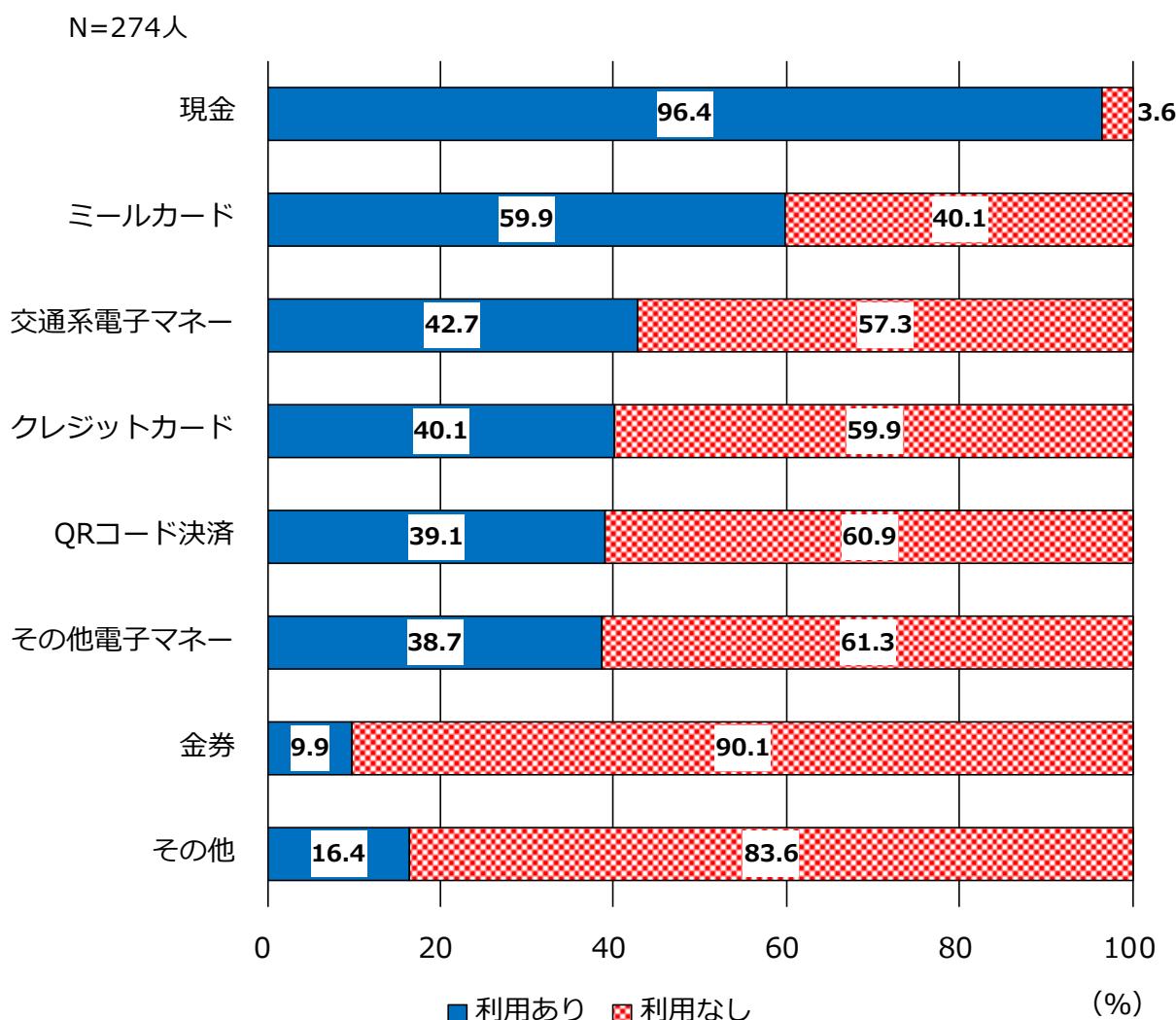


⑤決済手段別利用有無

回答者 274 人を決済手段の利用の有無で分け、決済手段別に見たところ、以下の図のような結果になった。

「利用あり」の割合が高い順に見ると「現金」が 96.4% と最も高く、次いで「ミールカード」(59.9%)、「交通系電子マネー」(42.7%) の順となっている。一方、「利用なし」の割合が高い順に見ると「金券」が 90.1% と最も高く、次いで「その他電子マネー」(61.3%)、「QR コード決済」(60.9%) の順となっている。(図 2-5)

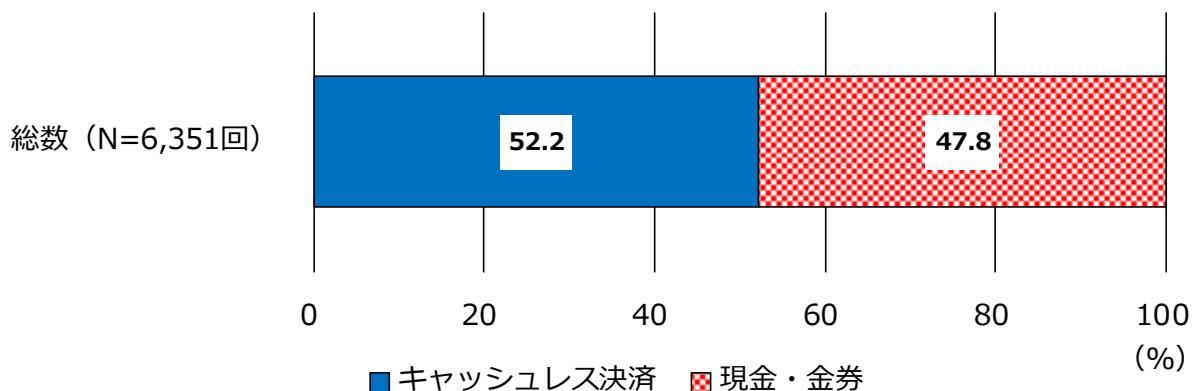
図 2-5 決済手段別利用有無



⑥キャッシュレス決済の比率¹（買物総数）

買物総数 6,351 回を、キャッシュレス決済と現金・金券で分けたところ、キャッシュレス決済の比率は 52.2% となっている。（図 2-6）

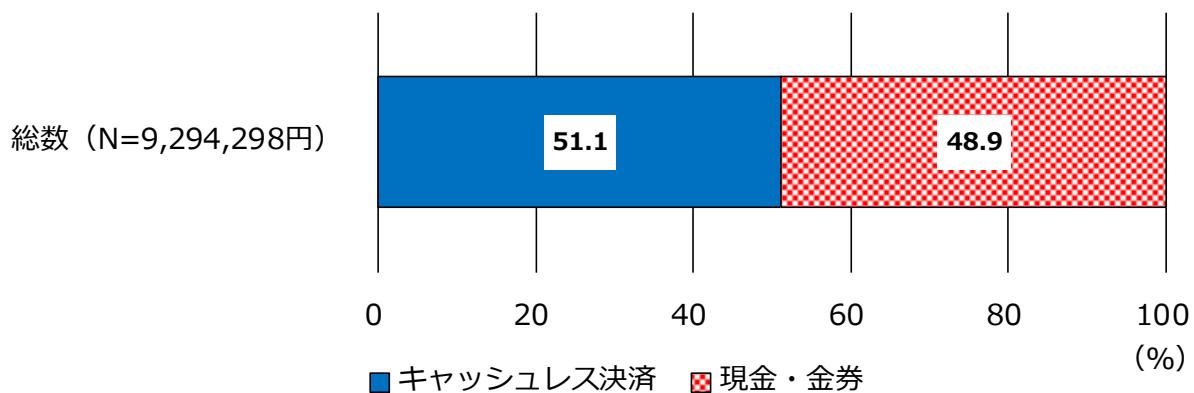
図 2-6 キャッシュレス決済の比率（買物総数）



⑦キャッシュレス決済の比率（買物総額）

買物総額 9,294,298 円を、キャッシュレス決済と現金・金券で分けたところ、キャッシュレス決済の比率は 51.1% となっている。（図 2-7）

図 2-7 キャッシュレス決済の比率（買物総額）

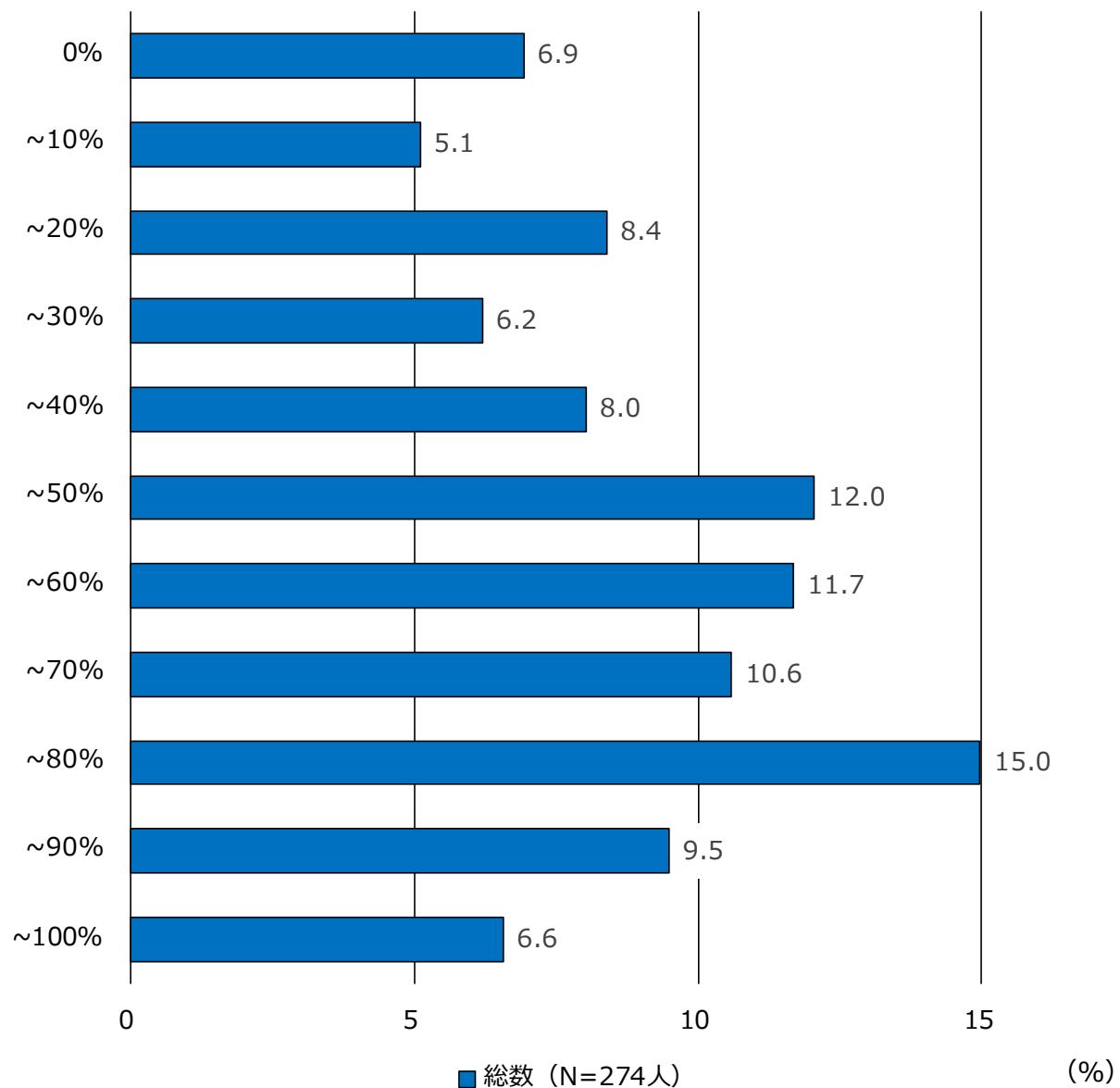


¹ キャッシュレス決済の比率は調査期間中の全ての買物（回数、金額）に占める「現金」、「金券」以外の決済手段の比率。

⑧キャッシュレス決済の比率（買物総数）別回答者数

回答者 274 人をキャッシュレス比率（買物総数）別に分けたところ、以下の図のような結果になった。なお、一人当たりの平均値は 50.5%、中央値は 54.0% となっている。（図 2-8）

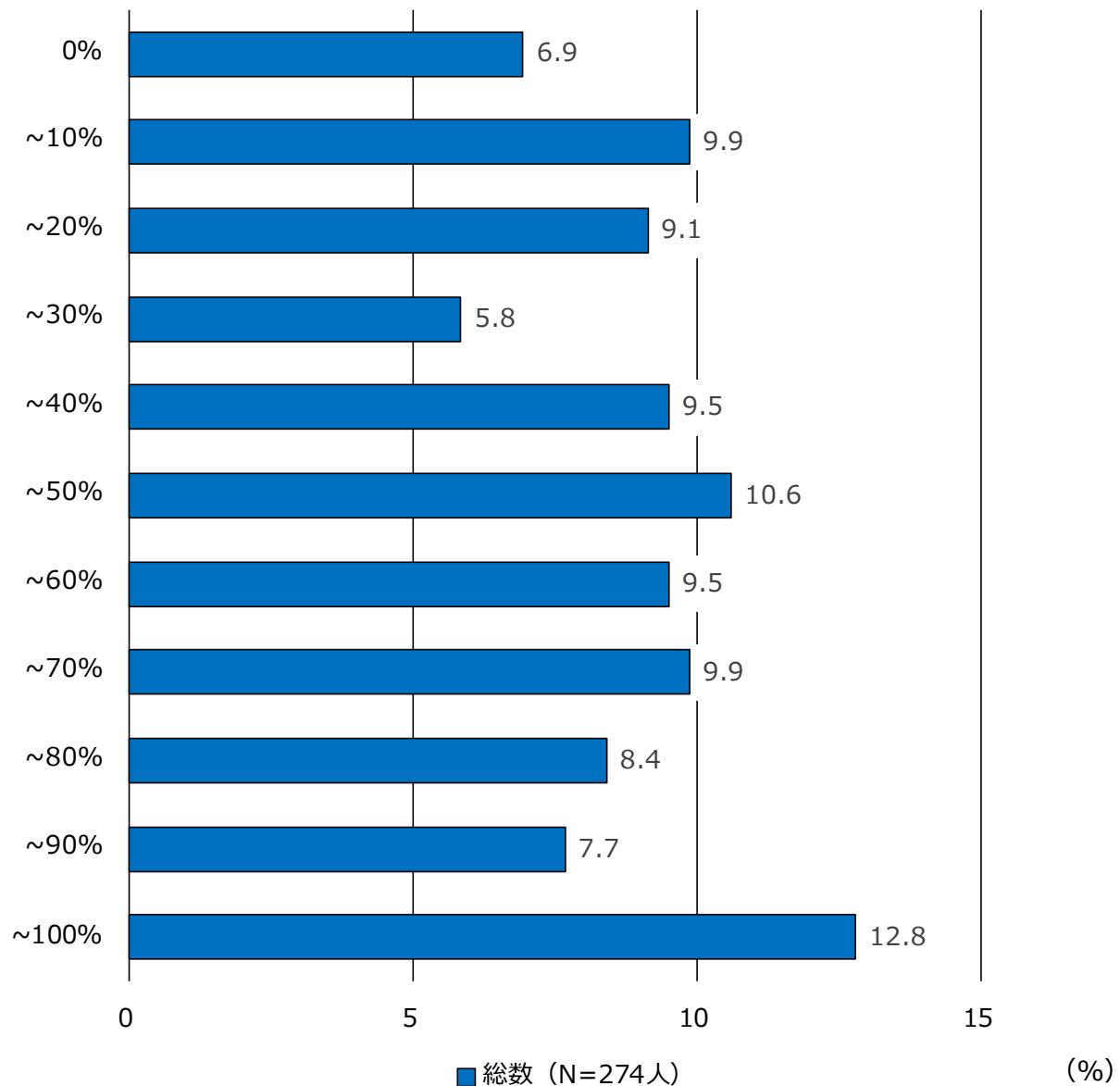
図 2-8 キャッシュレス決済の比率（買物総数）別回答者数



⑨キャッシュレス決済の比率（買物総額）別回答者数

回答者 274 人をキャッシュレス比率（買物総額）別に分けたところ、以下の図のような結果になった。なお、一人当たりの平均値は 48.0%、中央値は 47.9% となっている。（図 2-9）

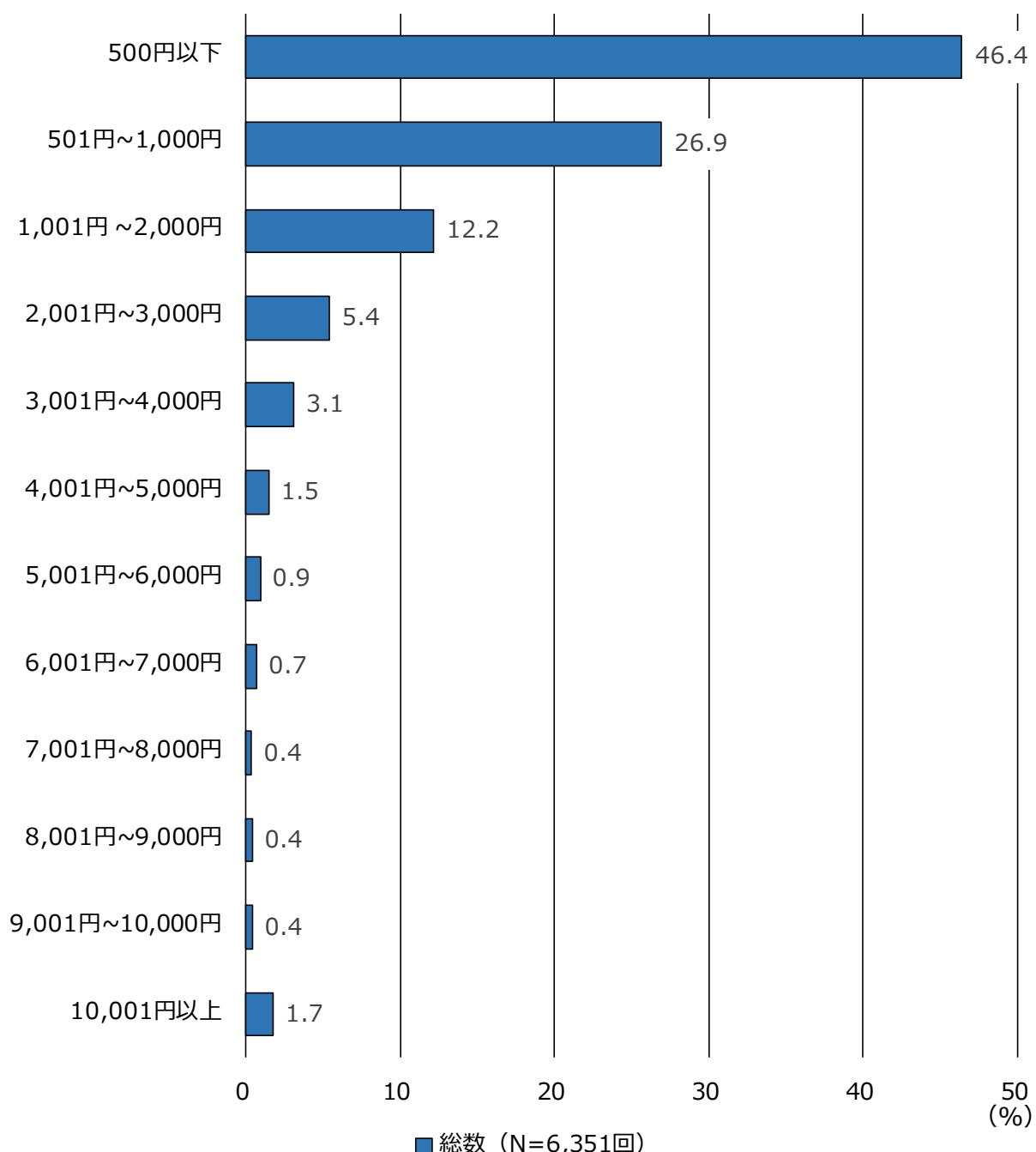
図 2-9 キャッシュレス決済の比率（買物総額）別回答者数



⑩ 1回の買物額別買物回数

買物総数 6,351 回を 1回の買物額別に分けたところ、「500 円以下」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「501 円～1,000 円」(26.9%)、「1,001 円～2,000 円」(12.2%) の順となっている。
(図 2-10)

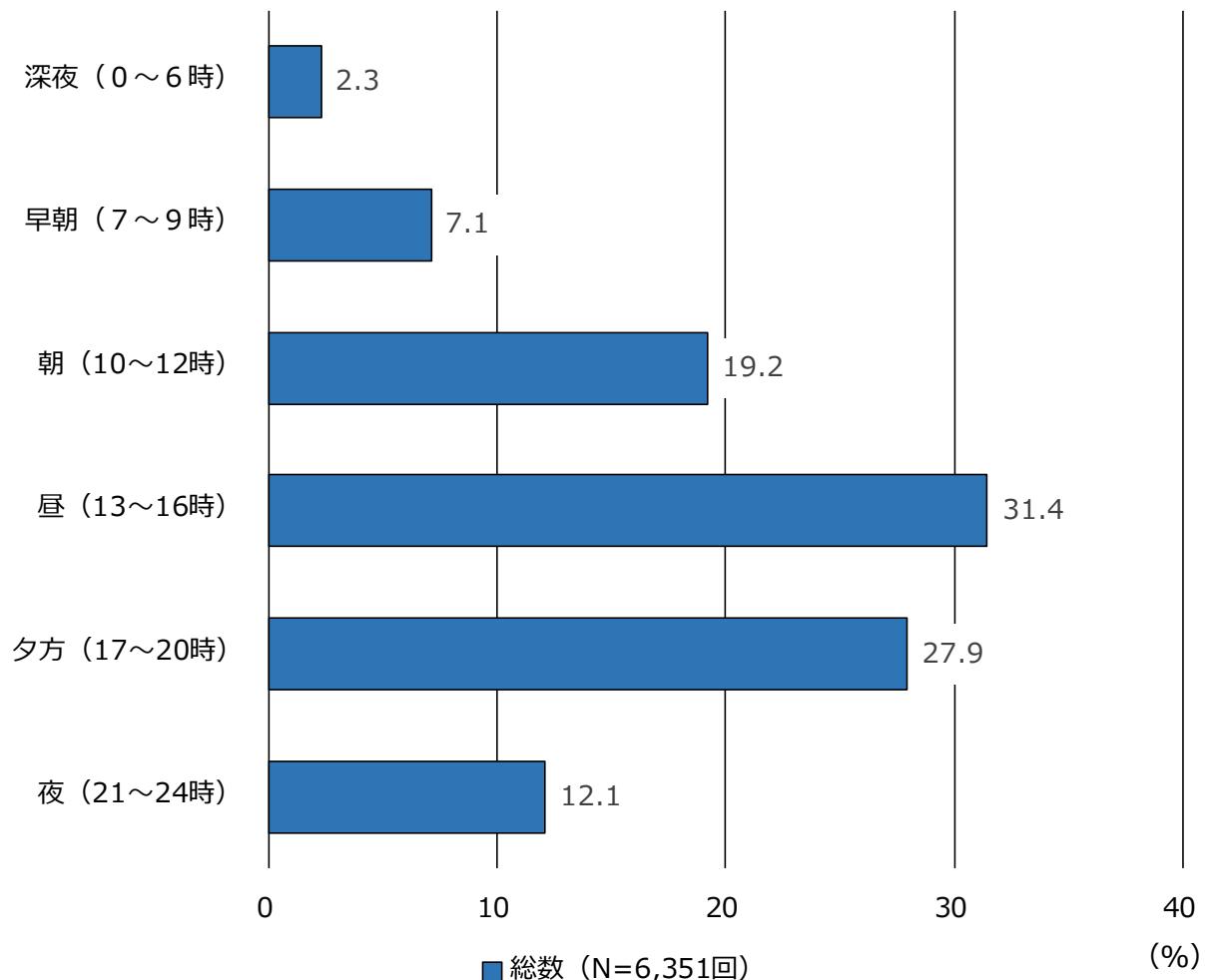
図 2-10 1回の買物額別買物回数



⑪時間帯別買物回数

買物総数 6,351 回を時間帯別に分けたところ、「昼（13～16 時）」の割合が 31.4% と最も高く、次いで「夕方（17～20 時）」（27.9%）、「朝（10～12 時）」（19.2%）の順となっている。（図 2-11）

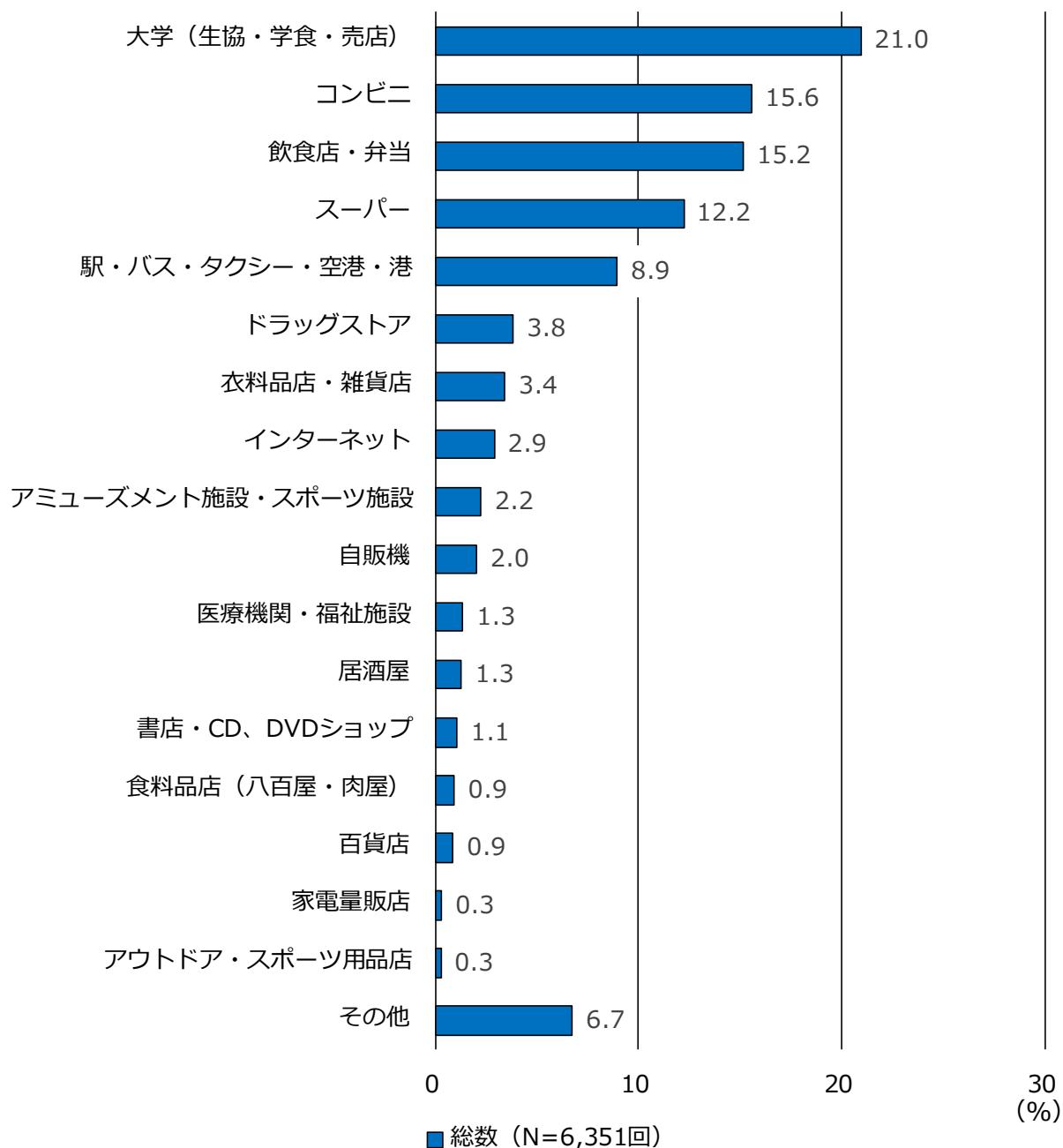
図 2-11 時間帯別買物回数



⑫購入場所別買物回数

買物総数 6,351 回を購入場所別に分けたところ、「大学（生協・学食・売店）」の割合が 21.0% と最も高く、次いで「コンビニ」(15.6%)、「飲食店・弁当」(15.2%) の順となっている。(図 2-12)

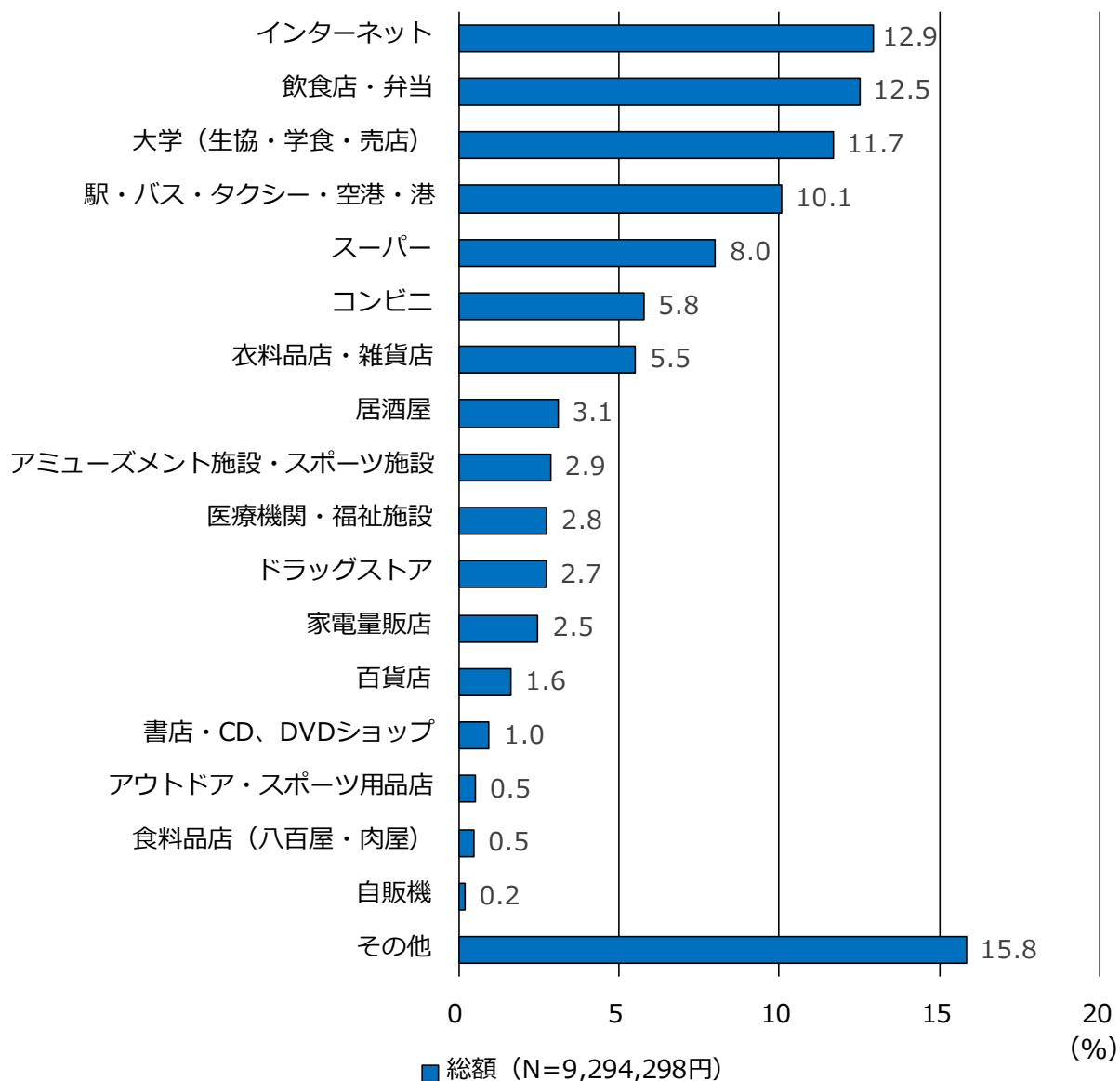
図 2-12 購入場所別買物回数



⑬購入場所別買物総額

買物総額 9,294,298 円を購入場所別に分けたところ、「インターネット」の割合が 12.9%と最も高く、次いで「飲食店・弁当」(12.5%)、「大学（生協・学食・売店）」(11.7%) の順となっている。(図 2-13)

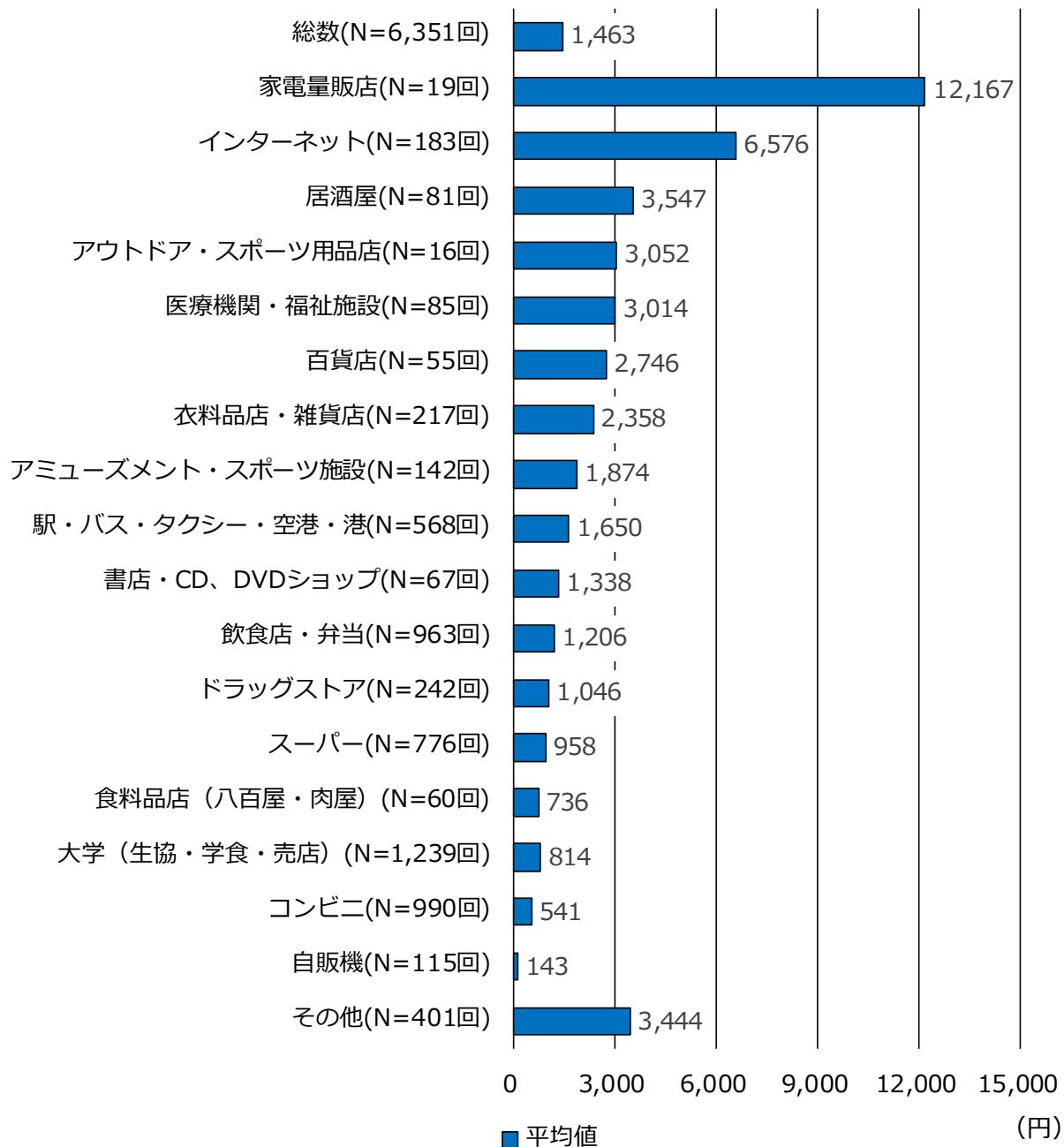
図 2-13 購入場所別買物総額



⑯購入場所別買物額平均値

買物額の平均値を購入場所別に見たところ、「家電量販店」が12,167円と最も高く、次いで「インターネット」(6,576円)、「居酒屋」(3,547円)の順となっている。(図2-14)

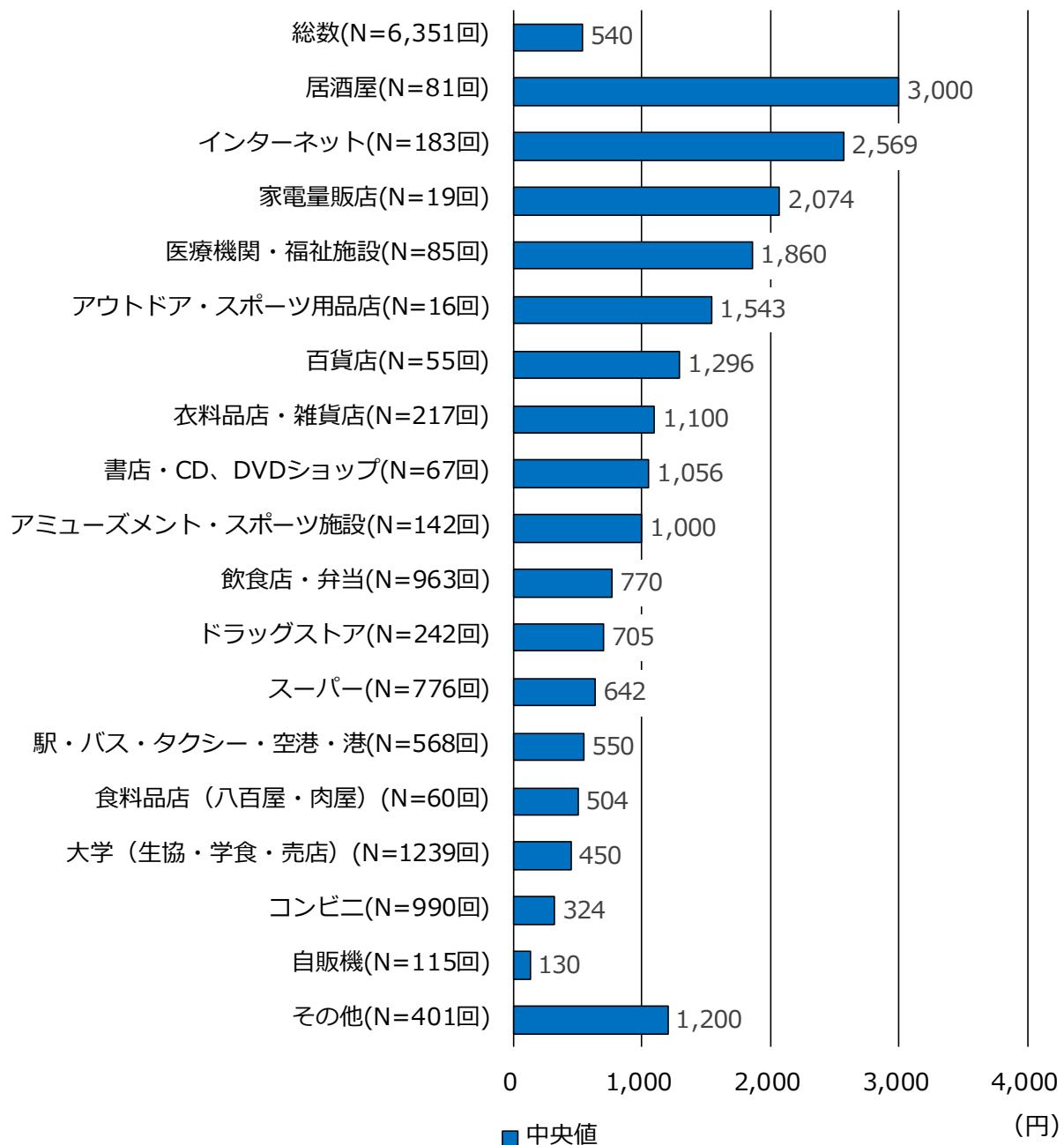
図2-14 購入場所別買物額平均値



⑯購入場所別買物額中央値

買物額の中央値を購入場所別に見たところ、「居酒屋」が3,000円と最も高く、次いで「インターネット」(2,569円)、「家電量販店」(2,074円)の順となっている。(図2-15)

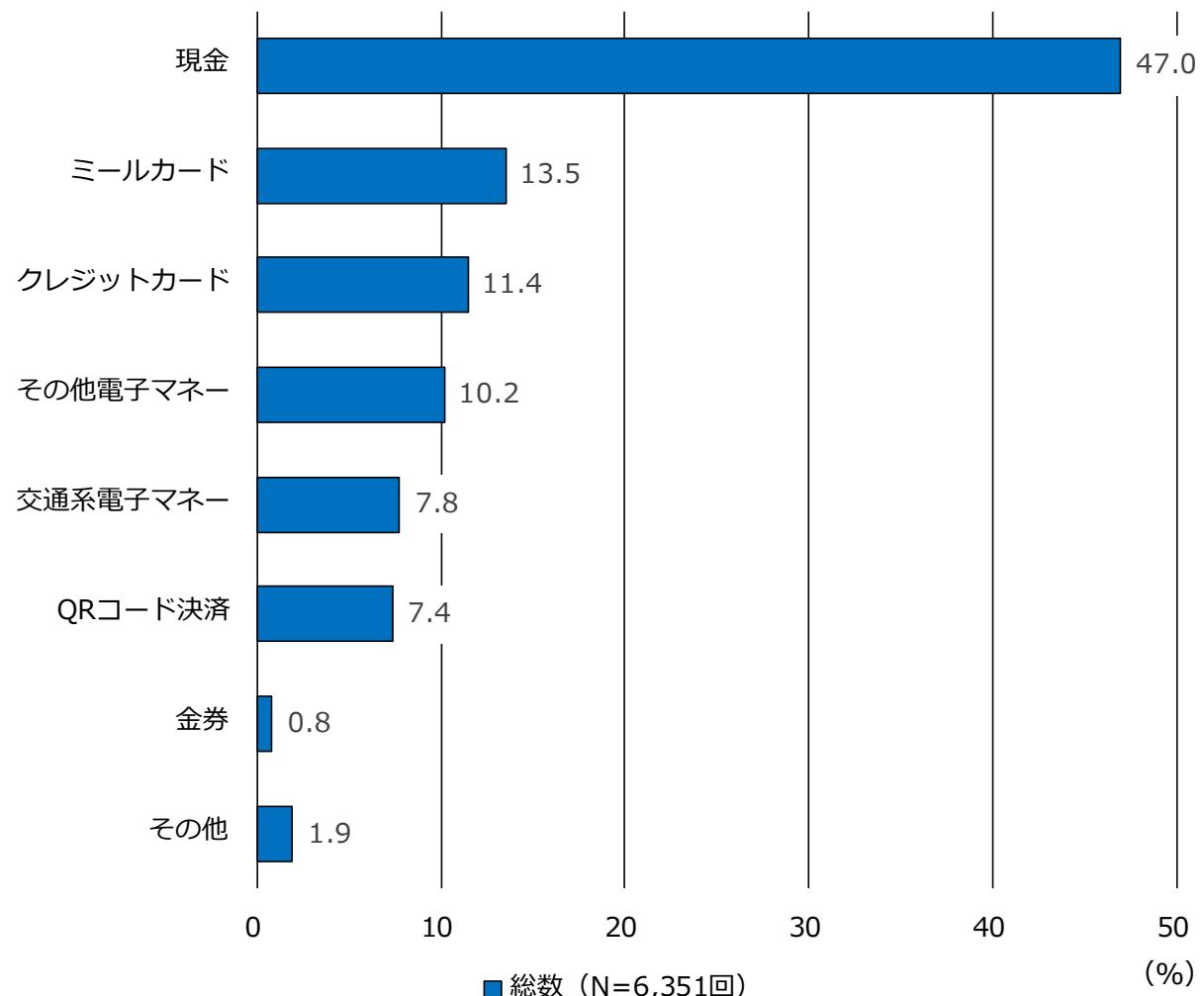
図2-15 購入場所別買物額中央値



⑯決済手段別買物回数

買物総数 6,351 回を決済手段別に分けたところ、「現金」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「ミールカード」(13.5%)、「クレジットカード」(11.4%) の順となっている。(図 2-16)

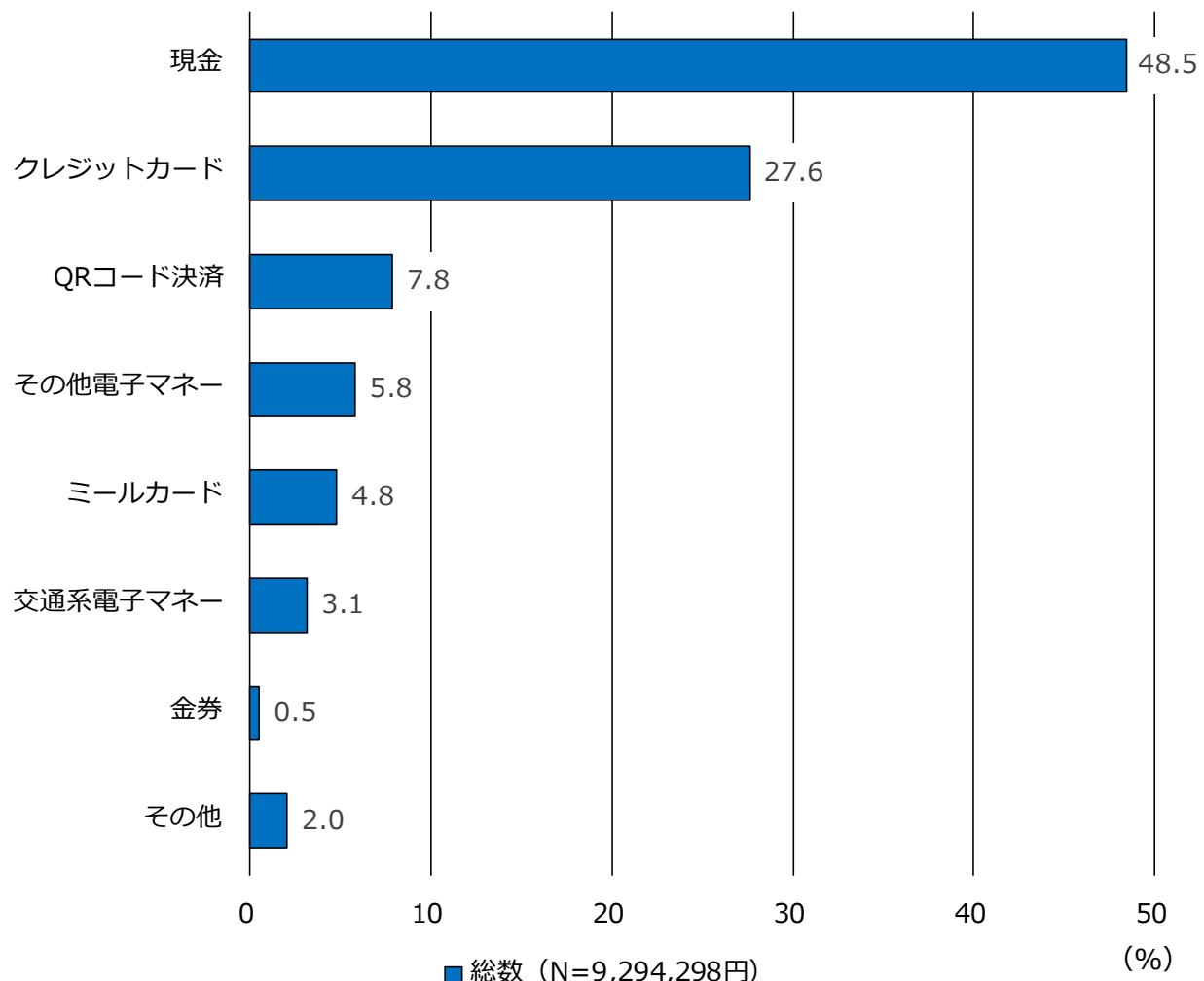
図 2-16 決済手段別買物回数



⑦決済手段別買物総額

買物総額 9,294,298 円を決済手段別に分けたところ、「現金」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「クレジットカード」(27.6%)、「QR コード決済」(7.8%) の順となっている。(図 2-17)

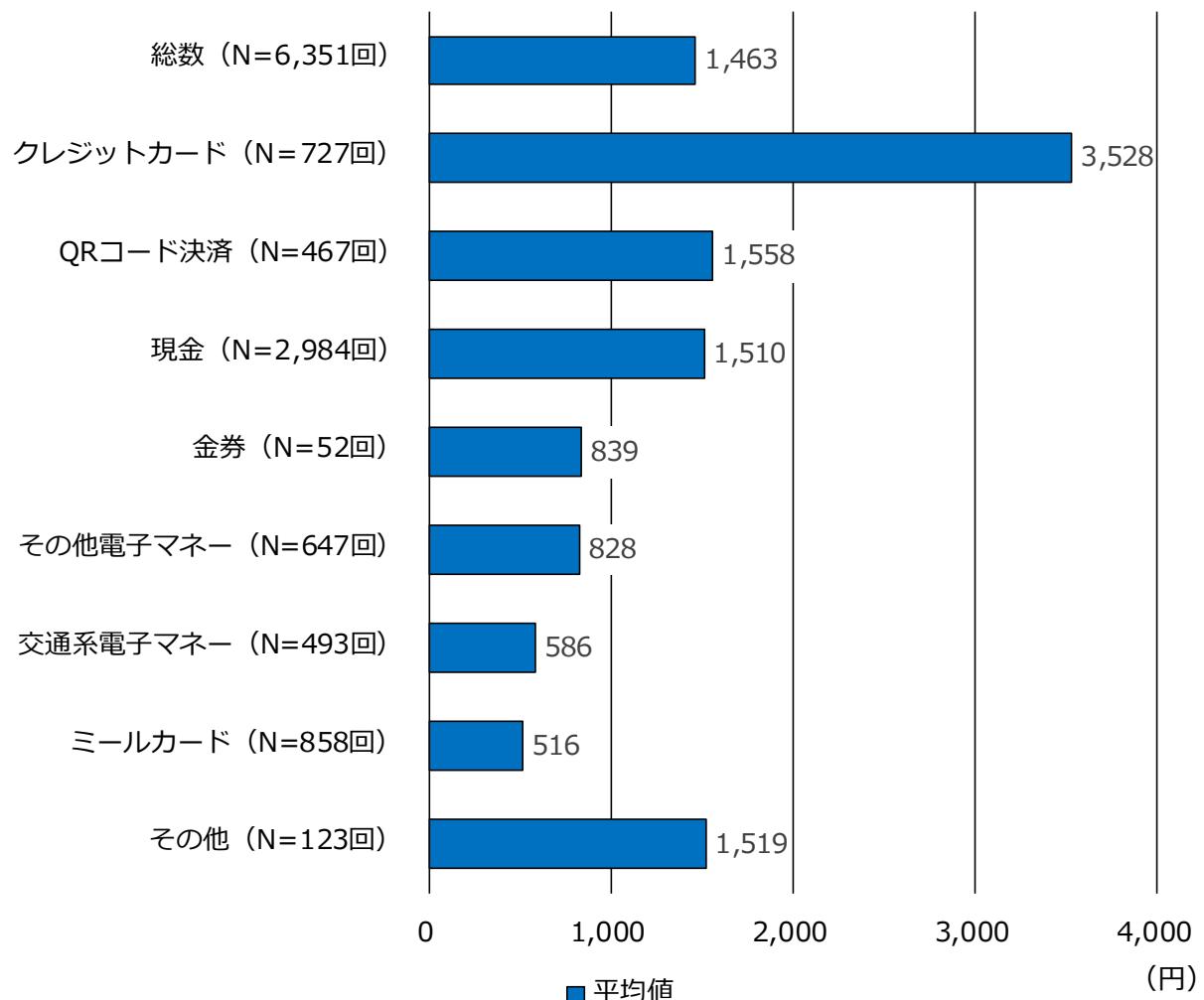
図 2-17 決済手段別買物総額



⑯決済手段別買物額平均値

買物額の平均値を決済手段別に見たところ、「クレジットカード」が3,528円と最も高く、次いで、「QRコード決済」(1,558円)、「現金」(1,510円)となっている。(図2-18)

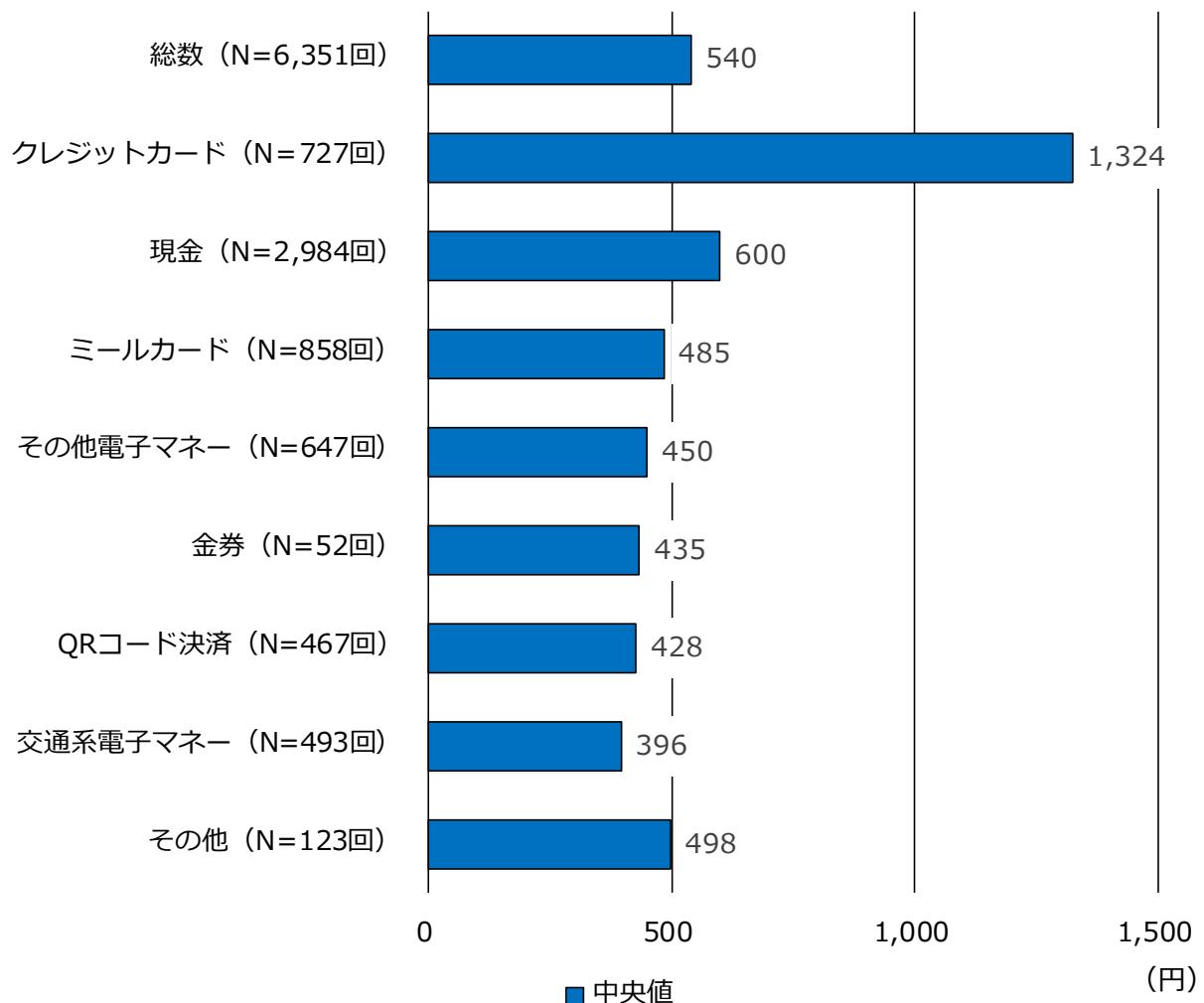
図2-18 決済手段別買物額平均値



⑯決済手段別買物額中央値

買物額の中央値を決済手段別に見たところ、「クレジットカード」が1,324円と最も高く、次いで、「現金」(600円)、「ミールカード」(485円)となっている。図2-19)

図2-19 決済手段別買物額中央値

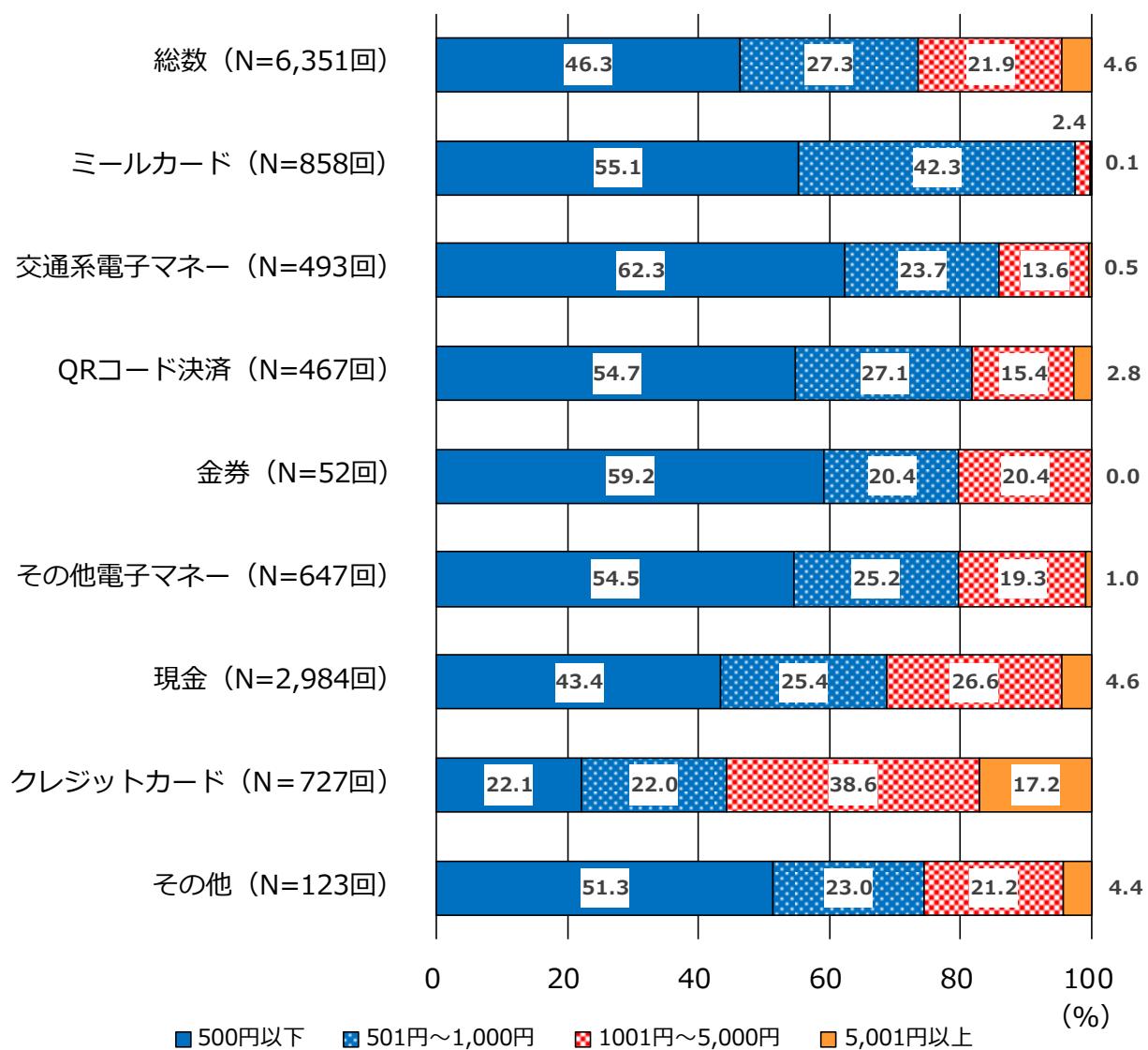


②金額帯別買物回数

買物回数を金額帯別に分け、決済手段別に見たところ、以下の図のような結果になった。

「1,000円以下の決済（『500円以下』+『501円～1,000円』）」の割合が最も高い決済手段は「ミールカード」の97.4%（55.1%+42.3%）となっている。また、「1001円以上の決済（『1001円～5,000円』+『5,000円以上』）」の割合が最も高い決済手段は「クレジットカード」の55.8%（38.6%+17.2%）となっている。（図2-20）

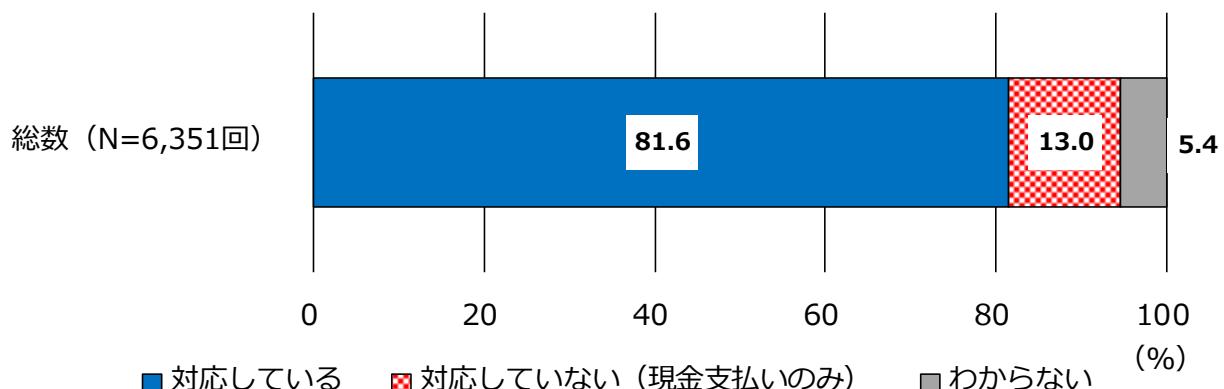
図2-20 金額帯別買物回数



②キャッシュレス対応可否（全体）

買物総数 6,351 回をキャッシュレス対応可否別に分けたところ、「対応している」の割合が 81.6%、「対応していない（現金支払いのみ）」が 13.0%、「わからない」が 5.4%となっている。（図 2-21）※買物回数が 6,351 回であり、購入場所の重複があることに注意する必要がある。

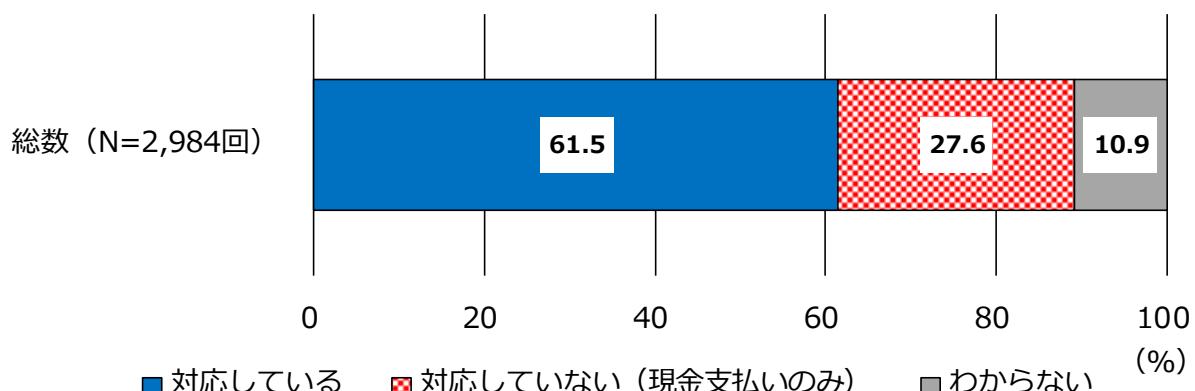
図 2-21 キャッシュレス対応可否（全体）



②キャッシュレス対応可否（現金決済）

買物総数 6,351 回のうち、現金決済した 2,984 回をキャッシュレス対応可否別に分けたところ、「対応している」の割合が 61.5%、「対応していない（現金支払いのみ）」が 27.6%、「わからない」が 10.9% となっている。（図 2-22）

図 2-22 キャッシュレス対応可否（現金決済）

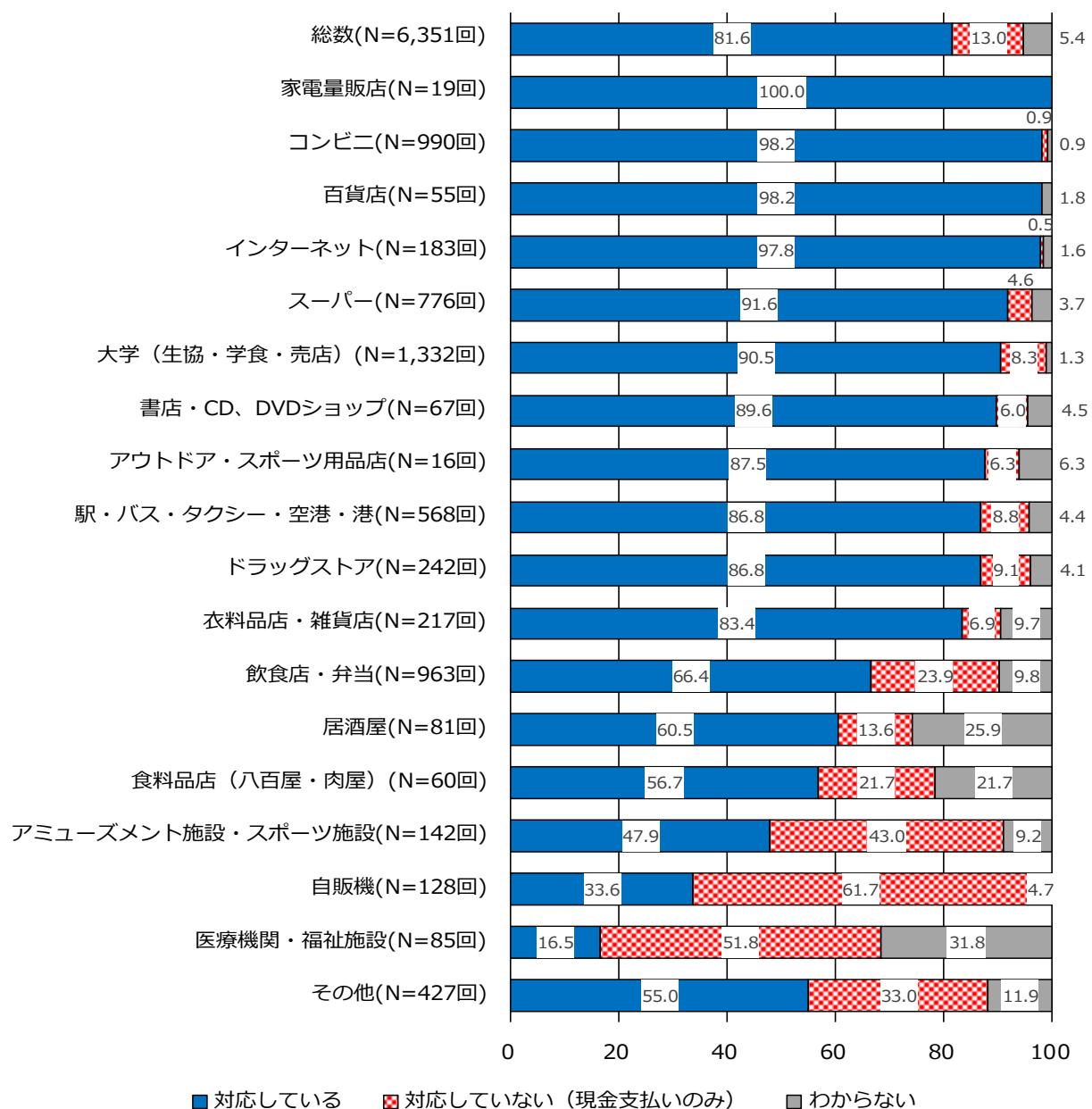


②③購入場所別キャッシュレス対応可否

買い物回数をキャッシュレス対応可否別に分け、購入場所別に見たところ、以下の図のような結果になった。

「対応している」の割合が高い順に見ると、「家電量販店」が100%と最も高く、次いで「コンビニ」、「百貨店」(98.2%)、「インターネット」(97.8%)の順となっている。一方、「対応している」の割合が低い順に見ると、「医療機関・福祉施設」が16.5%と最も低く、次いで「自販機」(33.6%)、「アミューズメント施設・スポーツ施設」(47.9%)の順となっている。なお、「わからない」の割合が高い順に見ると、「医療機関・福祉施設」が31.8%と最も高く、次いで「居酒屋」(25.9%)、「食料品店（八百屋・肉屋）」(21.7%)の順となっている。(図2-23)

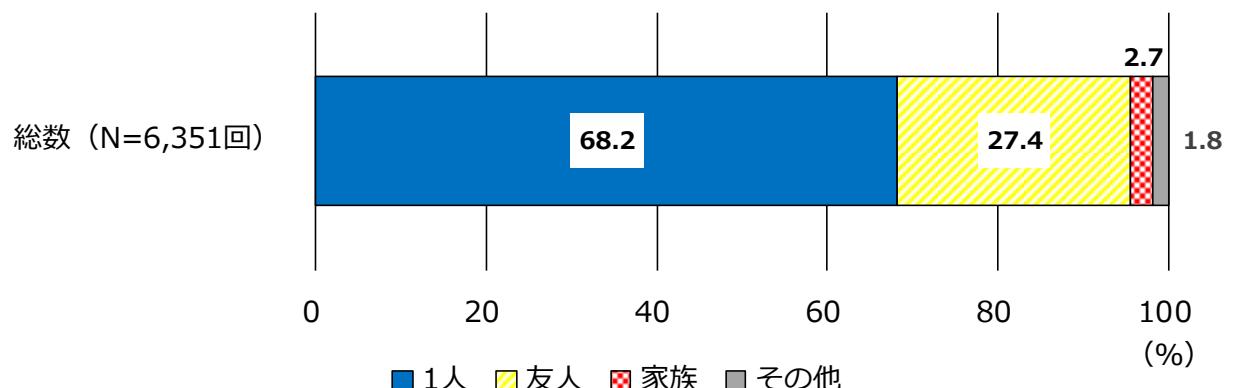
図2-23 購入場所別キャッシュレス対応可否



②誰といふか別買物総数

買物総数 6,351 回を買物の際に誰と一緒に買ったかで分けたところ、「1人」の割合が 68.2%、「友人」が 27.4%、「家族」が 2.7% となっている。(図 2-24)

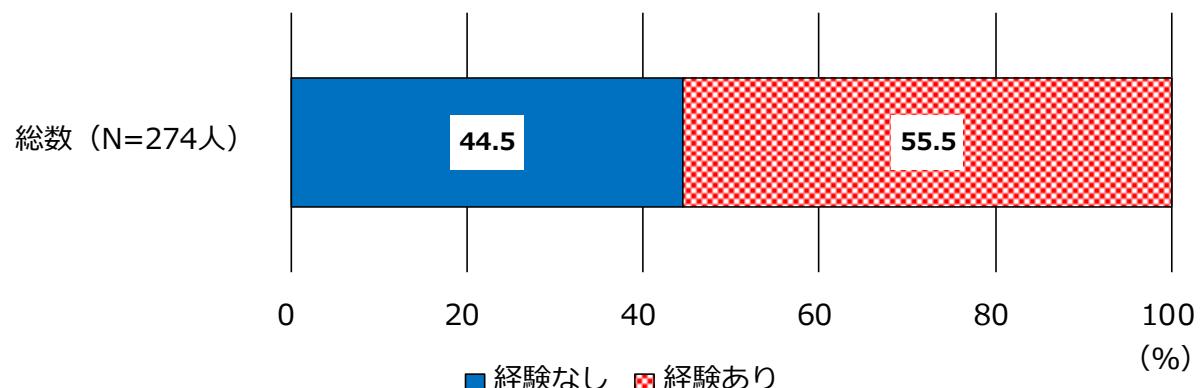
図 2-24 誰といふか別買物総数



㉕不要な買物の経験の有無

回答者 274 人を 2 週間の調査期間の不要な買物の経験の有無で分けたところ、「経験なし」の割合が 44.5% (122 人)、「経験あり」が 55.5% (152 人) となっている。(図 2-25)

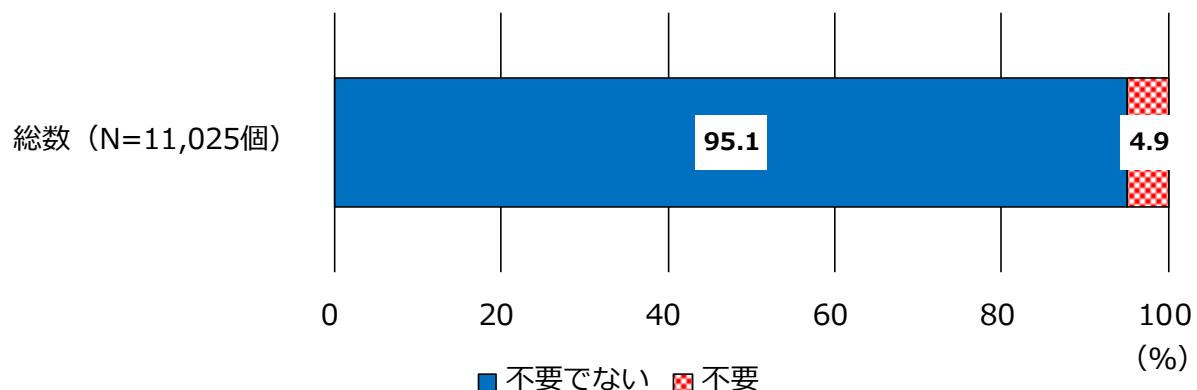
図 2-25 不要な買物の経験の有無



⑥不要率（商品数ベース）

総買物商品数 11,025 個を不要な買物かどうかで分けたところ、「不要」の割合が 4.9% (542 個) となっている。(図 2-26)

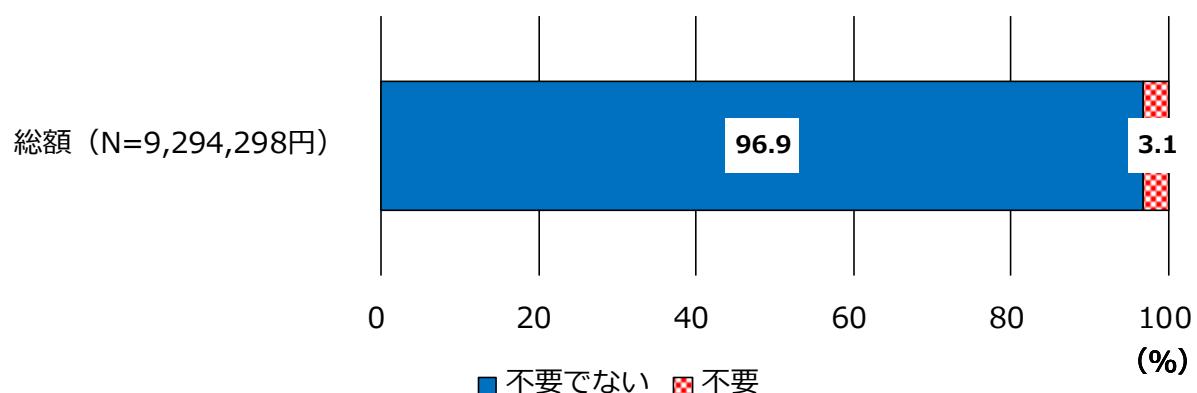
図 2-26 不要率（商品数ベース）



⑦不要率（金額ベース）

買物総額 9,294,298 円を不要な買物かどうかで分けたところ、「不要」の割合が 3.1% (289,484 円) となっている。(図 2-27)

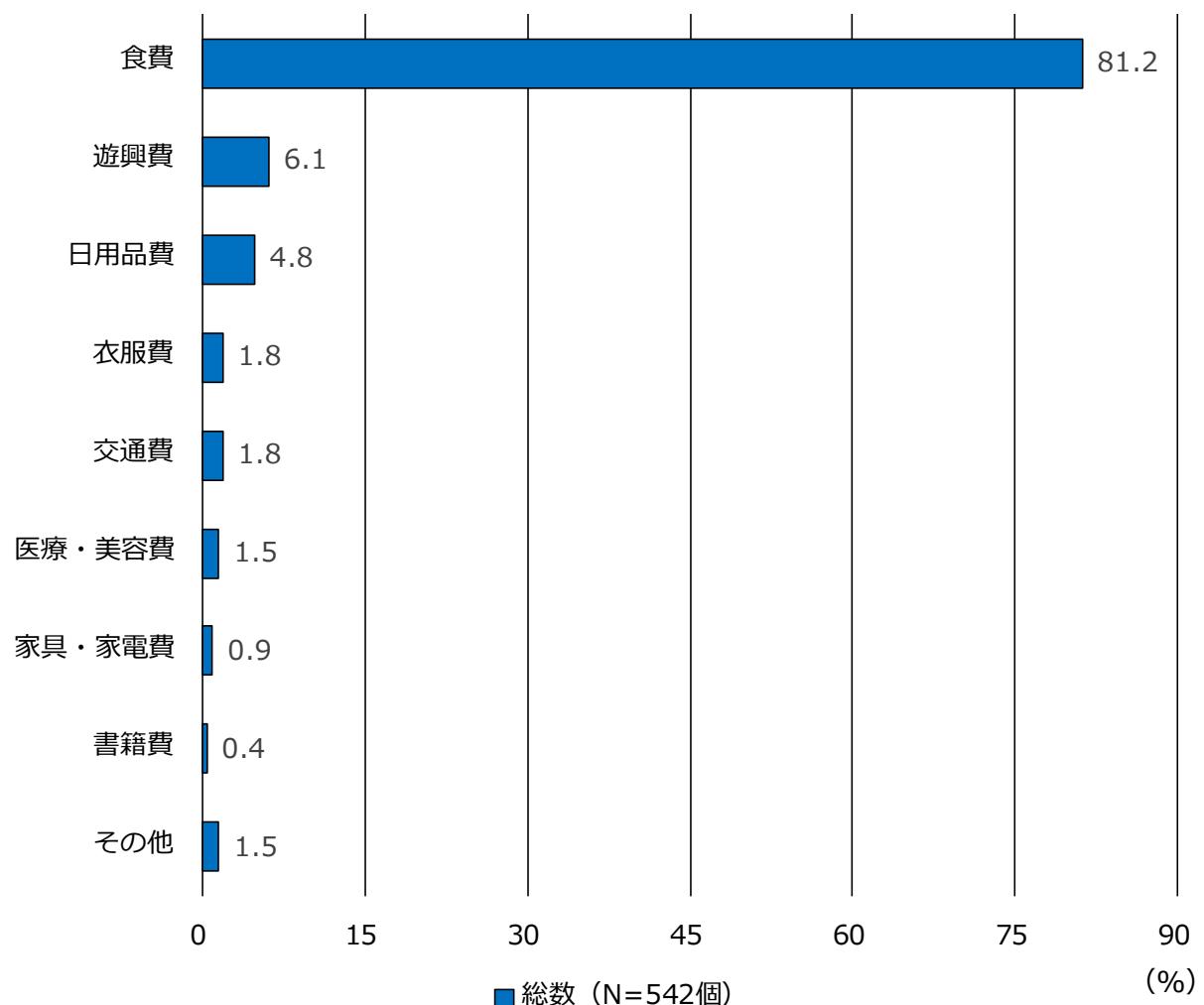
図 2-27 不要率（金額ベース）



⑧費目別不要な商品

不要な商品 542 個を費目別に分けたところ、「食費」の割合が 81.2% と最も高く、次いで「遊興費」(6.1%)、「日用品費」(4.8%) の順となっている。(図 2-28)

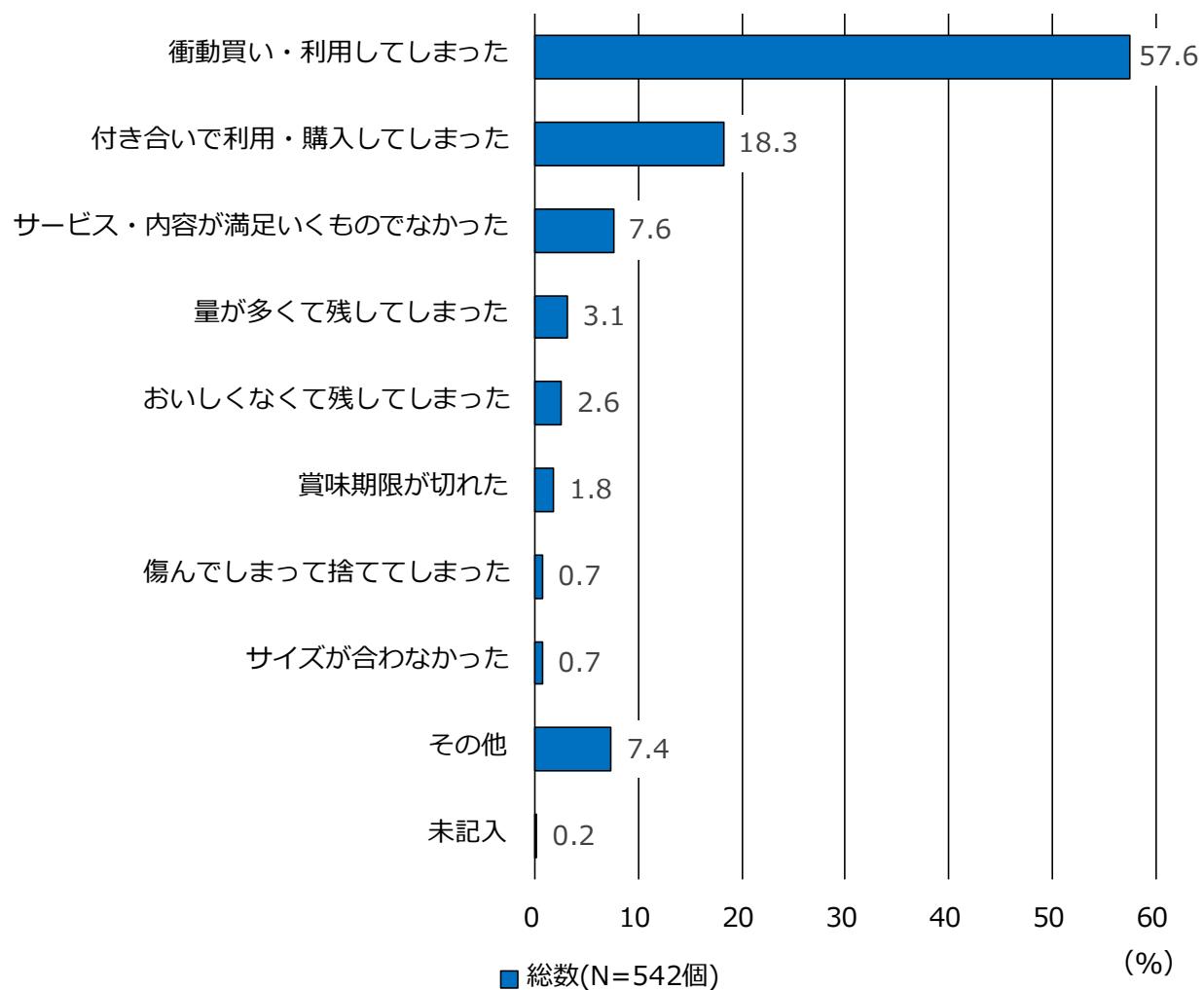
図 2-28 費目別不要な商品



②商品が不要な理由

不要な商品 542 個を商品が不要な理由別に分けたところ、「衝動買い・利用してしまった」の割合が 57.6% と最も高く、次いで「付き合いで利用・購入してしまった」(18.3%)、「サービス・内容が満足いくものでなかった」(7.6%) の順となっている。(図 2-29)

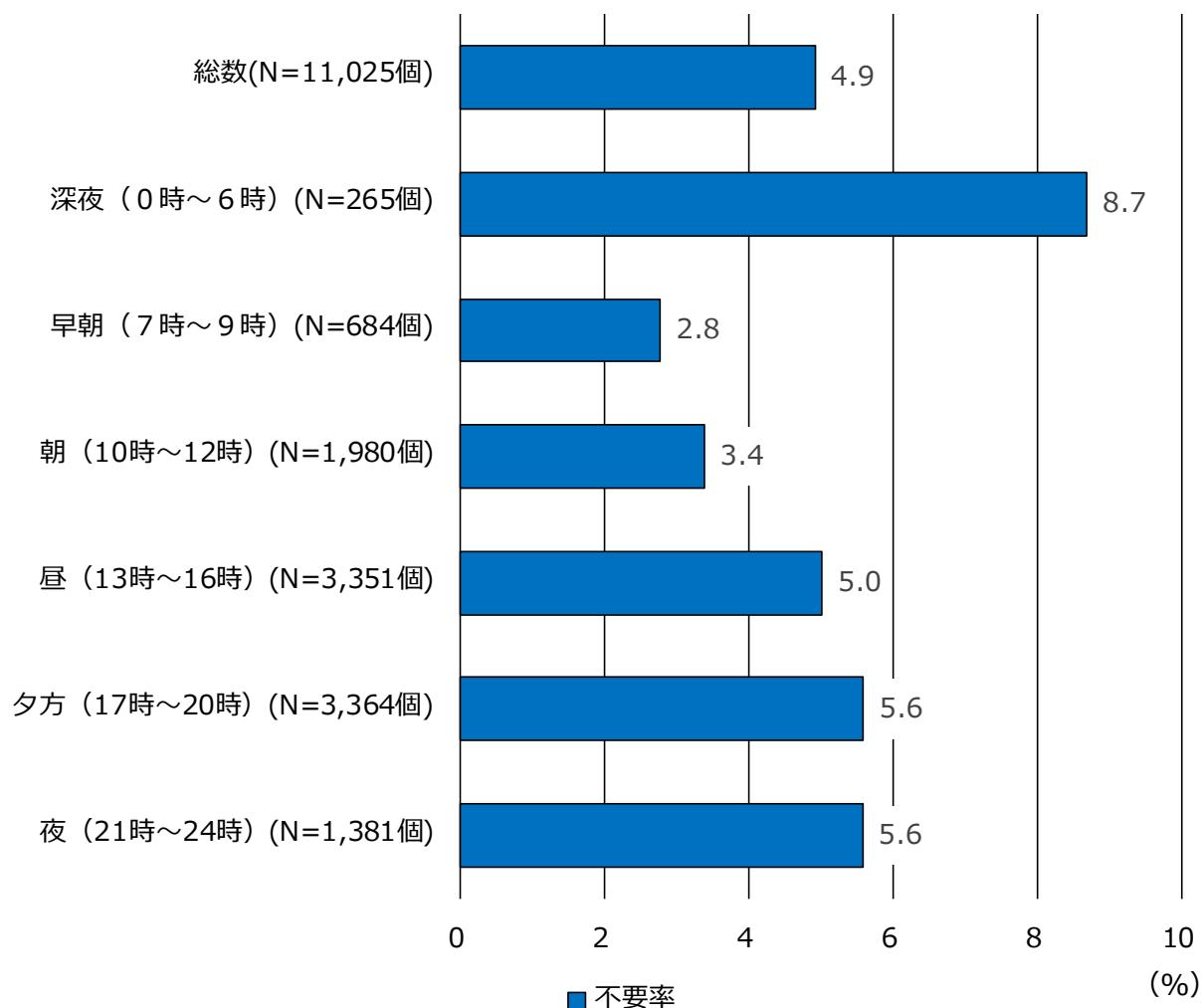
図 2-29 商品が不要な理由



⑩時間帯別不要率

不要率（商品数ベース）を時間帯別に見たところ、「深夜（0時～6時）」が8.7%と最も高く、次いで「夕方（17時～20時）」・「夜（21時～24時）」（5.6%）、「昼（13時～16時）」（5.0%）の順となっている。（図2-30）

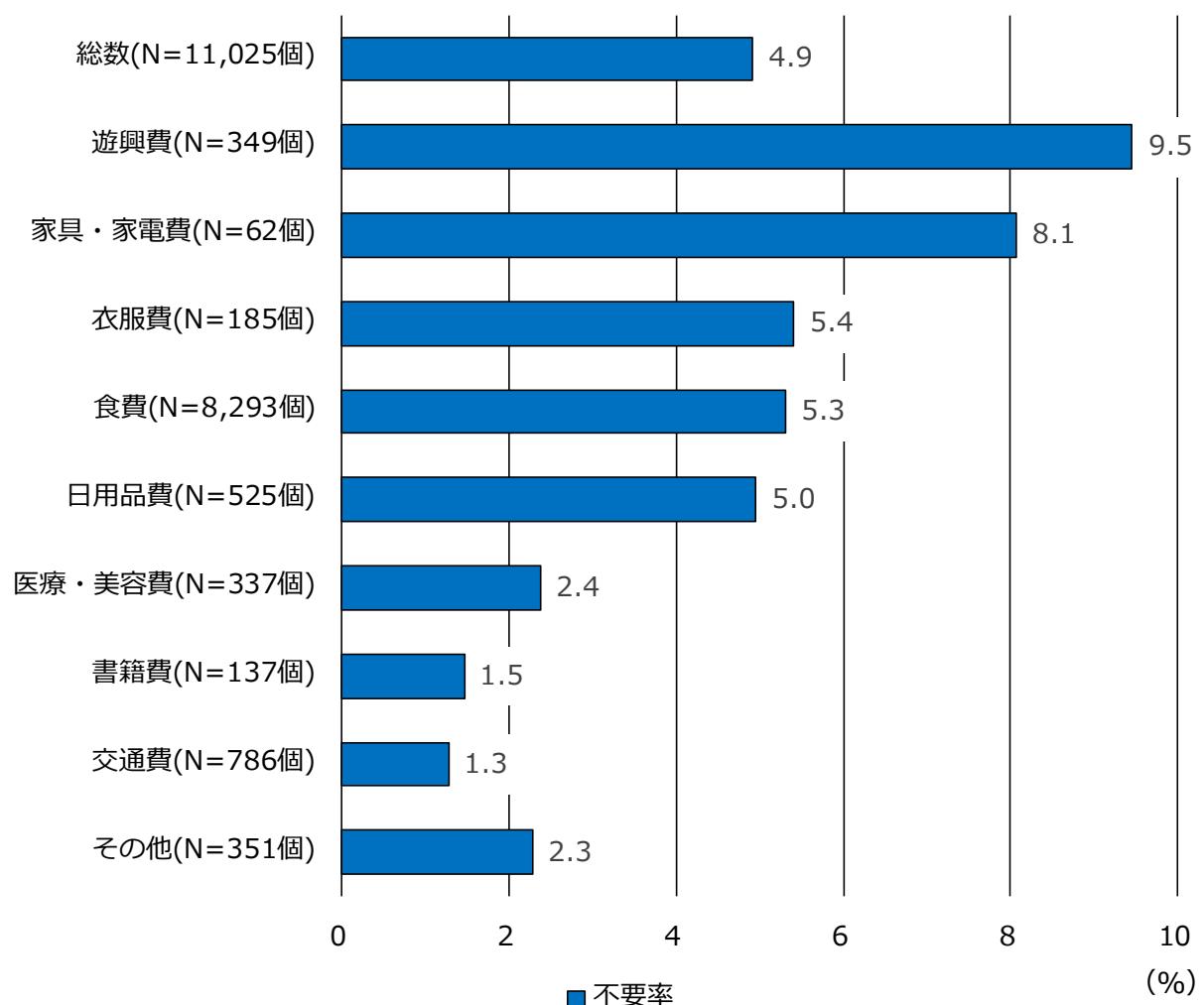
図2-30 時間帯別不要率



③費目別不要率

不要率（商品数ベース）を費目別に見たところ、「遊興費」が9.5%と最も高く、次いで「家具・家電費」(8.1%)、「衣服費」(5.4%)の順となっている。一方、「交通費」(1.3%)、「書籍費」(1.5%)は他の費目よりも低くなっている（図2-31）

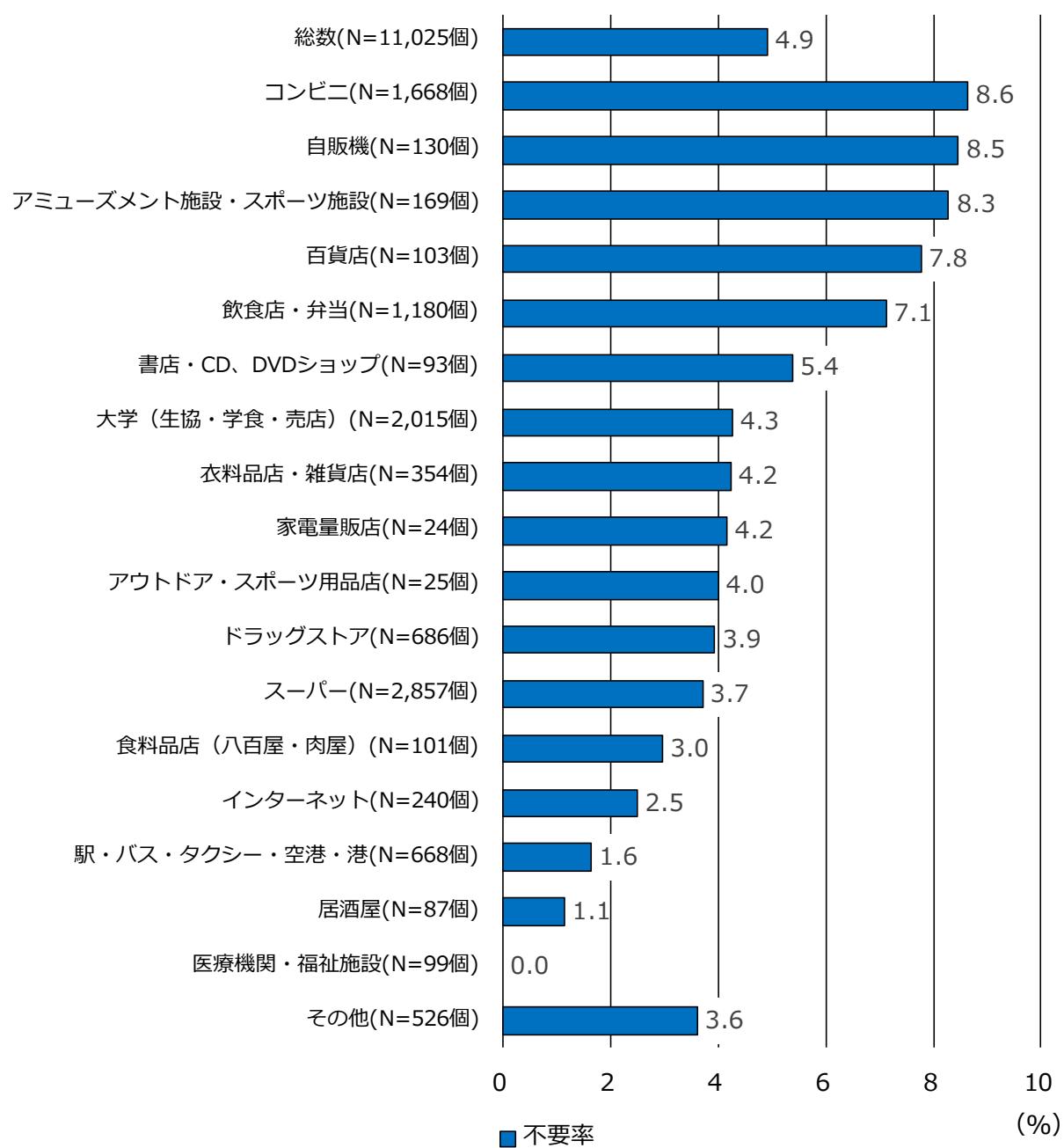
図2-31 費目別不要率



③購入場所別不要率

不要率（商品数ベース）を購入場所別に見たところ、「コンビニ」が8.6%と最も高く、次いで「自販機」(8.5%)、「アミューズメント施設・スポーツ施設」(8.3%)の順となっている。一方、「駅・バス・タクシー・空港・港」(1.6%)、「居酒屋」(1.1%)、「医療機関・福祉施設」(0.0%)は他の費目よりも低くなっている。(図2-32)

図2-32 購入場所別不要率



③決済手段別不要率

不要率（商品数ベース）を決済手段別に見たところ、以下の図のような結果になった。

「キャッシュレス決済」と「現金+金券」（「現金」と「金券」の商品数の合計）で不要率を比較したところ、「キャッシュレス決済」が4.1%、「現金+金券」が5.9%と、「現金+金券」の方が高くなっている。一方、決済手段ごとに見てみると、「QRコード決済」が6.4%と最も高く、次いで「現金」(5.9%)、「金券」(4.5%)の順となっている。なお、「クレジットカード」(3.2%)、「交通系電子マネー」(2.7%)は、他の決済手段よりも低くなっている。（図2-33、34）

図2-33 キャッシュレス決済、現金+金券別不要率

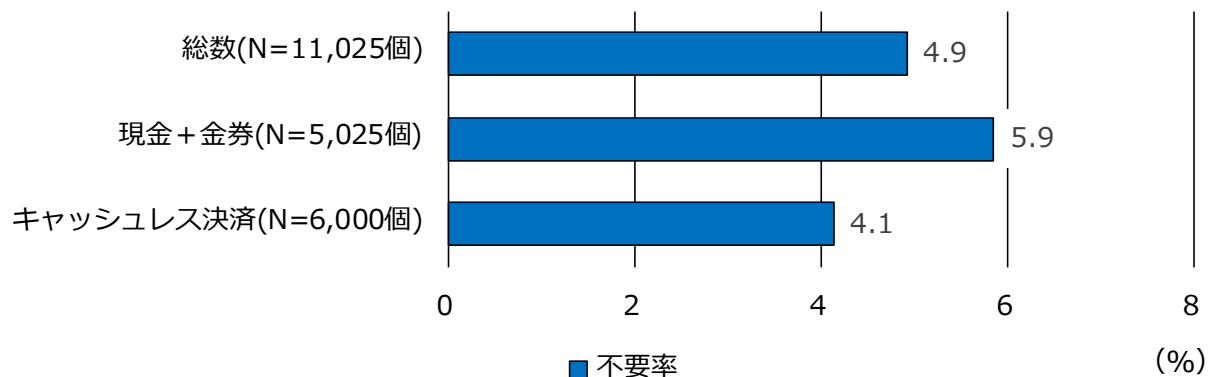
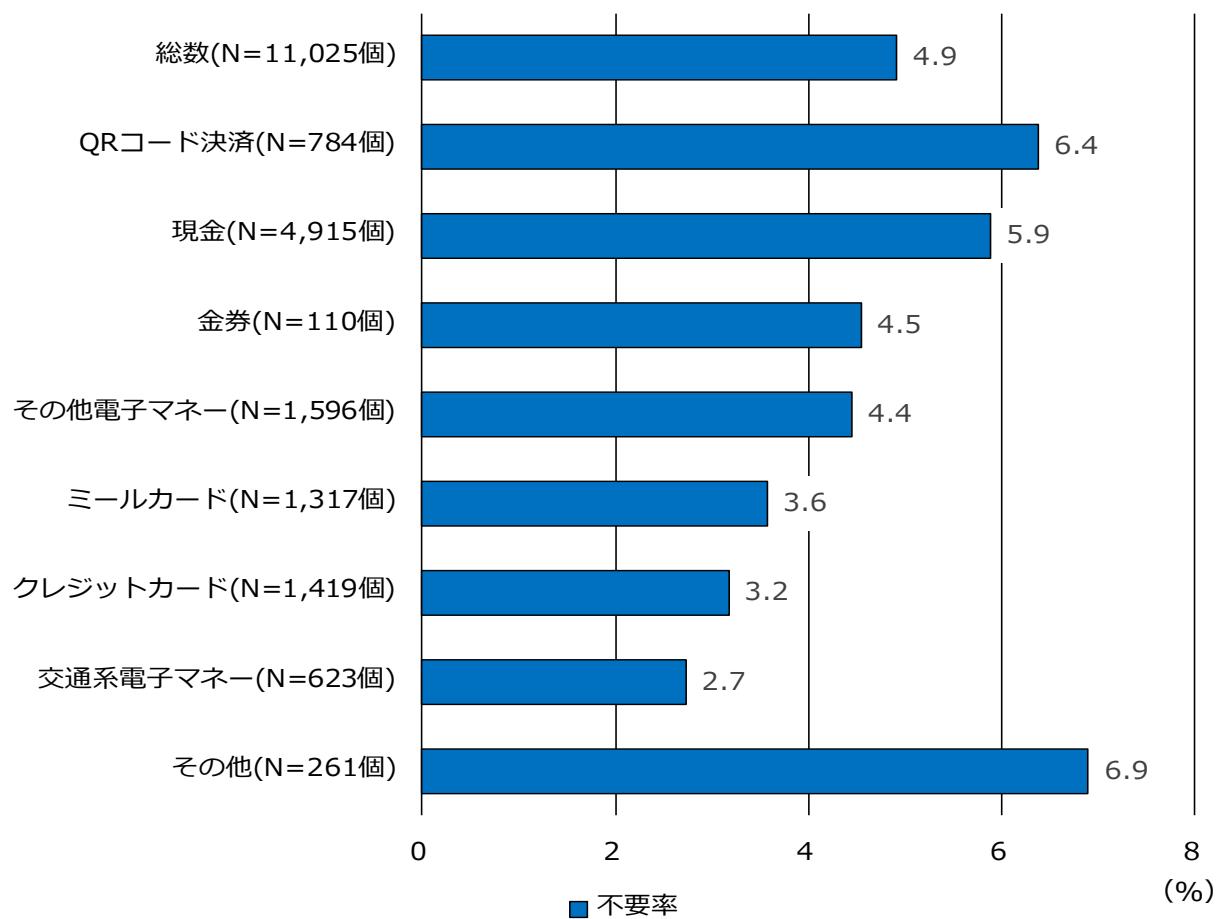


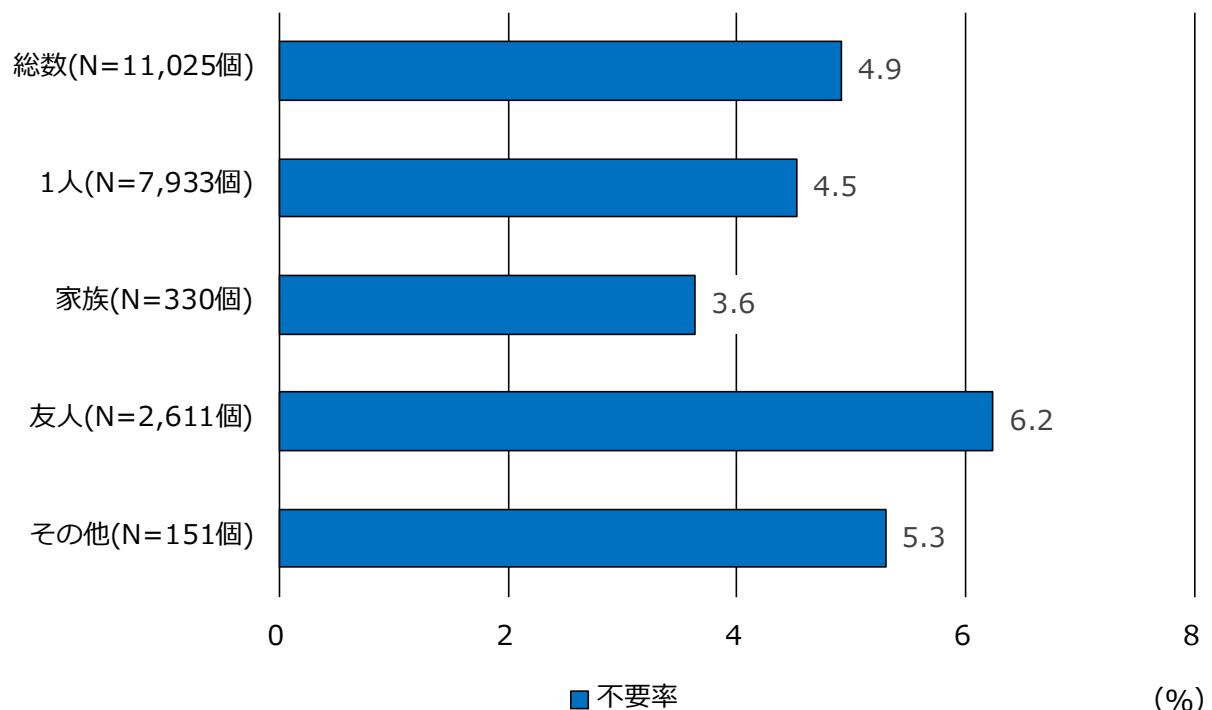
図2-34 決済手段別不要率



③誰といたか別不要率

不要率（商品数ベース）を買物の際に誰と一緒に買ったかで見たところ、「友人」が6.2%と最も高く、「家族」が3.6%と最も低くなっている。（図2-35）

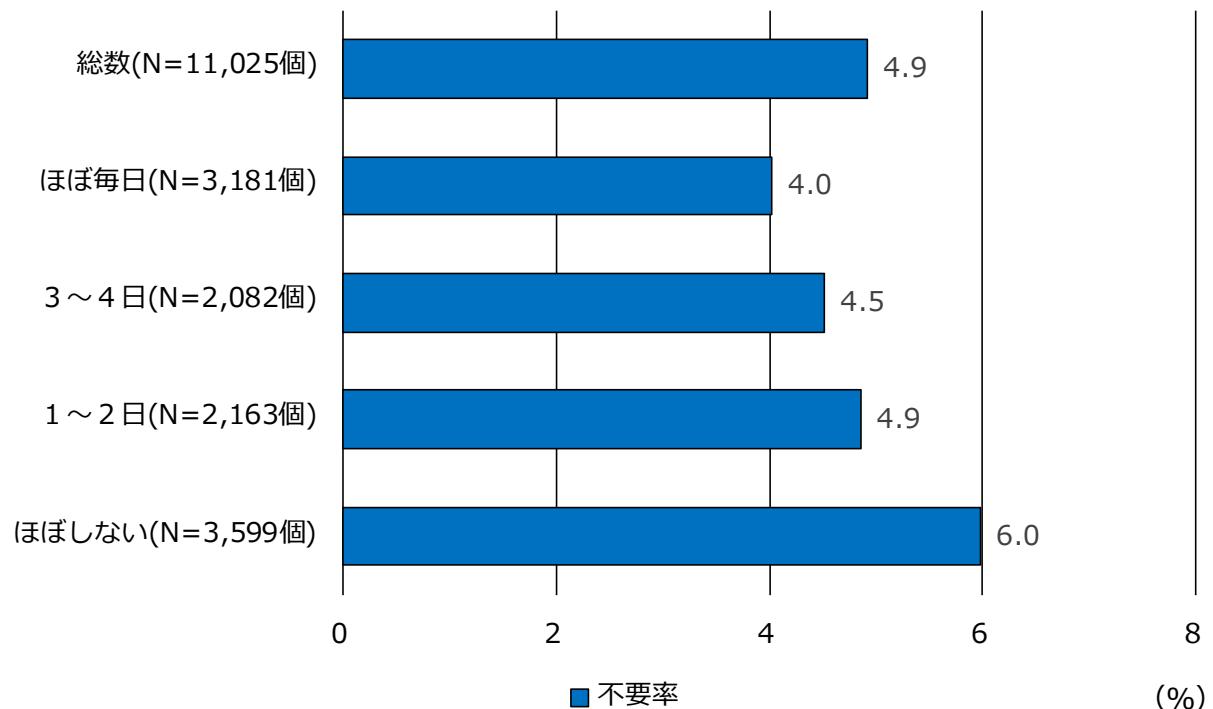
図2-35 誰といたか別不要率



③自炊頻度別不要率

不要率（商品数ベース）を回答者の自炊頻度別に見たところ、「ほぼしない」が6.0%と最も高く、自炊の頻度が低くなるにつれて不要率が高くなっている。（図2-36）

図2-36 自炊頻度別不要率



IV 参考資料

参考1 アンケート調査表（単純集計結果付き）

(単位 : %)

あなたの属性についてお伺いします。

【問1】性別をお答えください。

1. 男 (48.8) 2. 女 (50.8) 3. その他 (0.4)

【問2】年齢をお答えください。

_____歳 (平均年齢 21.2 歳)

【問3】学年をお答えください。

1. 1年生 (21.9) 2. 2年生 (21.8) 3. 3年生 (19.9) 4. 4年生 (22.6)
5. 5年生 (1.5) 6. 6年生 (1.0) 7. 院生 (11.2) 8. その他 (0.2)

【問4】現在の住所をお答えください。

() 都・道・府・県

北海道	(1.07)	青森県	(0.44)	岩手県	(0.13)	宮城県	(11.71)
秋田県	(3.64)	山形県	(0.17)	福島県	(0.38)	茨城県	(6.96)
栃木県	(0.02)	群馬県	(0.06)	埼玉県	(0.23)	千葉県	(1.32)
東京都	(0.71)	神奈川県	(0.17)	新潟県	(0.82)	富山県	(0.67)
石川県	(5.73)	福井県	(2.84)	山梨県	(0.96)	長野県	(0.00)
岐阜県	(0.94)	静岡県	(3.60)	愛知県	(6.96)	三重県	(4.58)
滋賀県	(1.25)	京都府	(0.54)	大阪府	(2.66)	兵庫県	(0.46)
奈良県	(0.13)	和歌山県	(0.04)	鳥取県	(2.57)	島根県	(0.00)
岡山県	(2.47)	広島県	(2.53)	山口県	(0.00)	徳島県	(1.90)
香川県	(11.35)	愛媛県	(0.02)	高知県	(0.15)	福岡県	(1.44)
佐賀県	(6.59)	長崎県	(2.53)	熊本県	(1.40)	大分県	(7.71)
宮崎県	(0.06)	鹿児島県	(0.08)	沖縄県	(0.02)		

【問5】大学入学前の住所をお答えください。

() 都・道・府・県

北海道	(1.40)	青森県	(1.36)	岩手県	(1.21)	宮城県	(8.95)
秋田県	(1.76)	山形県	(1.17)	福島県	(1.86)	茨城県	(4.01)
栃木県	(0.77)	群馬県	(0.67)	埼玉県	(0.88)	千葉県	(1.40)
東京都	(1.76)	神奈川県	(0.82)	新潟県	(1.46)	富山県	(1.34)
石川県	(2.09)	福井県	(2.01)	山梨県	(0.67)	長野県	(1.13)
岐阜県	(1.94)	静岡県	(4.01)	愛知県	(9.12)	三重県	(3.12)
滋賀県	(1.19)	京都府	(1.53)	大阪府	(3.03)	兵庫県	(2.89)
奈良県	(0.59)	和歌山県	(0.42)	鳥取県	(0.98)	島根県	(0.50)
岡山県	(3.93)	広島県	(2.13)	山口県	(0.59)	徳島県	(1.67)
香川県	(4.56)	愛媛県	(1.55)	高知県	(0.42)	福岡県	(4.77)
佐賀県	(3.32)	長崎県	(2.72)	熊本県	(2.20)	大分県	(4.16)
宮崎県	(0.96)	鹿児島県	(0.75)	沖縄県	(0.25)		

【問6】現在の居住形態をお答えください。

1. 一人暮らし (53.3) 2. 実家暮らし (40.2) 3. ルームシェア (0.8)
4. 寮 (4.1) 5. その他 (1.7)

【問7】現在、あなたは勤労（アルバイト等）をしていますか。平均収入額（月額）をお答えください。

1. ~25,000円 (14.9) 2. 25,001円~50,000円 (28.9)
3. 50,001円~75,000円 (22.1) 4. 75,001円~100,000円 (11.2)
5. 100,001円~ (3.9)
6. 現在は働いていないが、働いていたことがある (13.0)
7. 働いたことはない (6.0)

【問8】現在、あなたは奨学金をもらっていますか。

1. はい (41.7) 2. いいえ (58.3)

【問9】現在、あなたは仕送り（お小遣い）をもらっていますか。

1. はい (54.1) 2. いいえ (45.9)

あなたの日々の生活についてお伺いします。

【問10】あなたは、一週間のうちにどれくらい自炊をしますか。以下のなかから該当するものを1つ選んでください。

1. ほぼ毎日 (22.9) 2. 3～4日 (19.6) 3. 1～2日 (17.5)
4. ほぼしない (40.0)

【問11】あなたは、スマートフォン・携帯電話を1日に平均して何時間利用していますか。以下のなかから該当するものを1つ選んでください。

1. 1時間未満 (1.9)
2. 1時間以上～3時間未満 (24.3)
3. 3時間以上～5時間未満 (41.0)
4. 5時間以上～7時間未満 (23.5)
5. 7時間以上 (9.2)
6. スマートフォン・携帯電話を持っていない (0.1)

【問12】あなたは、この一年間にどれくらいの頻度でインターネットショッピング（ホテル、チケット等の予約・購入を含む）を利用しましたか。以下のなかから該当するものを1つ選んでください。

1. ほぼ毎日 (0.9)
2. 週に2, 3回程度 (4.5)
3. 週に1回程度 (10.9)
4. 月に2, 3回程度 (31.4)
5. 月に1回程度 (21.5)
6. 2～3か月に1回程度 (17.3)
7. 年に1, 2回程度 (9.2)
8. 利用しなかった (4.5)

【問13】あなたは次に当てはまる行動をしていますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

	1. はい	2. どちらともいえない	3. いいえ
A. 雑誌をよく購入する	(7.2)	(9.9)	(82.9)
B. CM、広告等の情報に影響されて商品をよく購入する	(12.1)	(20.9)	(67.0)
C. テレビをよく見る	(33.4)	(20.6)	(45.9)
D. 新聞をよく読む	(8.4)	(13.2)	(78.4)
E. ネットサーフィンをよくする	(71.1)	(13.6)	(15.3)
F. 家族・友人に付き合ってよく買い物に行く	(34.8)	(26.9)	(38.2)
G. 情報発信サイト（口コミサイトなど）をよく	(46.6)	(21.4)	(31.9)

確認する			
H. メールマガジンをよく確認する	(8.1)	(12.1)	(79.8)
I. Twitter をよく確認する	(68.7)	(8.4)	(22.9)
J. Facebook をよく確認する	(7.5)	(6.1)	(86.4)
K. Instagram をよく確認する	(55.0)	(8.3)	(36.7)
L. LINE をよく確認する	(82.0)	(11.4)	(6.6)
M. YouTube をよく利用する	(77.9)	(11.9)	(10.2)

【問14】あなたはどういった場面にストレスを感じますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. あてはまらない
A. レジが混んでいる	(11.7)	(37.1)	(8.4)	(25.1)	(17.8)
B. 決済手段が限られている(現金でしか決済できない、利用できるクレジットカード会社が限られているなど)	(17.9)	(28.8)	(7.6)	(17.7)	(28.0)
C. 必要に迫られた買い物(トイレットペーパーや電球などが切れてすぐに買い物に行かなければならぬなど)	(12.8)	(30.3)	(12.3)	(22.7)	(22.0)
D. 欲しかったものがなかった、売り切れていた時	(27.1)	(44.9)	(8.7)	(11.4)	(7.9)
E. 人が多い	(38.1)	(37.6)	(7.7)	(10.0)	(6.5)
F. 店舗の立地が悪い	(26.9)	(39.5)	(10.7)	(13.1)	(9.8)
G. 価格が想定以上に高い	(41.2)	(38.5)	(8.6)	(7.1)	(4.6)
H. 接客態度が悪い	(39.7)	(34.5)	(10.1)	(9.5)	(6.1)
I. 店舗内が騒がしい	(15.5)	(30.7)	(17.3)	(22.8)	(13.7)

【問15】あなたはこの半年の期間の買い物において、以下のそれぞれの理由で、購入後に不要だったと感じたことはありますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

	1. よくある	2. たまにある	3. どちらともいえない	4. あまりない	5. ない
A. 賞味期限、消費期限が切れたため捨ててしまった	(7.9)	(37.7)	(4.5)	(21.9)	(28.1)
B. おいしくなくて残してしまった	(4.2)	(26.3)	(6.2)	(28.2)	(35.1)
C. 量が多くて残してしまった	(3.7)	(18.5)	(5.9)	(26.8)	(45.1)
D. 傷んだため捨ててしまった	(8.0)	(42.3)	(7.0)	(20.2)	(22.5)
E. 商品・サービスの内容が満足いくものでなかった	(2.7)	(27.7)	(14.7)	(28.8)	(26.0)
F. 付き合いで利用・購入してしまったが使わなかった	(2.8)	(20.6)	(8.0)	(22.7)	(45.8)

G. 衝動買い（利用）してしまった が不要だった	(6.0)	(32.2)	(9.7)	(22.4)	(29.7)
H. サイズが合わず着なかった	(2.1)	(20.4)	(6.4)	(22.7)	(48.4)

キャッシング決済についてお伺いします。

※キャッシング決済とは、クレジットカードや交通系 IC カードなど、物理的な現金（紙幣・硬貨）を使用せずに商品・サービス料金の支払等を行うことを指します。（ただし、ここでは図書券などの金券、銀行等の口座振替、振込等による決済を除くこととします。）

【問16】あなたはこの半年の期間でキャッシング決済をどの程度利用していますか。以下のなかから該当するものを1つ選んでください。

- | | |
|--------------------------|--------|
| 1. ほぼすべての買い物で利用している | (21.4) |
| 2. 買い物する際の2回に1回程度は利用している | (44.1) |
| 3. ほとんど利用していない | (32.2) |
| 4. その他 | (2.3) |

【問17】あなたは利用しているキャッシング決済にどの程度満足していますか。以下のなかから該当するものを1つ選んでください。

- | | | |
|-----------------------------|----------------|---------------------|
| 1. 満足 (29.5) | 2. やや満足 (40.1) | 3. どちらともいえない (13.7) |
| 4. やや不満 (3.9) | 5. 不満 (1.5) | |
| 6. キャッシュレス決済を利用していない (11.3) | | |

【問18】あなたは今後のキャッシング決済の利用頻度についてどのようにしたいですか。以下のなかから該当するものを1つ選んでください。

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------------|
| 1. 増やしたい (48.5) | 2. 現状維持 (43.0) | 3. 減らしたい (2.0) |
| 4. 分からない (6.4) | | |

【問19】あなたがキャッシング決済として使いたいと思うもの（現在使用しているものを含みます）はなんですか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

	1. はい	2. いいえ
A. クレジットカード	(71.2)	(28.8)
B. デビットカード	(26.2)	(73.8)
C. 交通系電子マネー (Suica、ICOCA 等)	(79.0)	(21.0)
D. WAON	(29.2)	(70.8)
E. NANACO	(23.0)	(77.0)
F. E d y	(16.9)	(83.1)
G. Q U I C P a y	(18.5)	(81.5)
H. iD	(21.7)	(78.3)
I. P a y P a y	(45.2)	(54.8)

J. LINE Pay	(26.7)	(73.3)
K. 楽天Pay	(18.8)	(81.2)
L. Origami Pay	(3.4)	(96.6)
M. メルペイ	(17.6)	(82.4)
N. d払い	(16.1)	(83.9)
O. Apple Pay	(24.1)	(75.9)
P. Google Pay	(11.4)	(88.6)

【問20】キャッシュレス決済のメリットについてあなたの考えに近いものはなんですか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. あてはまらない
A. 支払手続きを簡単・迅速に行える	(67.9)	(25.8)	(2.5)	(2.2)	(1.6)
B. 現金を持ち歩く必要がなくなる	(47.5)	(29.6)	(6.3)	(10.1)	(6.6)
C. 現金の紛失・盗難の恐れがなくなる	(29.4)	(25.4)	(13.2)	(17.7)	(14.4)
D. 現金に触れる必要がなく、飲食店等で衛生的に支払ができる	(14.2)	(16.8)	(13.1)	(24.1)	(31.8)
E. 持ち歩いている金額以上の買い物ができる	(22.9)	(27.3)	(8.4)	(16.7)	(24.7)
F. 買物時の状況に応じて決済手段を使い分けられる	(36.8)	(34.9)	(7.5)	(9.4)	(11.4)
G. クレジットカード等では、実際の支払を後日にできる	(18.2)	(19.7)	(10.5)	(18.3)	(33.3)
H. 支払履歴がわかり、お金の管理をしやすい	(25.5)	(27.3)	(11.5)	(16.6)	(19.0)
I. 割引やポイント等の特典が得られる	(60.2)	(28.4)	(4.1)	(3.6)	(3.8)

【問21】キャッシュレス決済のデメリットについてあなたの考えに近いものはなんですか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

	1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらともいえない	4. あまりあてはまらない	5. あてはまらない
A. 利用できる店舗やサービスが少ない	(23.9)	(40.5)	(12.1)	(15.1)	(8.4)
B. 利用可能な決済手段の分かれやすい掲示がない	(20.2)	(36.1)	(12.8)	(18.5)	(12.3)
C. 種類が乱立しており、自分に最適なものがわかりにくい	(43.9)	(29.7)	(6.3)	(9.5)	(10.7)
D. 使い方がわからない	(12.4)	(18.4)	(8.0)	(19.9)	(41.3)

E. 暗証番号の入力など支払に追加の手続や時間がかかる	(13. 9)	(26. 1)	(11. 8)	(21. 5)	(26. 6)
F. 店員が慣れていない場合に支払に時間がかかる	(18. 5)	(35. 8)	(11. 9)	(17. 1)	(16. 7)
G. 使いすぎてしまう恐れがある	(47. 8)	(27. 0)	(5. 2)	(8. 2)	(11. 8)
H. 手数料や会費等がかかるものがある	(24. 7)	(28. 6)	(11. 0)	(14. 5)	(21. 2)
I. 個人情報の流出や不正使用等の被害が発生する恐れがある	(40. 9)	(34. 4)	(8. 6)	(8. 4)	(7. 8)
J. 非常に決済ができない場合がある	(38. 2)	(39. 1)	(9. 1)	(7. 0)	(6. 6)
K. トラブル時の解決・補償対応に不安がある	(31. 9)	(37. 5)	(11. 2)	(10. 7)	(8. 8)

【問22】(あなたの大学入学前の状況についてお答えください。)

あなたの利用していた公共交通機関（電車・バス等）に交通系電子マネーは導入されていましたか。以下の中から該当するものを1つ選んでください。

1. はい (70. 9) 2. いいえ (22. 5) 3. 分からない (6. 6)

【問23】(あなたの大学入学前の状況についてお答えください。)

あなたの家族はクレジットカードを利用していましたか。以下の中から該当するものを1つ選んでください。

1. はい (81. 9) 2. いいえ (14. 2) 3. 分からない (3. 9)

【問24】あなたはこれまで、キャッシュレス決済に関するトラブルの経験がありますか。どのようなトラブルがあったか、差し支えなければ以下のなかから該当するものを全て選んでください。

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. トラブルはなかった | (70. 7) |
| 2. 読み取り、認証が上手くいかなかった | (14. 3) |
| 3. 操作に時間がかかったり、とまどったりした | (13. 2) |
| 4. 誤った請求・決済等があった | (2. 6) |
| 5. 通信・通信機器の問題で決済が上手くいかなかった | (6. 6) |
| 6. 不正利用された | (1. 2) |
| 7. 個人情報が流出した | (0. 8) |
| 8. 使いすぎてしまった | (9. 4) |
| 9. その他 | (2. 4) |

【問25】問24で選んだトラブルについてどのような内容だったのか、差し支えなければ具体的にお答えください。(いつ、どこで、何を購入したとき、どんなトラブルがあり、その後どうなったのか。)

自由記述 (_____)

【問26】トラブルがあった際、どこへ相談しましたか。差し支えなければ、該当するものを全て選んでください。

- | | | | |
|---------------|--------|--------------------|--------|
| 1. トラブルはなかった | (65.2) | 2. 家族 | (4.3) |
| 3. 友人 | (1.9) | 4. 消費生活センター (188) | (0.4) |
| 5. 警察 | (0.2) | 6. 学校 | (0.1) |
| 7. キャッシュレス事業者 | (3.1) | 8. 購入店舗 | (3.3) |
| 9. 弁護士、司法書士等 | (0.0) | 10. 相談しなかった | (17.3) |

【問27】あなたのキャッシュレス決済に関する希望について教えてください。(こんなところで使えたらしい。こんな機能があったらよいなど。)

自由記述 (_____)

参考2 消費行動調査・調査票（入力フォーム）

①入力フォーム

会計ごとに各項目に沿って選択、入力を行う。

図3-1 入力フォーム（全体）

消費行動入力フォーム		入力にあたって（記載要領）	
購入日		2019年12月2日（月）	
時間帯		1. 深夜（0時～6時）	
購入場所		1. コンビニ	
キャッシュレス可否		1. 対応している	
支払方法		1. 現金	
誰といたか		1. 1人	
個別商品入力フォーム		確定	
会計番号	1	合計金額	¥ -
商品分類	商品・サービス名	金額	

②各入力項目の説明

・ 購入日

商品を購入した日付を選択する。

図 3-2 入力フォーム（購入日選択画面抜粋）

購入日
2019年12月2日（月）
購入日
2019年12月2日（月）
2019年12月3日（火）
2019年12月4日（水）
2019年12月5日（木）
2019年12月6日（金）
2019年12月7日（土）
2019年12月8日（日）
2019年12月9日（月）
2019年12月10日（火）
2019年12月11日（水）
2019年12月12日（木）
2019年12月13日（金）
2019年12月14日（土）
2019年12月15日（日）

・ 時間帯

商品を購入した時間帯を選択する。

図 3-3 入力フォーム（時間帯選択画面抜粋）

時間帯
1. 深夜（0時～6時）
時間帯
1. 深夜（0時～6時）
2. 早朝（7時～9時）
3. 朝（10時～12時）
4. 昼（13時～16時）
5. 夕方（17時～20時）
6. 夜（21時～24時）

・購入場所

商品を購入した場所を選択する。

図 3-4 入力フォーム（購入場所選択画面抜粋）

購入場所	
1.	コンビニ
購入場所	
1.	コンビニ
2.	スーパー
3.	ドラッグストア
4.	食料品店（八百屋・肉屋）
5.	飲食店・弁当
6.	大学（生協・学食・売店）
7.	書店・CD、DVDショップ
8.	自販機
9.	インターネット（代引き・コンビニ決済含む）
10.	居酒屋
11.	衣料品店・雑貨店
12.	駅・バス・タクシー・空港・港
13.	アミューズメント施設・スポーツ施設
14.	百貨店
15.	家電量販店
16.	アウトドア・スポーツ用品店
17.	医療機関・福祉施設
18.	その他

・キャッシュレス可否

購入場所がキャッシュレス決済に対応していたかどうか選択する。

図 3-5 入力フォーム（キャッシュレス可否選択画面抜粋）

キャッシュレス可否	
1.	対応している
キャッシュレス可否	
1.	対応している
2.	対応していない（現金支払いのみ）
3.	わからない

・支払方法

利用した決済手段を選択する。

図 3-6 入力フォーム（支払方法選択画面抜粋）

支払方法
1. 現金
支払い方法
1. 現金
2. クレジットカード
3. ミールカード（学食専用プリペイドカードを含む）
4. 交通系電子マネー（Suica、ICOCAなど）
5. その他電子マネー（QUICPay、iD、WAONなど）
6. QRコード決済（PayPay、LINEPay、楽天Payなど）
7. 金券（QUOカード、図書券など）
8. その他（d払い、ApplePayなど）

・誰といたか

買物の際に誰と一緒にいたか選択する。

図 3-7 入力フォーム（誰といたか選択画面抜粋）

誰といたか
1. 1人
誰といたか
1. 1人
2. 家族
3. 友人
4. その他

・商品分類、商品・サービス名、金額

商品のサービスの費目を選択、商品・サービスの名称・金額を入力する。

図 3-8 入力フォーム（商品分類選択画面抜粋）

商品分類	商品・サービス名	金額
食費		
衣服費		
医療・美容費		
遊興費		
書籍費		
交通費		
日用品費		

③管理シート

入力フォームで入力したデータは別のシート（管理シート）に記録される。

図 3-9 管理シート（全体）

会計NO.	日付	時間帯	場所	キャッシュレス可否	決済方法	状況	費目	商品・サービス名	支払った金額	不要チェック	理由
1	2019年12月2日（月）	1. 深夜（0時～6時）	1. コンビニ	1. 対応している	1. 現金	1. 1人	食費	りんご	¥100	選択して下さい	選択して下さい
1	2019年12月2日（月）	1. 深夜（0時～6時）	1. コンビニ	1. 対応している	1. 現金	1. 1人	食費	チョコレート	¥200	選択して下さい	選択して下さい
2	2019年12月3日（火）	4. 晚（13時～16時）	5. 外食（居酒屋・中華・和食）	3. わからない	1. 現金	3. 友人	食費	定食	¥500	選択して下さい	選択して下さい
3	2019年12月3日（火）	6. 夜（21時～24時）	10. 居酒屋	1. 対応している	1. 現金	3. 友人	食費	飲み会代	¥3,000	選択して下さい	選択して下さい

④不要な商品とその理由の選択

購入した商品について、不要かだったかどうかをチェックし、その理由を選択する。

図 3-10 管理シート（不要チェック選択画面抜粋）

商品・サービス名	支払った金額	不要チェック	理由
りんご	¥100	選択して下さい	選択して下さい
チョコレート	¥200	不要	選択して下さい
定食	¥500	選択して下さい	選択して下さい
飲み会代	¥3,000	選択して下さい	選択して下さい

図 3-11 管理シート（不要な理由選択画面抜粋）

商品・サービス名	支払った金額	不要チェック	理由
りんご	¥100	不要	選択して下さい
チョコレート	¥200	選択して下さい	1.賞味期限が切れた 2.傷んでしまって捨ててしまった 3.おいしくなくて残してしまった 4.量が多くて残してしまった 5.サービス・内容が満足いくものでなかった 6.付き合いで利用・購入してしまった 7.衝動買い・利用してしまった 8.サイズが合わなかった
定食	¥500	選択して下さい	
飲み会代	¥3,000	選択して下さい	